

Max ALFARK-7000X
売上 B O Y II
ハンディシステム
仕様書

第3.07版： 2016年 5月 23日



株式会社 アルフ
東京都世田谷区代沢 3-6-11
〒155-0032
TEL 03-5432-7170
FAX 03-5432-7172


承認
印

確認	作成者
印	

変更履歴

HTバージョン	仕様書バージョン	修正・変更 日付	変更要求先	変更内容
1. 0 0	1. 0 0	2007/08/06		売上BOYⅡ 新規作成（ARK600）
1. 0 1	1. 0 1	2007/09/07		対応プリンタに「ポケプリ IrDA」を追加
1. 0 2	1. 0 2	2008/05/02		ARK400版リリースに伴いバージョンアップ（Ver1.01からの機能追加はありません）
2. 0 0	2. 0 0	2009/07/08		印刷レイアウトを変更
2. 0 1	2. 0 1	2010/04/23		バージョン表示画面変更、印刷画面の表示を変更
3. 0 0	3. 0 0	2010/09/30		ARK550版リリース <ul style="list-style-type: none"> ・パラメータ設定項目を拡張 ・商品マスタの追加 ・以下のプリンタ機種を廃止 <ul style="list-style-type: none"> ・BL-58RS ・ポケプリ（IrDA） ・メニューの表示順を縦並びに変更（通信をF1、削除をF2、印刷をF3へキー割当変更） ・連続スキャンについて、入力中のスキャンを有効にした。
3. 0 1	3. 0 1	2011/08/18		アプリならびに仕様書について、不具合対応のみ
3. 0 0	3. 0 0	2013/02/27		Max ARK7000X版リリース <ul style="list-style-type: none"> ・通信形態の変更（USB/Bluetooth/無線LAN） ・プリンタ機種変更（プチラパン/CMP-20）
3. 0 1	3. 0 1	2013/05/28		<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ機種追加（DPU-S245） ・無線LAN設定において項目追加（受信周期、送出レベル） ・不正電源OFF時の処理を追加 ※BIOSバージョン Ver1.02以降のみ対応
3. 0 2	3. 0 2	2013/11/13		・HT設定にJANセキュリティレベルの設定を追加

HTバージョン	仕様書バージョン	修正・変更 日付	変更要求先	変更内容
3.03	3.03	2014/07/15		<p>Max ARK7000X版</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム設定のプリンタ設定において、「使用しない」という選択肢を追加 ・プリンタ設定でプチラパンを設定時のみ、CRCを付加するかどうかの設定画面を追加した。 ・マスタ区分設定にマスタのチェックを追加「参照のみ or 存在チェック」の選択設定を追加 ・ALF通信のAlfcomPLUSについて、ブロック通信を対応 <p>これに伴い、「PC側通信ツール設定」項目を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無線LANの受信周期のデフォルトを3→1に変更 ・無線LANの受信周期で0を入力可能とする ※BIOSバージョン Ver1.07以降のみ対応 ・無線LANの送出レベルのデフォルトを0→1に変更 ・メインメニューのレイアウトを変更（通信をF1→0に割り当て等） ・メインメニューにスキャナモード（HID）のショートカットを追加 ・メインメニューからDOT+F4押下で端末情報表示画面を追加
3.04 3.041	3.04	2015/2/19		<ul style="list-style-type: none"> ・送信データレイアウトを旧売上BOYのフォーマットに合わせた別アプリ「typeB」（Ver3.041）を同時リリース <p>送信データレイアウトについては「7-B. 通信レイアウト(typeB).xls」をご参照ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ver3.04の仕様はVer3.03と同じ
3.05 3.051	3.05	2015/4/24		<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム更新機能について、FTP手順を追加 ・システム設定のFTP設定に「アプリ更新パス」の設定項目を追加
3.06 3.061	3.06	2015/7/9		<ul style="list-style-type: none"> ・FTP設定に「ファイル確定待機時間設定」を追加
3.07 3.071	3.07	2016/5/23		<ul style="list-style-type: none"> ・システム設定のPC側通信ツール選択に「AlfcomS」、「AlfcomS(圧縮)」を追加 ・通信のレコード長を変更 AlfcomPLUS通信時の送信レコード長：130→1300バイト、受信レコード長：56→1024バイト ※AlfcomPLUS(複)選択時の通信レコード長は変更なし。 ・Bluetooth設定にアドレスバーコードスキャン機能を追加

共通仕様		キーの説明(基本の動作)			
		図	キー	名 称	機 能
		①		電源キー	電源の投入・切断
		②	左トリガ	左トリガ	バーコード読取
		③	右トリガ	右トリガ	バーコード読取
		④	トリガ	メイントリガ	バーコード読取
		⑤		UPキー ※仕様書上 と表記	文字入力中のカーソル移行 (※1) 1つ前の項目へ戻る 検索モード時に1つ前のデータに移行する メニューや選択項目にて1つ前の選択肢を選択する
		⑥		DOWNキー ※仕様書上 と表記	文字入力中のカーソル移行 (※1) 検索モード時に次のデータに移行する 選択項目にて初回、選択肢を展開する メニューや選択項目にて次の選択肢を選択する
		⑦		登録キー	入力項目の確定、確認 メニューや選択項目の確定
		⑧		テンキー	数字、英字、記号の入力
		⑨		ドット、マイナスキー	符号の切り替え、小数点入力
		⑩		クリアキー	入力バッファクリア
※1：文字入力時のキー動作に関しては、 共通仕様－＜文字入力について＞をご確認下さい		⑪		ファンクションキー1	文字入力 (※1) 検索モード時に表示中の1データ削除
				ファンクションキー2	処理変更 検索画面への切り替え
				ファンクションキー3	
				ファンクションキー4	処理キャンセル 検索モード時に検索中の条件データ一括削除

共通仕様	ハンディシステム共通機能
<p><画面の明るさ> ハンディターミナルのセットアップにより設定された値に準じます。</p> <p><ブザー音量> ハンディターミナルのセットアップにより設定された値に準じます。</p> <p><アイドル遷移時間> メンテナンス処理－HT設定内において、ライト点灯の有効・無効を設定します。 ※60秒と指定した場合は、60秒間放置する事で自動消灯します。 バックライトの自動消灯した状態からは何らかのキーを押下することで復帰します。</p> <p><オートオフ> メンテナンス処理－HT設定内において、アイドル時間と自動オフ時間を設定します。 ※アイドル時間15秒／電源自動OFF10分と指定した場合は、15秒間キー操作せずに放置する事でアイドルモードに入ります。（画面が薄暗くなります） そこからさらに10分間キー操作せずに放置する事で電源をOFFします。</p> <p><リジューム機能> ハンディターミナルのセットアップにより設定された値に準じます。 ※有効とした場合、電源ONにより、前回電源OFFした場所から再開します。</p> <p><キークリック音／ビープ音> メンテナンス処理－HT設定内において、音の有効・無効を設定します。</p> <p><文字フォント> 16ドットフォント</p> <p><ピクト表示> 有効（画面一番上に、電池残量や、デバイス使用中アナウンス、システム時計などを表示します）</p> <p><バーコード体系> 商品コード：メンテナンス処理－パラメータ設定内において、業務別にバーコード種別を1つ指定します。（NW7、JAN、CODE39より選択可能） 上段下段共通の設定になります。詳しくは「5-1-5.パラメータ設定」をご確認下さい。 JAN・・・（JAN13、JAN8、EAN13、EAN8、UPC-A、UPC-E）※UPC-Aは13桁、UPC-Eは8桁で読みます。 商品コード以外の入力項目でもバーコード対応が可能です。詳しくは「5-1-3.パラメータ設定 ～ 5-1-4.パラメータ設定」をご確認下さい。</p>	

共通仕様	ハンディシステム共通機能
<p>＜通信手順＞</p> <p>ALF手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PC側：AlfcomPLUS ・接続方法：USBシリアル、Bluetooth ・送信 <ul style="list-style-type: none"> ・レコード長：130バイト（CRLF、2バイト含む） ・データ圧縮：なし ・文字コード：ASCII ・データ送信後、登録データを消去する。 ・受信 <ul style="list-style-type: none"> ・レコード長：56バイト ・データ圧縮：なし ・文字コード：ASCII <p>ALFS手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PC側：Alfcom S ・接続方法：USBシリアル、Bluetooth ・送信 <ul style="list-style-type: none"> ・レコード長：130バイト（CRLF、2バイト含む） ・データ圧縮：なし ・文字コード：ASCII ・データ送信後、登録データを消去する。 ・受信 <ul style="list-style-type: none"> ・レコード長：56バイト ・データ圧縮：設定により可能 ・文字コード：ASCII <p>FTP手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続方法：無線LAN ・送信 <ul style="list-style-type: none"> ・レコード長：130バイト（CRLF、2バイト含む） ・データ圧縮：なし ・文字コード：ASCII ・データ送信後、登録データを消去する。 ・受信 <ul style="list-style-type: none"> ・レコード長：56バイト ・データ圧縮：なし ・文字コード：ASCII 	<div data-bbox="1066 325 2009 568"> <p>【AlfcomPLUS の設定について】</p> <p>ハンディからPCへのデータ送信先は、業務により異なります。</p> <p>「受信ファイル情報」（ハンディ→PC）</p> <p>FILE1：勤怠以外のデータファイルを指定します。</p> <p>FILE2：勤怠データファイルを指定します。</p> <p>「送信ファイル情報」（PC→ハンディ）</p> <p>FILE1：マスタデータファイルを指定します。※マスタ区分に関係なく共通</p> </div> <div data-bbox="1066 692 2009 914"> <p>【Alfcom S の設定について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DIR1：勤怠以外のデータファイルをハンディより受け取るフォルダを指定します。 ファイル名は「業務データ.txt」で生成されます。 ・DIR2：勤怠データファイルをハンディより受け取るフォルダを指定します。 ファイル名は「勤怠データ.txt」で生成されます。 ・DIR3：マスタデータファイルを格納しておくフォルダを指定します。 ファイル名は「HTMaster.txt」で作成してください。 </div> <div data-bbox="1066 1032 2067 1380"> <p>【FTP サーバー側のファイル名について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンディからPCへのデータ送信先は、ハンディのFTP 設定の「アップロードパス」にて設定します。 ファイル名は、ハンディのシステム時計西暦下2桁の年月日（6桁）＋時分秒（6桁）＋店舗コード（6桁）の「YYMMDDHHMMSS999999.txt」で生成されます。 ・ハンディがPCより受信するマスタは、ハンディのFTP 設定の「ダウンロードパス」にて設定します。 ファイル名は「Mst.txt」で作成してください。 ・ハンディがサーバーより受信する更新用アプリケーションファイルは、ハンディ設定の「アプリ更新パス」にて設定します。 ファイル名は「UBSV3Max.mot」で作成してください。 ※typeB の場合のファイル名は「UBSV3Max_typeB.mot」で作成してください。 </div>

共通仕様

ハンディシステム共通機能

<印刷機能>

プリンタ対応機種は、以下の3種類です。

プリンタ名称	インターフェース	特記	設定画面上の表記
D P U－ S 2 4 5	Bluetooth		DPU-S245
Petit lapin（プチラパン）	Bluetooth	PT200e、PT208e、PW208e プリンタ側の設定 ・SBPL モード ・認証レベル：4 ・ステータス：3	プチラパン
C M P－ 2 0	Bluetooth		CMP-20

<バッテリーチェック>

メインメニューから移行する際、業務に入る直前、または入力業務中において、バッテリーチェックを行います。

低電圧の場合、警告画面を表示します。

基本は、低電圧時の警告画面表示の後、処理を継続出来ます。

但し送信業務、削除業務、印刷業務、プログラム更新機能については低電圧での処理は継続出来ませんので、メインメニューに復帰します。

<電源OFF制限>

処理途中で電源OFFされる事を防ぐため、以下の処理中は電源OFFならびにオートオフ機能は無効となります。

※オートオフ機能無効とは・・・メンテナンス処理－HT設定内において、オートオフを有効に設定していた場合（電源自動OFFで時間指定している場合）でも、電源は自動で落ちません。

また、リジューム設定している場合、処理途中でバッテリーを外した後の再起動は、バッテリーを外した画面ではなく、初期画面から起動します。

・データ印刷処理中

・データ送信、受信処理中

・プログラム更新中

共通仕様	ハンディシステム共通機能
<p>＜プログラム更新＞（予備機能）</p> <p>パソコンとハンディを接続して、アプリケーションのバージョンアップを行う機能です。</p> <p>更新する新バージョンのプログラムによっては、登録データや設定内容が初期化される事がありますので、実行前に必ずデータ送信を行うか、データ削除を行ってください。</p> <p>メンテナンスメニューにおいて、[8]+[F1]+[F4]キーを押下することにより、プログラム更新処理が起動します。</p> <p>通信方法、通信設定を入力・確認し、処理を開始します。</p> <p>※プログラム更新処理は、A L F 手順もしくはF T P 通信にて行います。接続方法はデータ通信と同じ内容で選択可能です。</p> <p>F T P によるアプリ更新を行なう場合は、データ通信設定－F T P 設定を設定して下さい。</p> <p>通信後アプリケーションを自動更新します。</p> <p>更新後、自動でアプリケーションが起動しますので、アプリケーションのバージョンが更新された事を確認してください。</p> <div data-bbox="887 566 2011 663"> <p>【AlfcomPLUS の設定について】</p> <p>「送信ファイル情報」の「更新ファイル(UPDATE)」に対象のアプリケーションファイルを指定します。</p> </div> <div data-bbox="887 695 2011 837"> <p>【AlfcomS の設定について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DIR6：更新用のアプリケーションファイルを格納しておくフォルダを指定します。 ファイル名は「UBSV3Max.mot」で作成してください。 ※typeB の場合のファイル名は「UBSV3Max_typeB.mot」で作成してください。 </div>	

<ハンディのキー操作が不能となった場合>

ハンディ底面のリセットボタンを押してください。

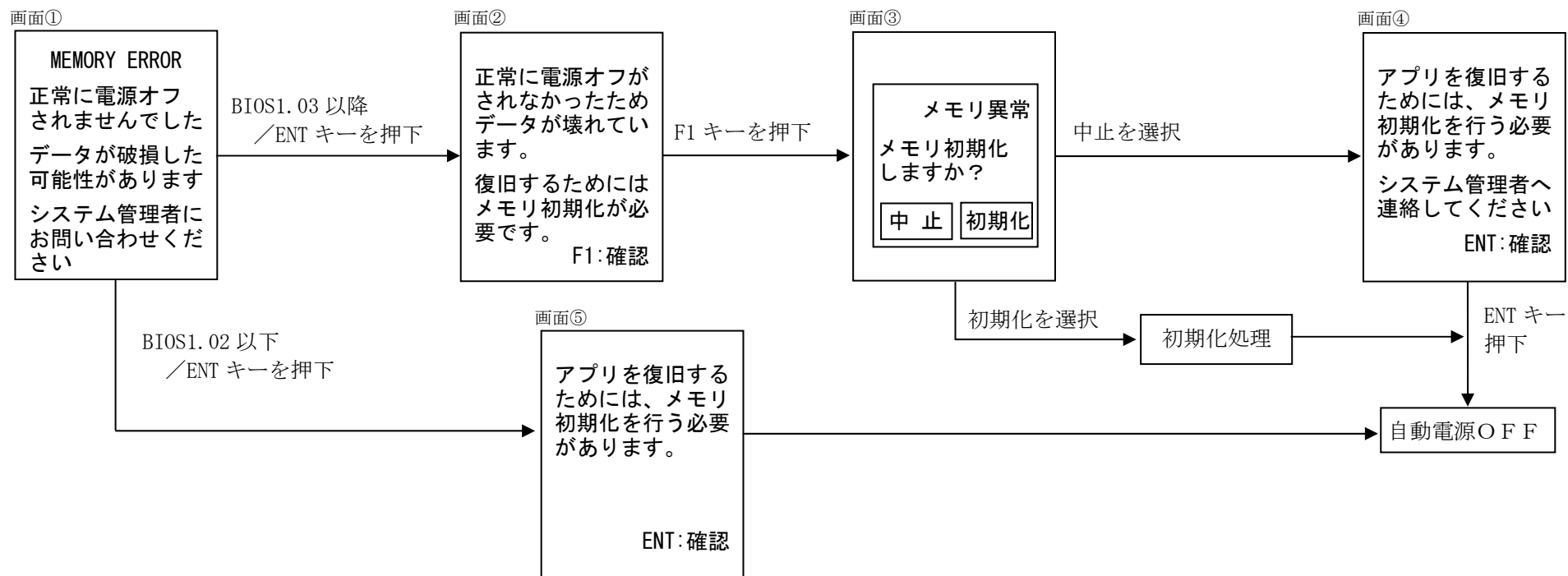
<不正電源OFFにより動作不能となった場合>

電源ONと同時に以下の画面①が表示されます。 ※BIOS Ver1.01以降で表示されます。

この画面が表示された場合、データが破損しているため、それまでに登録したデータは復旧できません。

以下の説明に沿ってメモリ初期化をお願い致します。

※メモリ初期化によって、設定情報もクリアされます。



BIOS Ver1.02 以下は、以下の方法で復旧してください。

1. 電源OFFの状態ですべて「C」と「UP」キーを同時押ししたまま、電源キーを押下して電源を入れます。
2. 初期化メニューが表示されますので、「2. メモリ初期化」を選択します。
3. 「消去しますか？」のメッセージ画面が表示されますので、「初期化」を選択してください。
4. 初期化が開始されます。初期化には3分ほど要します。初期化完了後、完了音が鳴り、初期化メニュー画面に戻ります。
5. 手動で電源OFF→電源ONしてアプリが正常に起動することを確認してください。
復旧しない場合は、システム管理者までお問い合わせ下さい。

<文字入力について>

F T P の通信設定や、NW 7 や C O D E 3 9 のバーコード読取が可能な項目において、文字入力が可能です。

○文字の入力時のキー割り当て

- ・ **0**～**9** : テンキーに表記されている数字をそのまま表示する。
- ・ **UP**/**DW** : カーソルを移動する。 入力途中もしくはデフォルト値が表示されている状態で、**UP**/**DW**キーを押下する事でカーソルを左右に移動する事が出来ます。
UP/**DW**キーでカーソルを移動した位置の値を修正する事が出来ます。 カーソルが先頭にある状態で**UP**キーを押下した場合は1つ前の項目へ戻ります。
- ・ **F 1** : 文字を選択する。
- ・ **ENT** : 現在入力途中の文字を確定する。または入力項目を確定させる。(詳細は「文字の入力方法」を参照)
- ・ **CLR** : カーソル桁に値がある場合は、カーソル桁以降の桁を全削除する。
カーソルが先頭にある場合は、全桁削除する。また、入力途中の文字を確定直後や、カーソル桁が空の場合も全桁削除する。

○文字の入力方法

1. テンキーを押下する事で、テンキーに表記されている数字が表示され、その数字が点滅（カーソルが当たっている状態）します。
2. 1 の状態で、**F 1**キーを押下することでテンキーに表記されている文字に切り替わります。
3. 2 の状態から続けて、**F 1**キーを複数回押下することで、順に表示される文字が切り替わりますので、希望の文字が表示されるまで繰り返してください。
4. 希望の文字が表示されたら、**ENT**キーで確定するか、テンキーを押下することで文字が確定され、次桁の入力へ移ります。
5. 4 で**ENT**キーにて確定後、再び**ENT**キーを押下することで、入力項目全体の確定になります。

○文字入力には、以下の4パターンがあり、それぞれの用途に合わせて入力出来る文字を制限しております。

- ・ 基本文字入力
- ・ NW 7 文字入力
- ・ C O D E 3 9 文字入力
- ・ 電話番号記号入力

入力可能な文字については、下記の表をご確認下さい。

【基本文字入力】

キー	F 1 キーの押下回数												
	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	6 回目	7 回目	8 回目	9 回目	1 0 回目	1 1 回目	1 2 回目	1 3 回目
1	/	@	:	_									
2	A	B	C	a	b	c							
3	D	E	F	d	e	f							
4	G	H	I	g	h	i							
5	J	K	L	j	k	l							
6	M	N	O	m	n	o							
7	P	Q	R	S	p	q	r	s					
8	T	U	V	t	u	v							
9	W	X	Y	Z	w	x	y	z					
0													
.	-	+	*	.	!	?	#	\$	%	~	&	=	(スペース)

【NW 7 文字入力】

キー	F 1 キーの押下回数		
	1 回目	2 回目	3 回目
1	/	:	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
0			
.	-	+	\$

【CODE 3 9 文字入力】

キー	F 1 キーの押下回数				
	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目
1	/				
2	A	B	C		
3	D	E	F		
4	G	H	I		
5	J	K	L		
6	M	N	O		
7	P	Q	R	S	
8	T	U	V		
9	W	X	Y	Z	
0					
.	-	+	\$	%	(スペース)

【電話番号記号入力】

キー	F 1 キーの押下回数		
	1 回目	2 回目	3 回目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
0			
. (-)	,	*	#

※DOT キーでは、「-」の入力となります。

<選択入力について>

UP、**DW**で選択して入力する項目では、項目のローテーション表示を行います。

例：**DW**キーのみを押下する事で「プロパー」→「セール」→「プロパー」と繰り返し表示を行います。

<小数点入力について>

パラメータ設定にて小数点の入力を「する」に設定している場合、整数部は2桁入力になり小数部は2桁入力になります。

小数部を入力しない場合も、整数部は2桁入力になります。

<データの保持について>

各業務の入力で、商品コードを入力後未登録の状態で、日付や店舗コードを入力する画面に戻った場合、入力した商品コード（未登録状態のもの）はクリアされます。

商品コードを入力後、検索に移行した場合、入力した商品コードは保持されます。

画面遷移

1-0. メインメニュー

※1

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

売上BOY II
HTシステム

Ver 9.99

※2

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

メインメニュー

1. 売上	6. 仕返
2. 返品	7. 棚卸
3. 入庫	8. 発注
4. 出庫	9. 勤怠
5. 仕入	0. 通信

F1 F2 F3 F4
削除スキャナ印刷

※6

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

この端末で起動
出来るアプリでは
ありません。

端末のシリアルNoをお
控えの上、販売店
へお問合せ下さい

1	→	売上業務
2	→	返品業務
3	→	入庫業務
4	→	出庫業務
5	→	仕入業務
6	→	仕返業務
7	→	棚卸業務
8	→	発注業務
9	→	勤怠業務
0	→	通信業務
F1	→	削除業務
F2	→	スキャナモード
F3	→	印刷業務
F4+ENT	→	メンテナンス処理

※3

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

データが登録
されていません

※4

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

システム設定を
行って下さい

※5

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

△ バッテリー
残量低下
今すぐ充電して
下さい
確認

※1 タイトル画面

- ・システム名称、バージョンを表示します。
- ・2秒間表示後、端末チェックを行い、メインメニュー（※2）に移行します。端末チェックでエラーの場合は、立ち上げ不能（※6）に移行します。

※2 メインメニュー

- ・メニュー項目を表示します。デフォルトは項番1の業務名を反転表示します。
- ・パラメータ設定で業務を「無効」に設定した場合、業務を詰めて表示します。
例：売上に「無効」に設定した場合、売上業務の表示場所の項番1に返品が表示され、項番8に勤怠が表示されます。
- ・デフォルト：項番1の業務
- ・入力方法：UP/DWキー又はテンキーから選択後、ENTキー押下
F1～F3は、キー押下と同時に遷移します。
- ・チェック：「削除」「印刷」を選択時、登録データが存在しない場合は、データ無し（※3）に移行します。
システム設定がされていない場合は、システム未設定（※4）に移行します。
- ・エラー：エラー音、
- ・入力後：指定された業務へ移行
- ・F2キー押下後、ワイヤレススキャナ機能（Max標準搭載機能）へ遷移します。
ワイヤレススキャナについては、別紙「ワイヤレススキャナ操作マニュアル.pdf」をご参照ください。
- ・*+ENTキー押下後、メンテナンス処理に移行します。
- ・*+F4キー押下後、端末情報を表示します。

※3 データ無し

- ・登録データが存在しない場合、この画面を表示します。
- ・B e e p音を鳴らし、表示後、メインメニュー（※2）に移行します。

※4 システム未設定

- ・システム設定がされていない場合、この画面を表示します。
- ・B e e p音を鳴らし、表示後、メインメニュー（※2）に移行します。

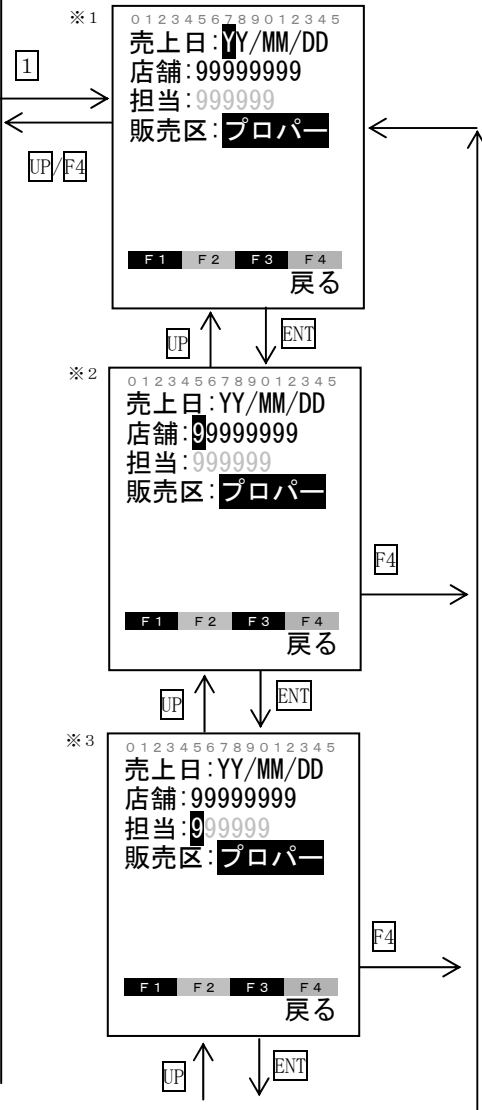
※5 バッテリーチェック

- ・メインメニューから業務に移行する際、送信を行う前などにバッテリーチェックを行い、ローバッテリーの場合、警告画面を表示します。
- ・ENTキー押下で表示を終了します。

※6 立ち上げ不能

- ・この画面が出る場合は、アプリを起動できません。
ハンディ本体のシリアルNoをお控え頂いた上で、本部もしくは販売店へお問合せ下さい。
この画面表示後、任意のキーを押下することで、自動で電源OFFします。

メインメニュー



共通事項：システム設定のマスタ区分設定にて区分を指定している場合でかつ、マスタが存在する場合は、「マスタ有効」となりますので対象の入力項目を確定後に該当マスタを参照します。

※1 売上日入力

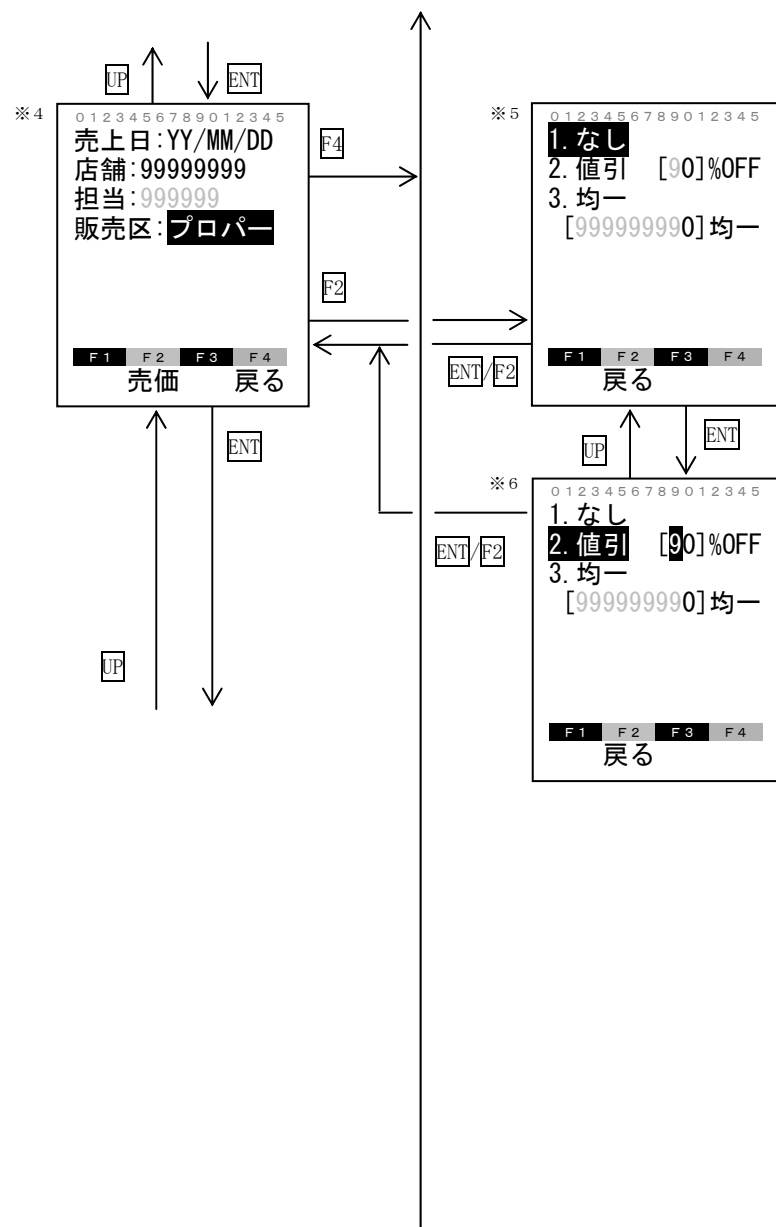
- ・売上日の入力を行います。
- パラメータ設定[日付]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する：通常入力 表示のみ：表示のみで入力不可
- ・デフォルト：システム日付（例：2007年05月15日の場合、「07/05/15」と表示されます）
- ・入力方法：テンキー又は`ENT`キー押下
テンキーより2桁入力した場合、年→月→日へとカーソルが自動移行
- ・チェック：妥当性チェック
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・`UP`/`F4`キー：メインメニューに戻る。

※2 店舗コード入力

- ・店舗コードの入力を行います。
- パラメータ設定[店舗]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力 表示のみ：表示のみで入力不可
- ・デフォルト：システム設定－店舗コード（マスタ有効の場合は店舗名を表示）
- ・入力方法：テンキーより入力後、`ENT`キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：＜手入力＞なし
＜スキャン＞バーコード種別、桁数（8桁以下）、手入力中のスキャン不可
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・入力後：マスタ有効の場合は店舗マスタを検索し、該当する店舗名を入力値と置き換えて表示します。
店舗マスタ「チェック」設定の場合、店舗マスタに存在しないものはエラーとします。

※3 担当者コード入力

- ・担当者コードの入力を行います。
- パラメータ設定[担当]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力
- ・デフォルト：空白
- ・入力方法：テンキーより入力後、`ENT`キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：＜手入力＞なし
＜スキャン＞バーコード種別、桁数（6桁以下）、手入力中のスキャン不可
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・入力後：マスタ有効の場合は担当者マスタを検索し、該当する担当者名を入力値と置き換えて表示します。
担当者マスタ「チェック」設定の場合、担当者マスタに存在しないものはエラーとします。



※4 プロパー・セール選択

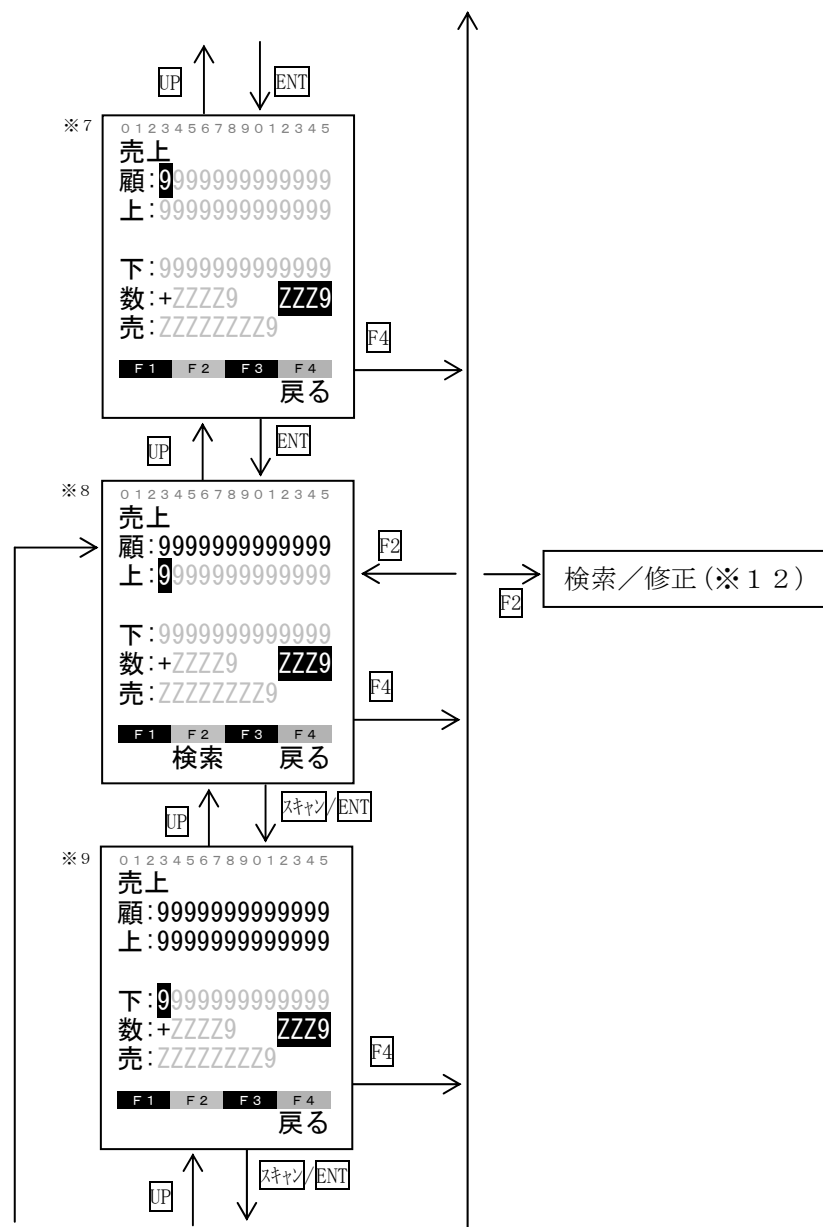
- ・販売区分の選択を行います。
- パラメータ設定[販区]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する：通常入力
- ・デフォルト：プロパー
- ・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示／プロパー：0、セール：1
- ・**F2**キー：売価計算方式選択（※5）に移行

※5 売価計算方式選択

- ・売価のデフォルト表示に用いる値について、計算方式の選択を行います。
- ・デフォルト：1.なし
- ・入力方法：テンキー又は、**UP**/**DW**キーより選択
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示／なし
- ・**ENT**キー：「1.なし」選択時は、確定して、プロパー・セール選択（※4）に移行
それ以外は、売価計算値入力（※6）に移行
- ・**F2**キー：確定して、プロパー・セール選択（※4）に移行

※6 売価計算値入力

- ・売価計算方式で「2.値引」を選択した場合、OFF率の入力を行いません。
売価情報を取得した際「(売価情報×(100-OFF率))/100」の値が売価のデフォルトになります。
- ・売価計算方式で「3.均一」を選択した場合、均一価格の入力を行いません。
取得した売価情報に関係なく、ここで入力された均一価格が売価のデフォルトになります。
- ・デフォルト：0
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：前スペース／前ゼロ
- ・**ENT**キー：値を確定して、プロパー・セール選択（※4）に移行
- ・**UP**キー：売価計算方式選択（※5）に移行
- ・**F2**キー：プロパー・セール選択（※4）に移行



※7 顧客コード入力

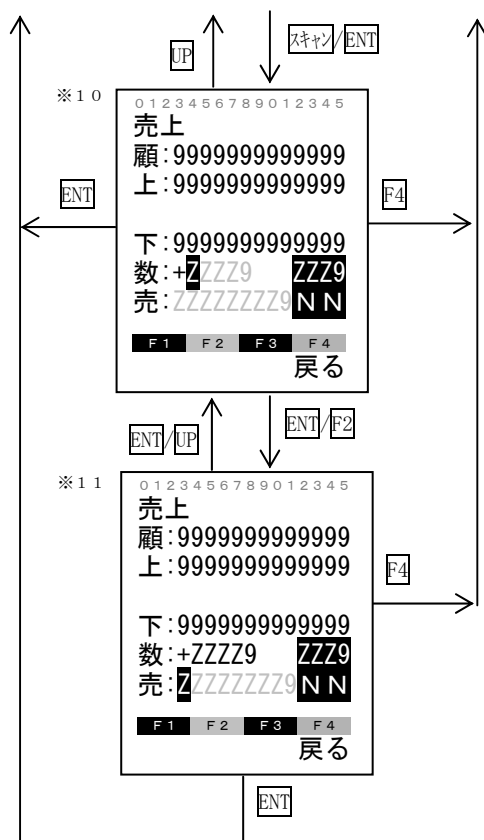
- 顧客コードの入力を行います。
- パラメータ設定[顧客]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力
- デフォルト：空白
- 入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- チェック：＜手入力＞なし
＜スキャン＞バーコード種別、桁数（13桁以下）、手入力中のスキャン不可
- エラー：エラー音
- 表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- 入力後：「ZZZ9」に、顧客コードをキーにした、登録済みのデータ合計件数を表示します。

※8 商品コード（上段）入力

- 商品コード（上段）の入力を行います。（必須入力）
- デフォルト：空白
- 入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下 又は、スキャン入力
- チェック：バーコード種別、桁数、先頭桁識別、手入力中のスキャン不可
※バーコード種別／桁数、先頭桁識別はパラメータ設定に準ずる
パラメータ設定[下段：非表示]でかつ、「商品コード重複時：数量加算／上書き／入力不可」の場合、既存データを検索します。（詳細はパラメータ設定を参照）
- エラー：エラー音
- 表示／登録方法：後スペース／後スペース
- 入力後：マスタ有効の場合は商品マスタを入力値で検索し、該当する商品名を下の段に表示します。
商品マスタ「チェック」設定の場合、商品マスタに存在しないものはエラーとします。
- パラメータ設定[BCD]→JANの場合、7桁、12桁を手入力後**ENT**キー押下でC/Dの自動付加を行う
F2キー：検索／修正（※12）に移行
- 「ZZZ9」には、顧客コードをキーにした、登録済みのデータ合計件数を表示します。
パラメータ設定[顧客：非表示]の場合は、登録済みデータの総件数となります。

※9 商品コード（下段）入力

- 商品コード（下段）の入力を行います。
- パラメータ設定[下段]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する：通常入力
- デフォルト：空白
- 入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下 又は、スキャン入力
- チェック：バーコード種別、桁数、先頭桁識別、手入力中のスキャン不可
※バーコード種別／桁数、先頭桁識別はパラメータ設定に準ずる
パラメータ設定「商品コード重複時：数量加算／上書き／入力不可」の場合、既存データを検索します。（詳細はパラメータ設定を参照）
- エラー：エラー音
- 表示／登録方法：後スペース／後スペース
- パラメータ設定[BCD]→JANの場合、7桁、12桁入力後**ENT**キー押下でC/Dの自動付加を行う

**商品コード重複時について**

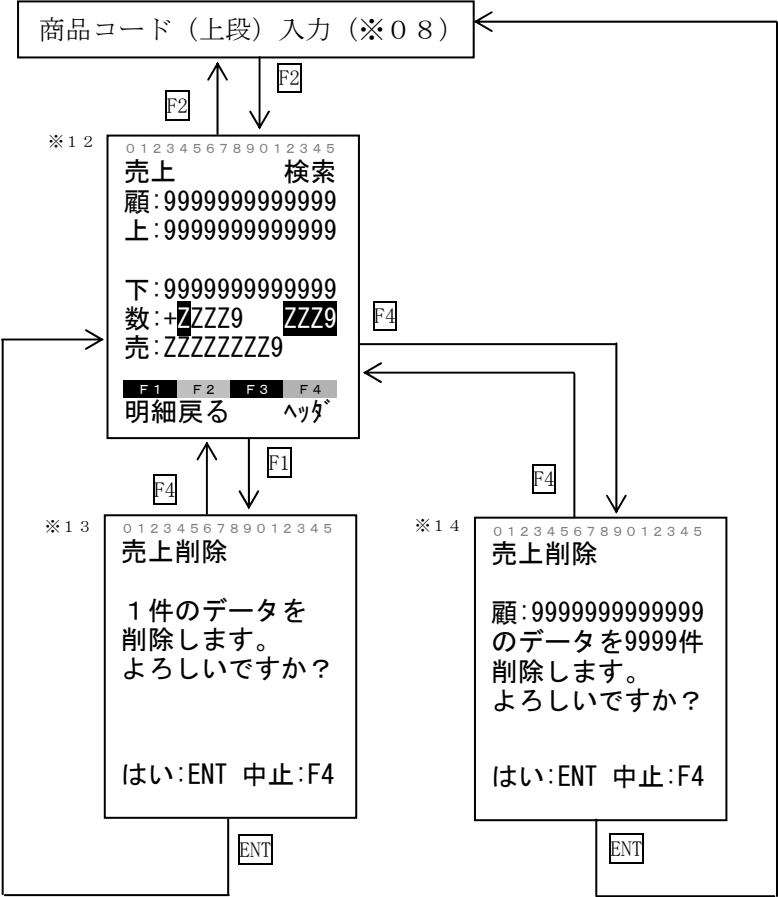
データ登録方法に関しては、パラメータ設定の「商品コード重複時」に準じます。
 商品コード確定時に、設定内容に従い既存データの検索を行ない、一致するデータが存在している場合は、画面6段目のNNに、「上書」もしくは「加算」を表示します。
 その際、数量と売価に関しては既存データより取得した値を表示（デフォルト値より優先して表示）します。但し数量に関してはあくまで確認用であるため、そのまま確定してもその値は反映されません。実際には既存データの有り無しにかかわらず、数量の説明に記載しているデフォルト値が内部でセットされておりますのでご注意ください。

※10 数量入力

- ・数量の入力を行います。（必須入力）
- パラメータ設定[デフォルト表示]→無効:デフォルトなし、有効:デフォルト「1」
- パラメータ設定[小数入力] →無効:小数点入力不可、有効:小数点入力可（./キー）
- パラメータ設定[マイナス入力] →無効:マイナス入力不可、有効:マイナス入力可（./キー）
- ※./キーは、カーソルが先頭の時は符号の切り替え、入力途中の時は小数点入力となります。
- パラメータ設定[デフォルト表示:有効]でかつ、
 [売価:非表示/入力(F2)] →商品コードのスキャン可能（連続スキャン処理）
- ・デフォルト:パラメータ設定に準ずる
- ・入力方法:テンキーより入力後、ENTキー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック:ゼロ入力不可 ※商品コードスキャン時は、商品コード上段のチェックと同じとする。
- ・エラー:エラー音
- ・表示/登録方法:前スペース/前ゼロ
- ・入力後:パラメータ設定[売価:入力する]の場合、数量を確定して、売価入力（※11）へ移行
 [売価:非表示/入力(F2)]の場合、データを登録後、商品コード（上段）入力（※8）に移行
 ※データ登録方法は、「商品コード重複時について」の説明を参照
- ・F2キー:パラメータ設定[売価:入力(F2)]の場合のみ、売価入力（※11）に移行

※11 売価入力

- ・売価の入力を行います。
- パラメータ設定[売価]→非表示:本項目は非表示。入力不可。
 入力する/入力(F2):通常入力
- ・デフォルト:ゼロ、但しパラメータ設定において下段より売価情報を取得する設定の場合、その売価情報と売価計算方式（※5）の設定値に準じてセット
 売価計算方式→「2.値引」:(売価情報×(100-OFF率))/100
 「3.均一」:均一価格（取得した売価情報は無効）
- ・入力方法:テンキーより入力後、ENTキー押下
- ・チェック:なし（ゼロ入力も可）
- ・エラー:なし
- ・表示/登録方法:前スペース/前ゼロ
- ・入力後:パラメータ設定[売価:入力する]の場合、データを登録後、商品コード（上段）入力（※8）に移行、
 [売価:入力(F2)]の場合、売価を確定して、数量入力（※10）に移行
 ※データ登録方法は、「商品コード重複時について」の説明を参照



※12 検索／修正

- ・顧客コードが一致するデータを検索し、数量の修正を行います。（0入力不可）
- パラメータ設定[小数入力] →無効:小数点入力不可、有効:小数点入力可（**[./-]**キー）
- パラメータ設定[マイナス入力] →無効:マイナス入力不可、有効:マイナス入力可（**[./-]**キー）
- ※**[./-]**キーは、カーソルが先頭の時は符号の切り替え、入力途中の時は小数点入力となります。
- ・検索条件：パラメータ設定[顧客：非表示]の場合は全データ対象、その他は顧客コードが一致するデータ
- ・デフォルト：直近のデータ
- ・入力方法：テンキーより入力後、**[ENT]**キー押下
- ・チェック：ゼロ入力不可
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前スペース／前ゼロ
- ・入力後：**[ENT]**キー押下によって数量を確定し、データを更新します。その後更新済みデータを再表示
- ・**[UP]**/**[DW]**キー：データの検索を行います。
- ・**[F1]**キー：データ削除（※13）に移行
- ・**[F2]**キー：検索を終了して、商品コード（上段）入力（※8）に移行
- ・**[F4]**キー：顧客コード一括削除（※14）に移行
- ・「ZZZ9」には、検索対象の総データ件数を表示します。

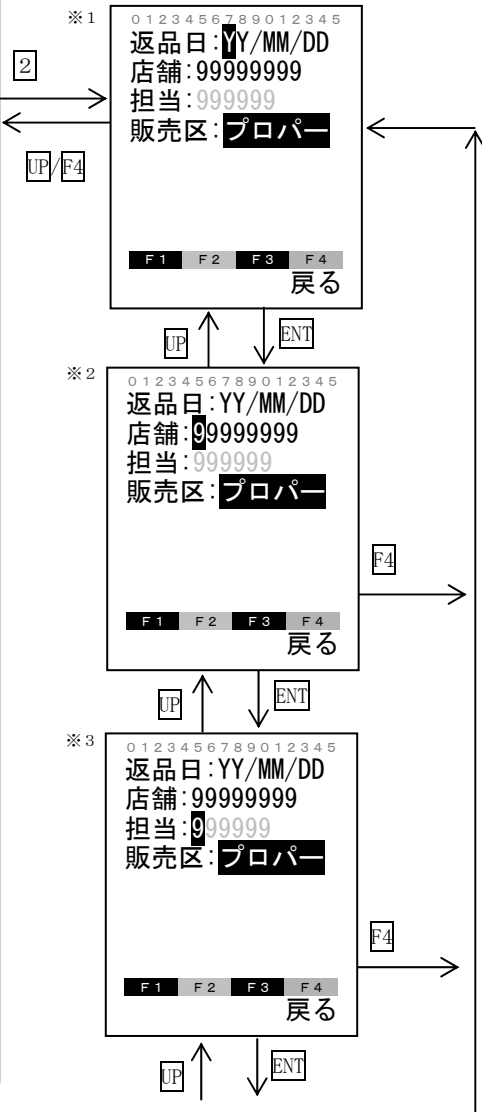
※13 データ削除

- ・表示中のデータ1件の削除を行います。
- ・**[ENT]**キー：データを削除後、検索／修正（※12）に移行
検索対象のデータが存在しない場合は、商品コード（上段）入力（※8）に移行
- ・**[F4]**キー：データ削除を中止して、検索／修正（※12）に移行

※14 顧客コード一括削除

- ・表示中の顧客コードに該当するデータの一括削除を行います。
- ・**[ENT]**キー：データを削除後、商品コード（上段）入力（※8）に移行
- ・**[F4]**キー：データ削除を中止して、検索／修正（※12）に移行
- ・削除条件：パラメータ設定[顧客：非表示]の場合は、顧客コードがない（空白である）データが対象、
その他は顧客コードが一致するデータ

メインメニュー



共通事項：システム設定のマスタ区分設定にて区分を指定している場合でかつ、マスタが存在する場合は、「マスタ有効」となりますので対象の入力項目を確定後に該当マスタを参照します。

※1 返品日入力

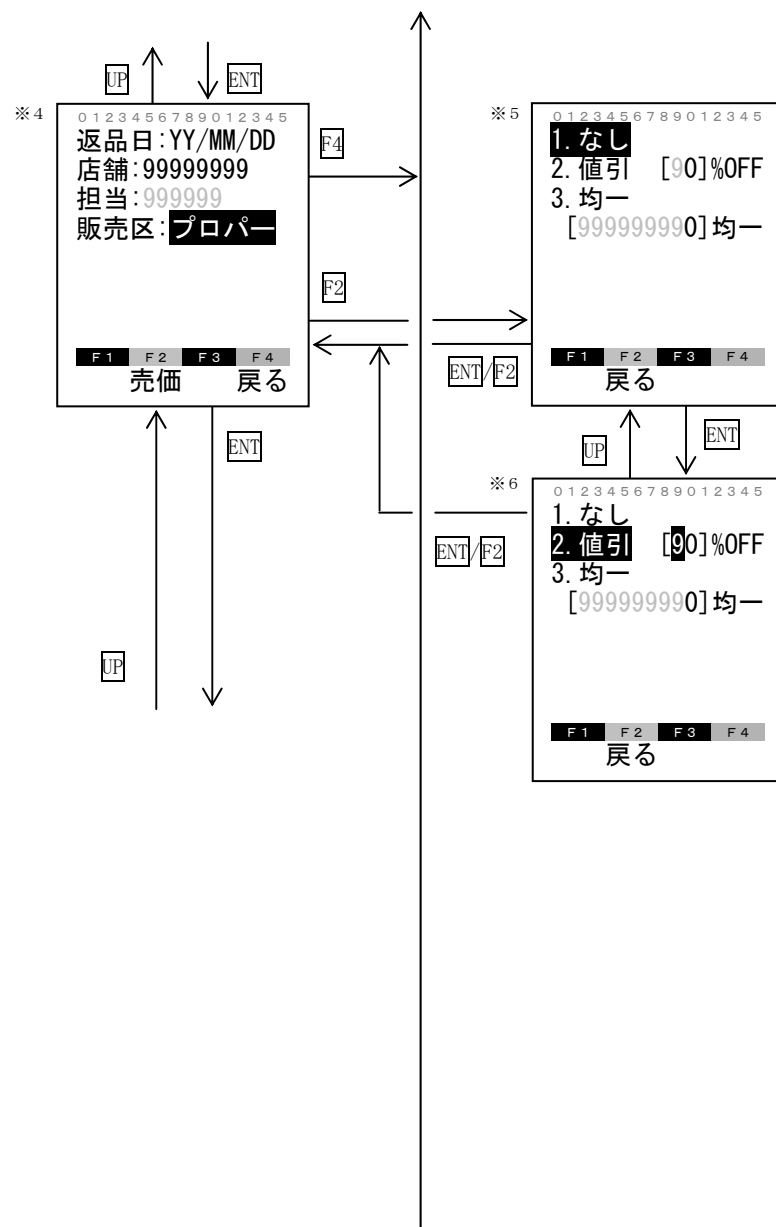
- ・返品日の入力を行います。
- パラメータ設定[日付]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する：通常入力 表示のみ：表示のみで入力不可
- ・デフォルト：システム日付（例：2007年05月15日の場合、「07/05/15」と表示されます）
- ・入力方法：テンキー又は`ENT`キー押下
テンキーより2桁入力した場合、年→月→日へとカーソルが自動移行
- ・チェック：妥当性チェック
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・`UP`/`F4`キー：メインメニューに戻る。

※2 店舗コード入力

- ・店舗コードの入力を行います。
- パラメータ設定[店舗]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力 表示のみ：表示のみで入力不可
- ・デフォルト：システム設定－店舗コード（マスタ有効の場合は店舗名を表示）
- ・入力方法：テンキーより入力後、`ENT`キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：＜手入力＞なし
＜スキャン＞バーコード種別、桁数（8桁以下）、手入力中のスキャン不可
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・入力後：マスタ有効の場合は店舗マスタを検索し、該当する店舗名を入力値と置き換えて表示します。
店舗マスタ「チェック」設定の場合、店舗マスタに存在しないものはエラーとします。

※3 担当者コード入力

- ・担当者コードの入力を行います。
- パラメータ設定[担当]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力
- ・デフォルト：空白
- ・入力方法：テンキーより入力後、`ENT`キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：＜手入力＞なし
＜スキャン＞バーコード種別、桁数（6桁以下）、手入力中のスキャン不可
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・入力後：マスタ有効の場合は担当者マスタを検索し、該当する担当者名を入力値と置き換えて表示します。
担当者マスタ「チェック」設定の場合、担当者マスタに存在しないものはエラーとします。



※4 プロパー・セール選択

- ・販売区分の選択を行います。
- パラメータ設定[販区]→非表示: 本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する: 通常入力

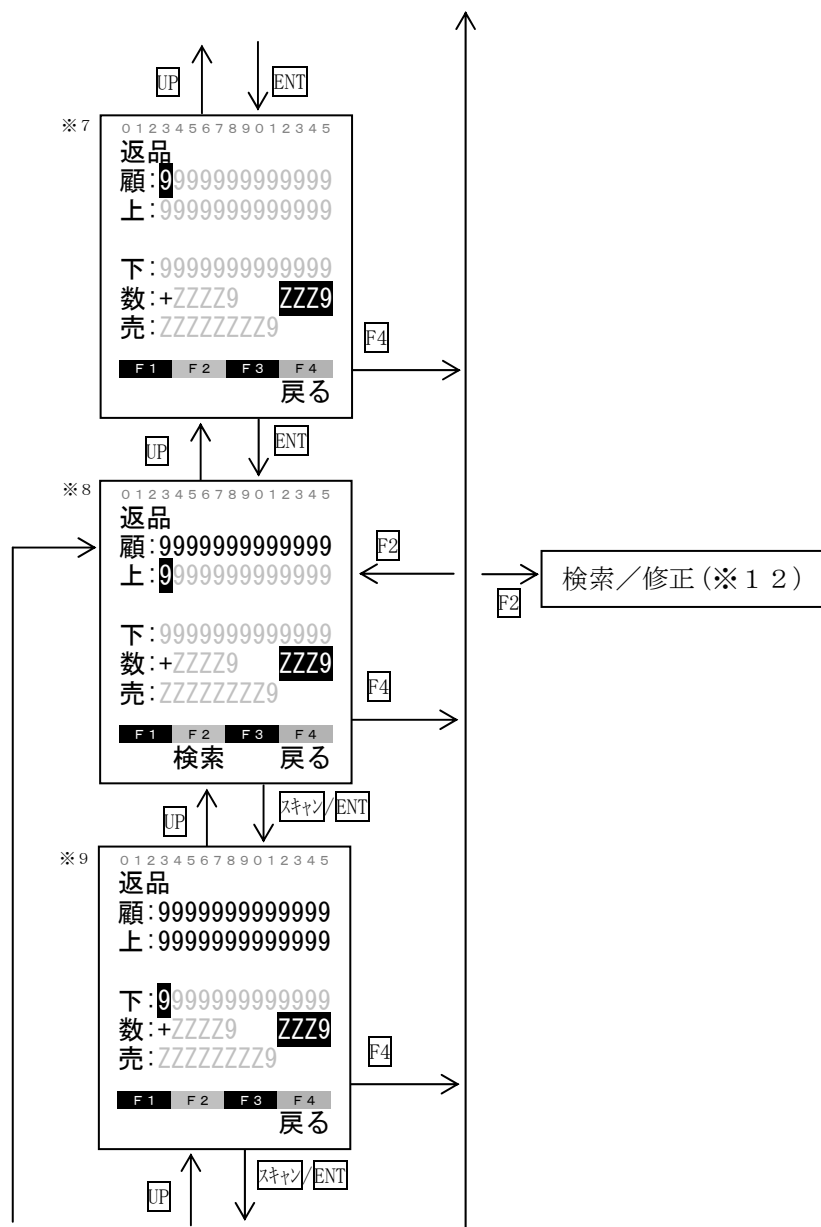
- ・デフォルト: プロパー
- ・入力方法: **DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・チェック: なし
- ・エラー: なし
- ・表示/登録方法: 選択項目反転表示/プロパー: 0、セール: 1
- ・**F2**キー: 売価計算方式選択(※5)に移行

※5 売価計算方式選択

- ・売価のデフォルト表示に用いる値について、計算方式の選択を行います。
- ・デフォルト: 1. なし
- ・入力方法: テンキー又は、**UP**/**DW**キーより選択
- ・チェック: なし
- ・エラー: なし
- ・表示/登録方法: 選択項目反転表示/なし
- ・**ENT**キー: 「1. なし」選択時は、確定して、プロパー・セール選択(※4)に移行
それ以外は、売価計算値入力(※6)に移行
- ・**F2**キー: 確定して、プロパー・セール選択(※4)に移行

※6 売価計算値入力

- ・売価計算方式で「2. 値引」を選択した場合、OFF率の入力を行いません。
売価情報を取得した際「(売価情報×(100-OFF率))/100」の値が売価のデフォルトになります。
- ・売価計算方式で「3. 均一」を選択した場合、均一価格の入力を行いません。
取得した売価情報に関係なく、ここで入力された均一価格が売価のデフォルトになります。
- ・デフォルト: 0
- ・入力方法: テンキーより入力後、**ENT**キー押下
- ・チェック: なし
- ・エラー: なし
- ・表示/登録方法: 前スペース/前ゼロ
- ・**ENT**キー: 値を確定して、プロパー・セール選択(※4)に移行
- ・**UP**キー: 売価計算方式選択(※5)に移行
- ・**F2**キー: プロパー・セール選択(※4)に移行



※7 顧客コード入力

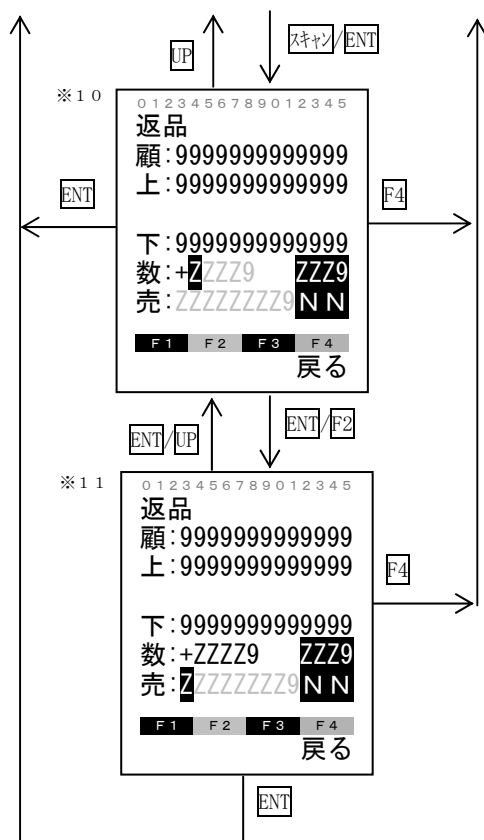
- 顧客コードの入力を行います。
- パラメータ設定[顧客]→非表示: 本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する/入力(NW7)/入力(CD39): 通常入力
- デフォルト: 空白
- 入力方法: テンキーより入力後、**ENT**キー押下 (パラメータ設定によってはスキャン入力も可能)
- チェック: <手入力>なし
<スキャン>バーコード種別、桁数 (13桁以下)、手入力中のスキャン不可
- エラー: エラー音
- 表示/登録方法: 前ゼロ/前ゼロ
- 入力後: 「ZZZ9」に、顧客コードをキーにした、登録済みのデータ合計件数を表示します。

※8 商品コード (上段) 入力

- 商品コード (上段) の入力を行います。(必須入力)
- デフォルト: 空白
- 入力方法: テンキーより入力後、**ENT**キー押下 又は、スキャン入力
- チェック: バーコード種別、桁数、先頭桁識別、手入力中のスキャン不可
※バーコード種別/桁数、先頭桁識別はパラメータ設定に準ずる
パラメータ設定[下段: 非表示]でかつ、「商品コード重複時: 数量加算/上書き/入力不可」の場合、既存データを検索します。(詳細はパラメータ設定を参照)
- エラー: エラー音
- 表示/登録方法: 後スペース/後スペース
- 入力後: マスタ有効の場合は商品マスタを入力値で検索し、該当する商品名を下の段に表示します。
商品マスタ「チェック」設定の場合、商品マスタに存在しないものはエラーとします。
- パラメータ設定[BCD]→JANの場合、7桁、12桁を手入力後**ENT**キー押下でC/Dの自動付加を行う
F2キー: 検索/修正 (※12) に移行
- 「ZZZ9」には、顧客コードをキーにした、登録済みのデータ合計件数を表示します。
パラメータ設定[顧客: 非表示]の場合は、登録済みデータの総件数となります。

※9 商品コード (下段) 入力

- 商品コード (下段) の入力を行います。
- パラメータ設定[下段]→非表示: 本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する: 通常入力
- デフォルト: 空白
- 入力方法: テンキーより入力後、**ENT**キー押下 又は、スキャン入力
- チェック: バーコード種別、桁数、先頭桁識別、手入力中のスキャン不可
※バーコード種別/桁数、先頭桁識別はパラメータ設定に準ずる
パラメータ設定「商品コード重複時: 数量加算/上書き/入力不可」の場合、既存データを検索します。(詳細はパラメータ設定を参照)
- エラー: エラー音
- 表示/登録方法: 後スペース/後スペース
- パラメータ設定[BCD]→JANの場合、7桁、12桁入力後**ENT**キー押下でC/Dの自動付加を行う



商品コード重複時について

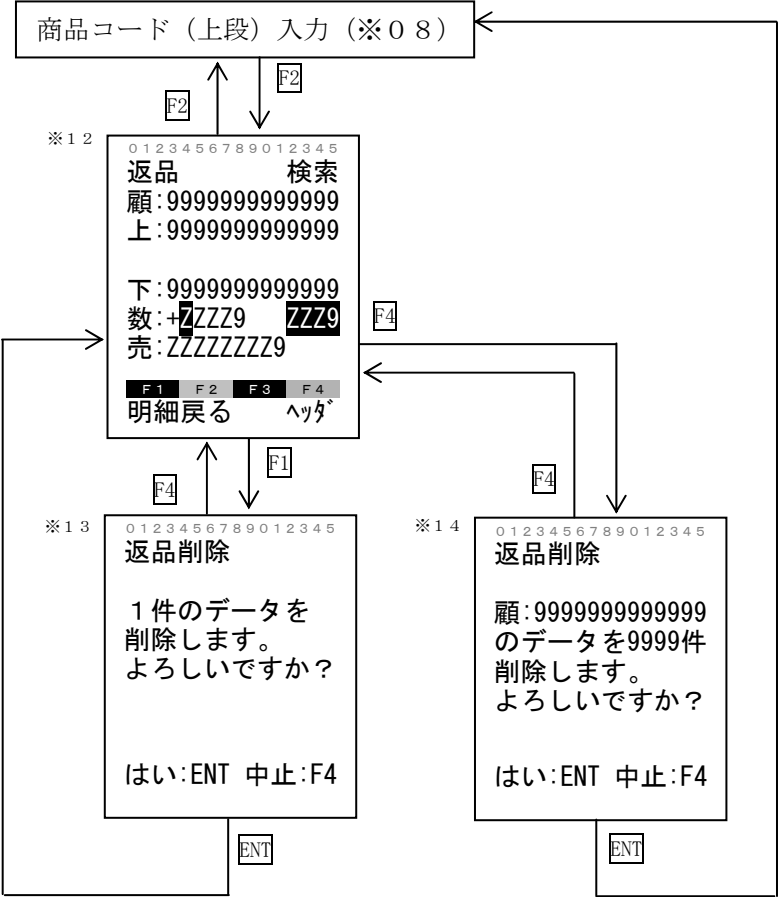
データ登録方法に関しては、パラメータ設定の「商品コード重複時」に準じます。
 商品コード確定時に、設定内容に従い既存データの検索を行ない、一致するデータが存在している場合は、画面6段目のNNに、「上書」もしくは「加算」を表示します。
 その際、数量と売価に関しては既存データより取得した値を表示（デフォルト値より優先して表示）します。但し数量に関してはあくまで確認用であるため、そのまま確定してもその値は反映されません。実際には既存データの有り無しにかかわらず、数量の説明に記載しているデフォルト値が内部でセットされておりますのでご注意ください。

※10 数量入力

- ・数量の入力を行います。（必須入力）
- パラメータ設定[デフォルト表示]→無効:デフォルトなし、有効:デフォルト「1」
- パラメータ設定[小数入力] →無効:小数点入力不可、有効:小数点入力可（./-キー）
- パラメータ設定[マイナス入力] →無効:マイナス入力不可、有効:マイナス入力可（./-キー）
- ※./-キーは、カーソルが先頭の時は符号の切り替え、入力途中の時は小数点入力となります。
- パラメータ設定[デフォルト表示:有効]でかつ、
 [売価:非表示/入力(F2)] →商品コードのスキャン可能（連続スキャン処理）
- ・デフォルト:パラメータ設定に準ずる
- ・入力方法:テンキーより入力後、ENTキー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック:ゼロ入力不可 ※商品コードスキャン時は、商品コード上段のチェックと同じとする。
- ・エラー:エラー音
- ・表示/登録方法:前スペース/前ゼロ
- ・入力後:パラメータ設定[売価:入力する]の場合、数量を確定して、売価入力（※11）へ移行
 [売価:非表示/入力(F2)]の場合、データを登録後、商品コード（上段）入力（※8）に移行
 ※データ登録方法は、「商品コード重複時について」の説明を参照
- ・F2キー:パラメータ設定[売価:入力(F2)]の場合のみ、売価入力（※11）に移行

※11 売価入力

- ・売価の入力を行います。
- パラメータ設定[売価]→非表示:本項目は非表示。入力不可。
 入力する/入力(F2):通常入力
- ・デフォルト:ゼロ、但しパラメータ設定において下段より売価情報を取得する設定の場合、
 その売価情報と売価計算方式（※5）の設定値に準じてセット
 売価計算方式→「2.値引」:(売価情報×(100-OFF率))/100
 「3.均一」:均一価格（取得した売価情報は無効）
- ・入力方法:テンキーより入力後、ENTキー押下
- ・チェック:なし（ゼロ入力も可）
- ・エラー:なし
- ・表示/登録方法:前スペース/前ゼロ
- ・入力後:パラメータ設定[売価:入力する]の場合、データを登録後、商品コード（上段）入力（※8）に移行、
 [売価:入力(F2)]の場合、売価を確定して、数量入力（※10）に移行
 ※データ登録方法は、「商品コード重複時について」の説明を参照



※12 検索／修正

- ・顧客コードが一致するデータを検索し、数量の修正を行います。（0入力不可）
- パラメータ設定[小数入力] →無効:小数点入力不可、有効:小数点入力可（**[./-]**キー）
- パラメータ設定[マイナス入力] →無効:マイナス入力不可、有効:マイナス入力可（**[./-]**キー）
- ※**[./-]**キーは、カーソルが先頭の時は符号の切り替え、入力途中の時は小数点入力となります。
- ・検索条件：パラメータ設定[顧客：非表示]の場合は全データ対象、その他は顧客コードが一致するデータ
- ・デフォルト：直近のデータ
- ・入力方法：テンキーより入力後、**[ENT]**キー押下
- ・チェック：ゼロ入力不可
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前スペース／前ゼロ
- ・入力後：**[ENT]**キー押下によって数量を確定し、データを更新します。その後更新済みデータを再表示
- ・**[UP]**/**[DW]**キー：データの検索を行います。
- ・**[F1]**キー：データ削除（※13）に移行
- ・**[F2]**キー：検索を終了して、商品コード（上段）入力（※8）に移行
- ・**[F4]**キー：顧客コード一括削除（※14）に移行
- ・「ZZZ9」には、検索対象の総データ件数を表示します。

※13 データ削除

- ・表示中のデータ1件の削除を行います。
- ・**[ENT]**キー：データを削除後、検索／修正（※12）に移行
検索対象のデータが存在しない場合は、商品コード（上段）入力（※8）に移行
- ・**[F4]**キー：データ削除を中止して、検索／修正（※12）に移行

※14 顧客コード一括削除

- ・表示中の顧客コードに該当するデータの一括削除を行います。
- ・**[ENT]**キー：データを削除後、商品コード（上段）入力（※8）に移行
- ・**[F4]**キー：データ削除を中止して、検索／修正（※12）に移行
- ・削除条件：パラメータ設定[顧客：非表示]の場合は、顧客コードがない（空白である）データが対象、
その他は顧客コードが一致するデータ

メインメニュー

※1

0123456789012345

入庫日:YY/MM/DD

店舗:99999999

担当:999999

相手:99999999

F1 F2 F3 F4

戻る

※2

0123456789012345

入庫日:YY/MM/DD

店舗:99999999

担当:999999

相手:99999999

F1 F2 F3 F4

戻る

※3

0123456789012345

入庫日:YY/MM/DD

店舗:99999999

担当:999999

相手:99999999

F1 F2 F3 F4

戻る

共通事項：システム設定のマスタ区分設定にて区分を指定している場合でかつ、マスタが存在する場合は、「マスタ有効」となりますので対象の入力項目を確定後に該当マスタを参照します。

※1 入庫日入力

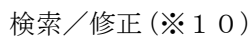
- ・入庫日の入力を行います。
- パラメータ設定[日付]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する：通常入力 表示のみ：表示のみで入力不可
- ・デフォルト：システム日付（例：2007年05月15日の場合、「07/05/15」と表示されます）
- ・入力方法：テンキー又は`ENT`キー押下
テンキーより2桁入力した場合、年→月→日へとカーソルが自動移行
- ・チェック：妥当性チェック
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・`UP`/`F4`キー：メインメニューに戻る。

※2 店舗コード入力

- ・店舗コードの入力を行います。
- パラメータ設定[店舗]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力 表示のみ：表示のみで入力不可
- ・デフォルト：システム設定－店舗コード（マスタ有効の場合は店舗名を表示）
- ・入力方法：テンキーより入力後、`ENT`キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：＜手入力＞なし
＜スキャン＞バーコード種別、桁数（8桁以下）、手入力中のスキャン不可
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・入力後：マスタ有効の場合は店舗マスタを検索し、該当する店舗名を入力値と置き換えて表示します。
店舗マスタ「チェック」設定の場合、店舗マスタに存在しないものはエラーとします。

※3 担当者コード入力

- ・担当者コードの入力を行います。
- パラメータ設定[担当]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力
- ・デフォルト：空白
- ・入力方法：テンキーより入力後、`ENT`キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：＜手入力＞なし
＜スキャン＞バーコード種別、桁数（6桁以下）、手入力中のスキャン不可
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・入力後：マスタ有効の場合は担当者マスタを検索し、該当する担当者名を入力値と置き換えて表示します。
担当者マスタ「チェック」設定の場合、担当者マスタに存在しないものはエラーとします。

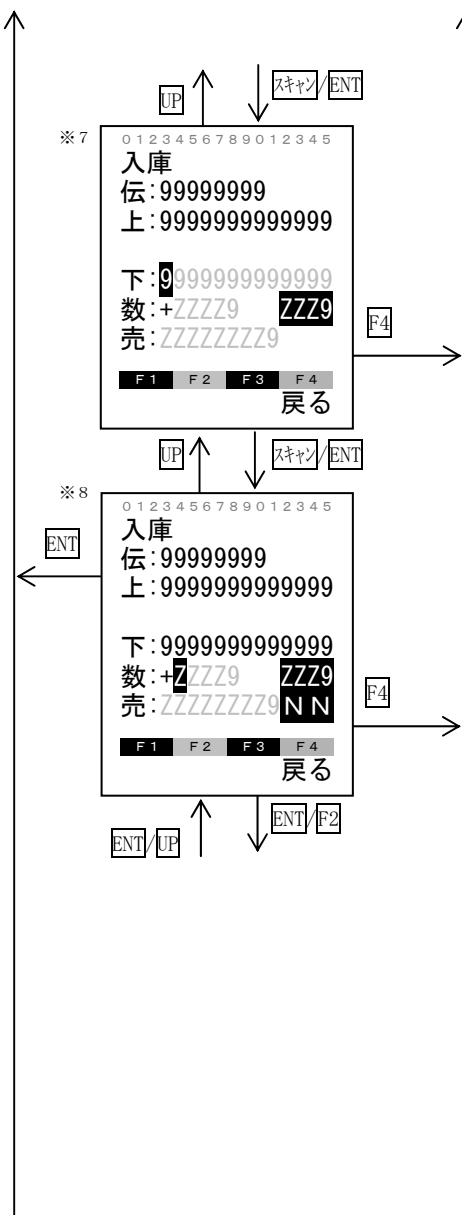


●パラメータ設定[相手]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
 入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力

- パラメータ設定[伝票]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
 入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力

- ※バーコード種別／桁数、先頭桁識別はパラメータ設定に準ずる
パラメータ設定[下段：非表示]でかつ、「商品コード重複時：数量加算／上書き／入力不可」の
場合、既存データを検索します。(詳細はパラメータ設定を参照)

- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：後スペース／後スペース
- ・入力後：マスタ有効の場合は商品マスタを入力値で検索し、該当する商品名を下の段に表示します。
商品マスタ「チェック」設定の場合、商品マスタに存在しないものはエラーとします。
- パラメータ設定[BCD]→JANの場合、7桁、12桁を手入力後[ENT]キー押下でC／Dの自動付加を行う
- ・[F2]キー：検索／修正（※10）に移行
- ・「ZZZ9」には、伝票Noをキーにした、登録済みのデータ合計件数を表示します。
パラメータ設定[伝票：非表示]の場合は、登録済みデータの総件数となります。



※7 商品コード（下段）入力

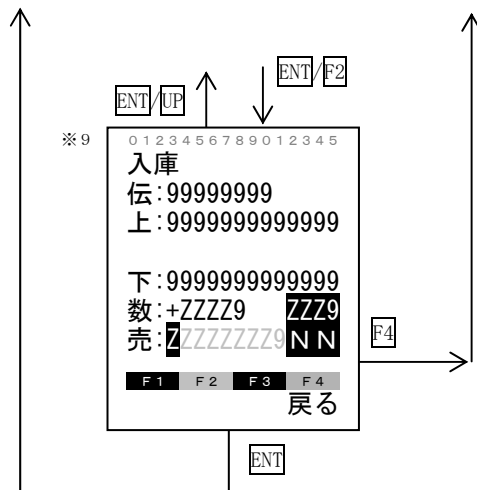
- 商品コード（下段）の入力を行います。
- パラメータ設定[下段]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する：通常入力
- デフォルト：空白
- 入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下 又は、スキャン入力
- チェック：バーコード種別、桁数、先頭桁識別、手入力中のスキャン不可
※バーコード種別／桁数、先頭桁識別はパラメータ設定に準ずる
パラメータ設定「商品コード重複時：数量加算／上書き／入力不可」の場合、既存データを検索します。（詳細はパラメータ設定を参照）
- エラー：エラー音
- 表示／登録方法：後スペース／後スペース
- パラメータ設定[BCD]→JANの場合、7桁、12桁入力後**ENT**キー押下でC／Dの自動付加を行う

商品コード重複時について

データ登録方法に関しては、パラメータ設定の「商品コード重複時」に準じます。
商品コード確定時に、設定内容に従い既存データの検索を行ない、一致するデータが存在している場合は、画面6段目のNNに、「上書」もしくは「加算」を表示します。
その際、数量と売価に関しては既存データより取得した値を表示（デフォルト値より優先して表示）します。
但し数量に関してはあくまで確認用であるため、そのまま確定してもその値は反映されません。実際には既存データの有り無しにかかわらず、数量の説明に記載しているデフォルト値が内部でセットされておりますのでご注意ください。

※8 数量入力

- 数量の入力を行います。（必須入力）
- パラメータ設定[デフォルト表示]→無効:デフォルトなし、有効:デフォルト「1」
- パラメータ設定[小数入力] →無効:小数点入力不可、有効:小数点入力可（**.**/**-**キー）
- パラメータ設定[マイナス入力] →無効:マイナス入力不可、有効:マイナス入力可（**.**/**-**キー）
※**.**/**-**キーは、カーソルが先頭の時は符号の切り替え、入力途中の時は小数点入力となります。
- パラメータ設定[デフォルト表示：有効]でかつ、
[売価：非表示／入力(F2)] →商品コードのスキャン可能（連続スキャン処理）
- デフォルト：パラメータ設定に準ずる
- 入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- チェック：ゼロ入力不可 ※商品コードスキャン時は、商品コード上段のチェックと同じとする。
- エラー：エラー音
- 表示／登録方法：前スペース／前ゼロ
- 入力後：パラメータ設定[売価：入力する]の場合、数量を確定して、売価入力（※9）へ移行
[売価：非表示／入力(F2)]の場合、データを登録後、商品コード（上段）入力（※6）に移行
※データ登録方法は、「商品コード重複時について」の説明を参照
- F2**キー：パラメータ設定[売価：入力(F2)]の場合のみ、売価入力（※9）に移行



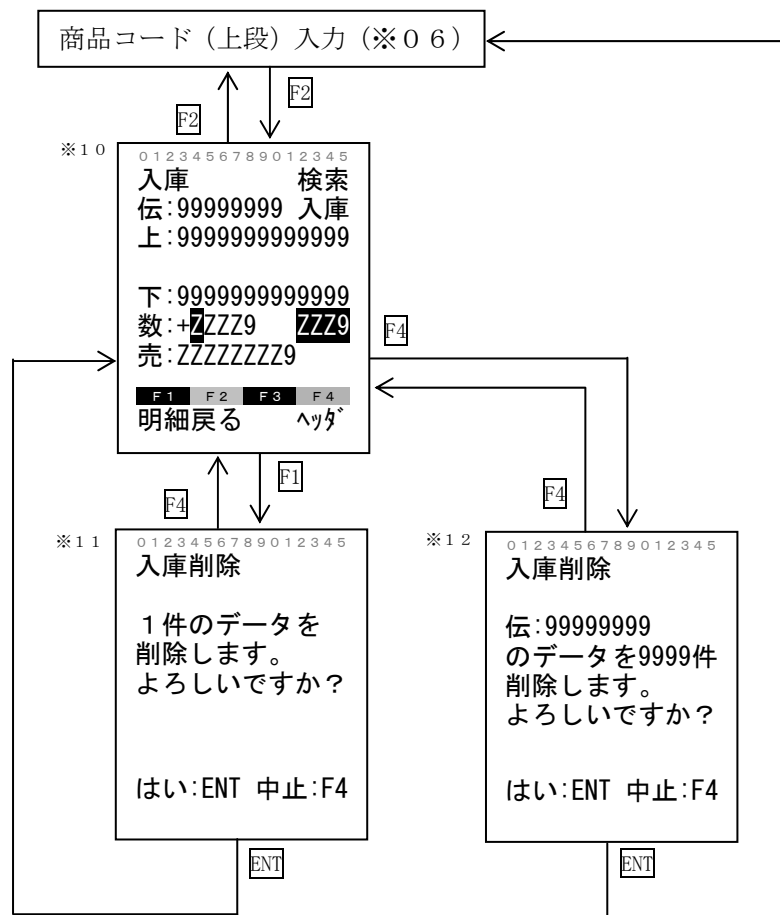
※9 売価入力

・売価の入力を行います。

●パラメータ設定[売価]→非表示：本項目は非表示。入力不可。

入力する／入力(F2)：通常入力

- ・デフォルト：ゼロ、但しパラメータ設定において下段より売価情報を取得する設定の場合はその値をセット
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし（ゼロ入力も可）
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：前スペース／前ゼロ
- ・入力後：パラメータ設定[売価：入力する]の場合、データを登録後、商品コード（上段）入力（※6）に移行、
[売価：入力(F2)]の場合、売価を確定して、数量入力（※8）に移行
※データ登録方法は、「商品コード重複時について」の説明を参照



※10 検索／修正

- ・伝票N o が一致するデータを検索し、数量の修正を行います。
- パラメータ設定[小数入力] →無効:小数点入力不可、有効:小数点入力可 (/ - キー)
- パラメータ設定[マイナス入力] →無効:マイナス入力不可、有効:マイナス入力可 (/ - キー)
- ※ / - キーは、カーソルが先頭の時は符号の切り替え、入力途中の時は小数点入力となります。
- ・検索条件:パラメータ設定[伝票:非表示]の場合は全データ対象、その他は伝票N o が一致するデータ
- ・デフォルト:直近のデータ
- ・入力方法:テンキーより入力後、ENT キー押下
- ・チェック:ゼロ入力不可
- ・エラー:エラー音
- ・表示／登録方法:前スペース／前ゼロ
- ・入力後:ENT キー押下によって数量を確定し、データを更新します。その後更新済みデータを再表示
- ・UP / DW キー:データの検索を行います。
- ・F1 キー:データ削除(※11)に移行
- ・F2 キー:検索を終了して、商品コード(上段)入力(※6)に移行
- ・F4 キー:伝票N o 一括削除(※12)に移行
- ・「ZZZ9」には、検索対象の総データ件数を表示します。

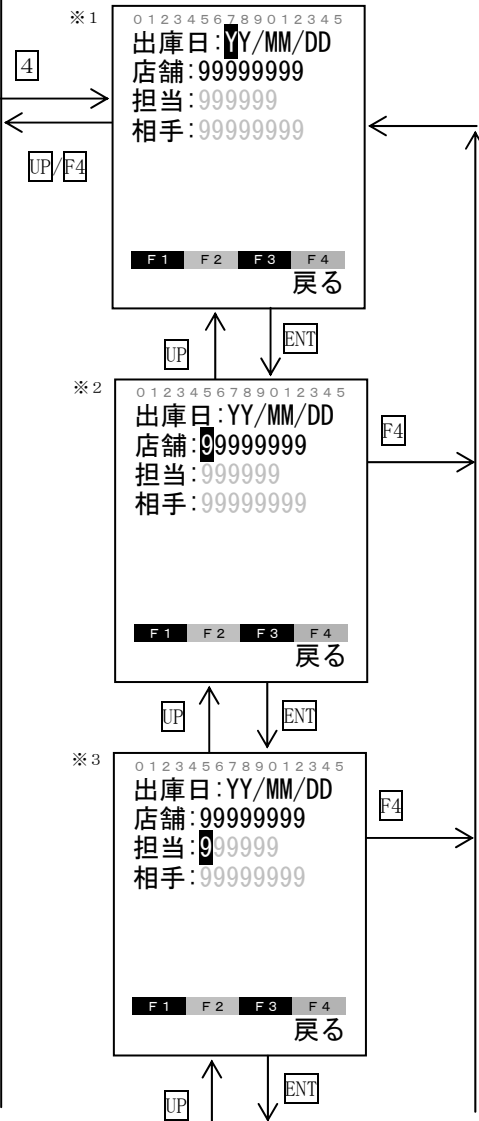
※11 データ削除

- ・表示中のデータ1件の削除を行います。
- ・ENT キー:データを削除後、検索／修正(※10)に移行
検索対象のデータが存在しない場合は、商品コード(上段)入力(※6)に移行
- ・F4 キー:データ削除を中止して、検索／修正(※10)に移行

※12 伝票N o 一括削除

- ・表示中の伝票N o に該当するデータの一括削除を行います。
- ・ENT キー:データを削除後、商品コード(上段)入力(※6)に移行
- ・F4 キー:データ削除を中止して、検索／修正(※10)に移行
- ・削除条件:パラメータ設定[伝票:非表示]の場合は、伝票N o がない(空白である)データが対象、
その他は伝票N o が一致するデータ

メインメニュー



共通事項：システム設定のマスタ区分設定にて区分を指定している場合でかつ、マスタが存在する場合は、「マスタ有効」となりますので対象の入力項目を確定後に該当マスタを参照します。

※1 出庫日入力

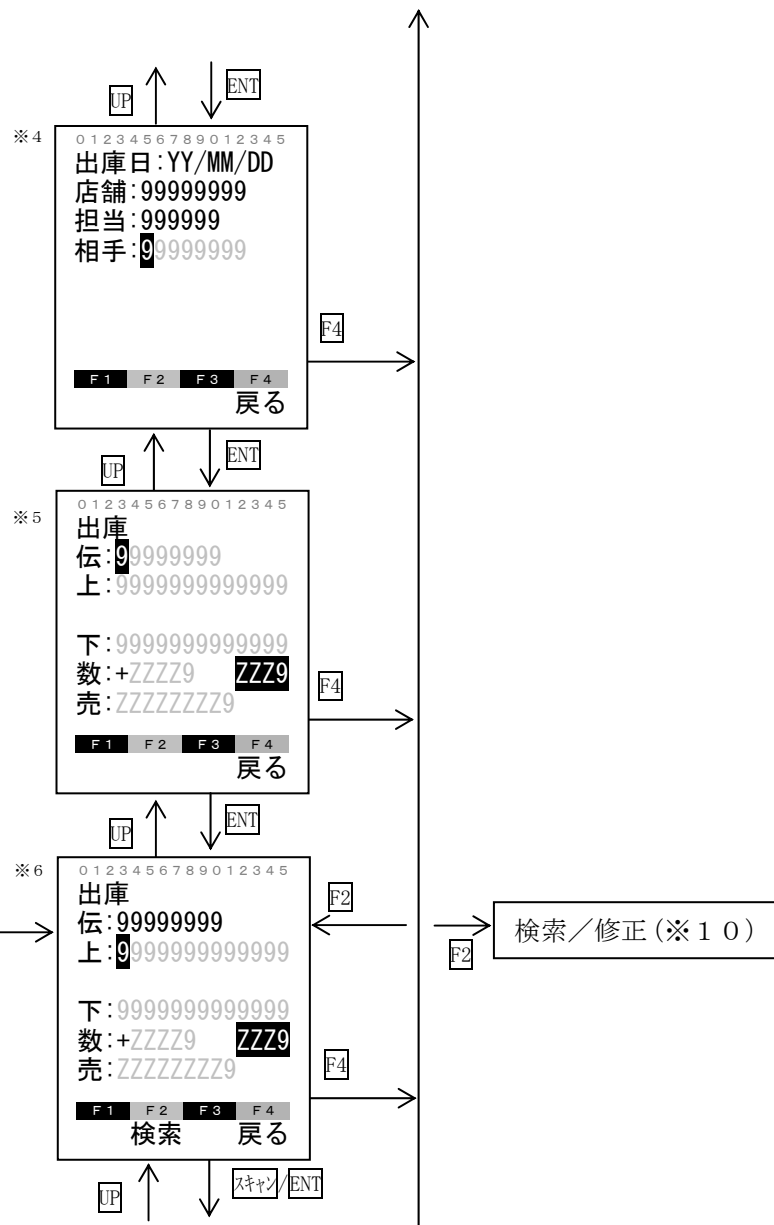
- ・出庫日の入力を行います。
- パラメータ設定[日付]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
 入力する：通常入力 表示のみ：表示のみで入力不可
- ・デフォルト：システム日付（例：2007年05月15日の場合、「07/05/15」と表示されます）
- ・入力方法：テンキー又は`ENT`キー押下
 テンキーより2桁入力した場合、年→月→日へとカーソルが自動移行
- ・チェック：妥当性チェック
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・`UP`/`F4`キー：メインメニューに戻る。

※2 店舗コード入力

- ・店舗コードの入力を行います。
- パラメータ設定[店舗]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
 入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力 表示のみ：表示のみで入力不可
- ・デフォルト：システム設定-店舗コード（マスタ有効の場合は店舗名を表示）
- ・入力方法：テンキーより入力後、`ENT`キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：＜手入力＞なし
 ＜スキャン＞バーコード種別、桁数（8桁以下）、手入力中のスキャン不可
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・入力後：マスタ有効の場合は店舗マスタを検索し、該当する店舗名を入力値と置き換えて表示します。
 店舗マスタ「チェック」設定の場合、店舗マスタに存在しないものはエラーとします。

※3 担当者コード入力

- ・担当者コードの入力を行います。
- パラメータ設定[担当]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
 入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力
- ・デフォルト：空白
- ・入力方法：テンキーより入力後、`ENT`キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：＜手入力＞なし
 ＜スキャン＞バーコード種別、桁数（6桁以下）、手入力中のスキャン不可
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・入力後：マスタ有効の場合は担当者マスタを検索し、該当する担当者名を入力値と置き換えて表示します。
 担当者マスタ「チェック」設定の場合、担当者マスタに存在しないものはエラーとします。



※4 相手先コード入力

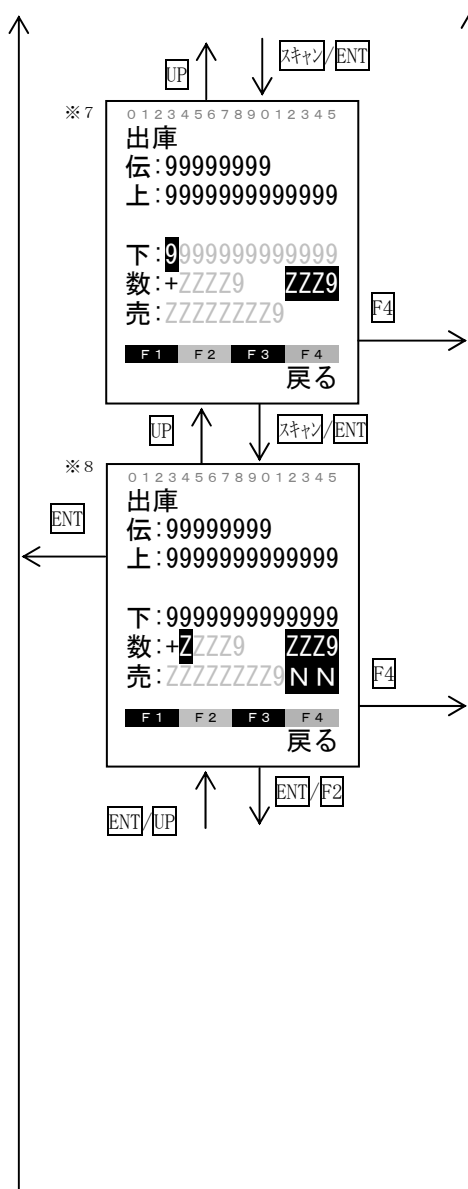
- ・相手先コードの入力を行います。
- パラメータ設定[相手]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力
- ・デフォルト：空白
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：＜手入力＞なし
＜スキャン＞バーコード種別、桁数（8桁以下）、手入力中のスキャン不可
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・入力後：マスタ有効の場合は得意先マスタを検索し、該当する得意先名を入力値と置き換えて表示します。
得意先マスタ「チェック」設定の場合、得意先マスタに存在しないものはエラーとします。

※5 伝票No入力

- ・伝票番号の入力を行います。
- パラメータ設定[伝票]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力
- ・デフォルト：空白
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：＜手入力＞なし
＜スキャン＞バーコード種別、桁数（8桁以下）、手入力中のスキャン不可
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・入力後：「ZZZ9」に、伝票Noをキーにした、登録済みのデータ合計件数を表示します。

※6 商品コード（上段）入力

- ・商品コード（上段）の入力を行います。（必須入力）
- ・デフォルト：空白
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下 又は、スキャン入力
- ・チェック：バーコード種別、桁数、先頭桁識別、手入力中のスキャン不可
※バーコード種別／桁数、先頭桁識別はパラメータ設定に準ずる
パラメータ設定[下段：非表示]でかつ、「商品コード重複時：数量加算／上書き／入力不可」の場合、既存データを検索します。（詳細はパラメータ設定を参照）
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：後スペース／後スペース
- ・入力後：マスタ有効の場合は商品マスタを入力値で検索し、該当する商品名を下の段に表示します。
商品マスタ「チェック」設定の場合、商品マスタに存在しないものはエラーとします。
- パラメータ設定[BCD]→JANの場合、7桁、12桁を手入力後**ENT**キー押下でC/Dの自動付加を行う
- ・**F2**キー：検索／修正（※10）に移行
- ・「ZZZ9」には、伝票Noをキーにした、登録済みのデータ合計件数を表示します。
パラメータ設定[伝票：非表示]の場合は、登録済みデータの総件数となります。



※7 商品コード（下段）入力

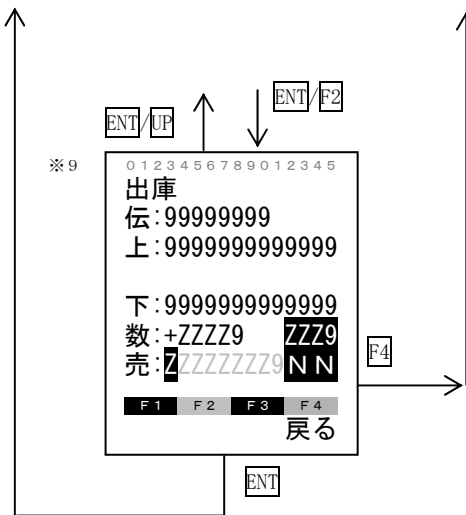
- 商品コード（下段）の入力を行います。
- パラメータ設定[下段]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する：通常入力
- デフォルト：空白
- 入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下 又は、スキャン入力
- チェック：バーコード種別、桁数、先頭桁識別、手入力中のスキャン不可
※バーコード種別／桁数、先頭桁識別はパラメータ設定に準ずる
パラメータ設定「商品コード重複時：数量加算／上書き／入力不可」の場合、既存データを検索します。（詳細はパラメータ設定を参照）
- エラー：エラー音
- 表示／登録方法：後スペース／後スペース
- パラメータ設定[BCD]→JANの場合、7桁、12桁入力後**ENT**キー押下でC／Dの自動付加を行う

商品コード重複時について

データ登録方法に関しては、パラメータ設定の「商品コード重複時」に準じます。
商品コード確定時に、設定内容に従い既存データの検索を行ない、一致するデータが存在している場合は、画面6段目のNNに、「上書」もしくは「加算」を表示します。
その際、数量と売価に関しては既存データより取得した値を表示（デフォルト値より優先して表示）します。
但し数量に関してはあくまで確認用であるため、そのまま確定してもその値は反映されません。実際には既存データの有り無しにかかわらず、数量の説明に記載しているデフォルト値が内部でセットされておりますのでご注意ください。

※8 数量入力

- 数量の入力を行います。（必須入力）
- パラメータ設定[デフォルト表示]→無効:デフォルトなし、有効:デフォルト「1」
- パラメータ設定[小数入力] →無効:小数点入力不可、有効:小数点入力可（**./-**キー）
- パラメータ設定[マイナス入力] →無効:マイナス入力不可、有効:マイナス入力可（**./-**キー）
※**./-**キーは、カーソルが先頭の時は符号の切り替え、入力途中の時は小数点入力となります。
- パラメータ設定[デフォルト表示：有効]でかつ、
[売価：非表示／入力(F2)] →商品コードのスキャン可能（連続スキャン処理）
- デフォルト：パラメータ設定に準ずる
- 入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- チェック：ゼロ入力不可 ※商品コードスキャン時は、商品コード上段のチェックと同じとする。
- エラー：エラー音
- 表示／登録方法：前スペース／前ゼロ
- 入力後：パラメータ設定[売価：入力する]の場合、数量を確定して、売価入力（※9）へ移行
[売価：非表示／入力(F2)]の場合、データを登録後、商品コード（上段）入力（※6）に移行
※データ登録方法は、「商品コード重複時について」の説明を参照
- F2**キー：パラメータ設定[売価：入力(F2)]の場合のみ、売価入力（※9）に移行



※9 売価入力

・売価の入力を行います。

●パラメータ設定[売価]→非表示：本項目は非表示。入力不可。

入力する／入力(F2)：通常入力

・デフォルト：ゼロ、但しパラメータ設定において下段より売価情報を取得する設定の場合はその値をセット

・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下

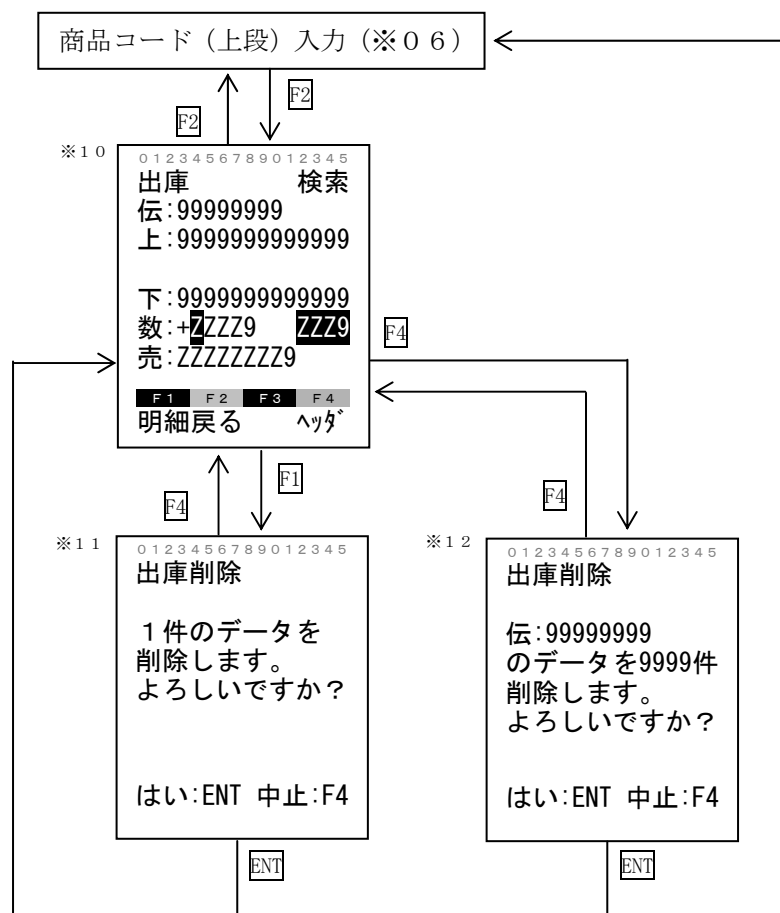
・チェック：なし（ゼロ入力も可）

・エラー：なし

・表示／登録方法：前スペース／前ゼロ

・入力後：パラメータ設定[売価：入力する]の場合、データを登録後、商品コード（上段）入力（※6）に移行、
[売価：入力(F2)]の場合、売価を確定して、数量入力（※8）に移行

※データ登録方法は、「商品コード重複時について」の説明を参照



※10 検索／修正

- ・伝票Noが一致するデータを検索し、数量の修正を行います。
- パラメータ設定[小数入力] → 無効: 小数点入力不可、有効: 小数点入力可 (/- キー)
- パラメータ設定[マイナス入力] → 無効: マイナス入力不可、有効: マイナス入力可 (/- キー)
- ※ /- キーは、カーソルが先頭の時は符号の切り替え、入力途中の時は小数点入力となります。
- ・検索条件: パラメータ設定[伝票: 非表示]の場合は全データ対象、その他は伝票Noが一致するデータ
- ・デフォルト: 直近のデータ
- ・入力方法: テンキーより入力後、 ENT キー押下
- ・チェック: ゼロ入力不可
- ・エラー: エラー音
- ・表示／登録方法: 前スペース／前ゼロ
- ・入力後: ENT キー押下によって数量を確定し、データを更新します。その後更新済みデータを再表示
- ・UP / DW キー: データの検索を行います。
- ・F1 キー: データ削除 (※11) に移行
- ・F2 キー: 検索を終了して、商品コード (上段) 入力 (※6) に移行
- ・F4 キー: 伝票No一括削除 (※12) に移行
- ・「ZZZ9」には、検索対象の総データ件数を表示します。

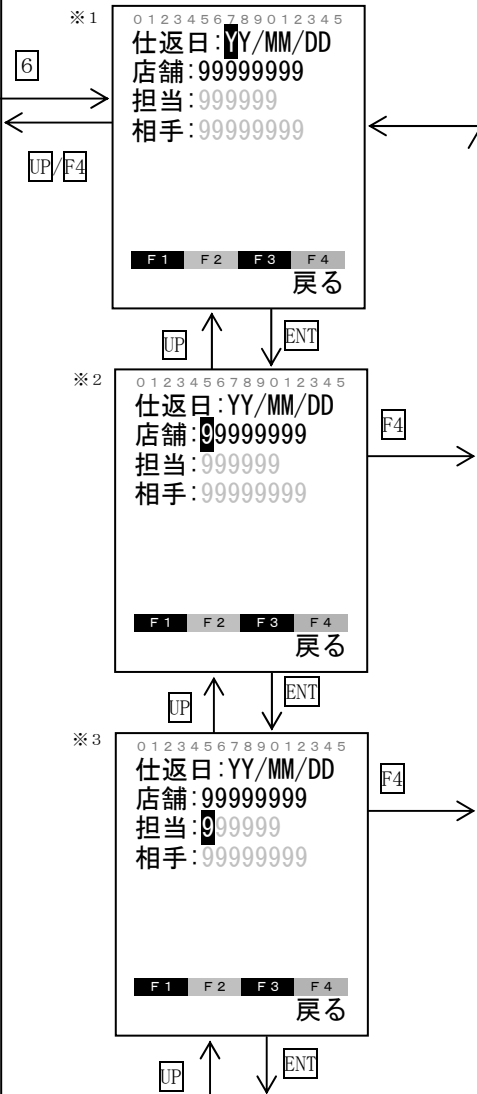
※11 データ削除

- ・表示中のデータ1件の削除を行います。
- ・ENT キー: データを削除後、検索／修正 (※10) に移行
検索対象のデータが存在しない場合は、商品コード (上段) 入力 (※6) に移行
- ・F4 キー: データ削除を中止して、検索／修正 (※10) に移行

※12 伝票No一括削除

- ・表示中の伝票Noに該当するデータの一括削除を行います。
- ・ENT キー: データを削除後、商品コード (上段) 入力 (※6) に移行
- ・F4 キー: データ削除を中止して、検索／修正 (※10) に移行
- ・削除条件: パラメータ設定[伝票: 非表示]の場合は、伝票Noがない (空白である) データが対象、
その他は伝票Noが一致するデータ

メインメニュー



共通事項：システム設定のマスタ区分設定にて区分を指定している場合でかつ、マスタが存在する場合は、「マスタ有効」となりますので対象の入力項目を確定後に該当マスタを参照します。

※1 仕返日入力

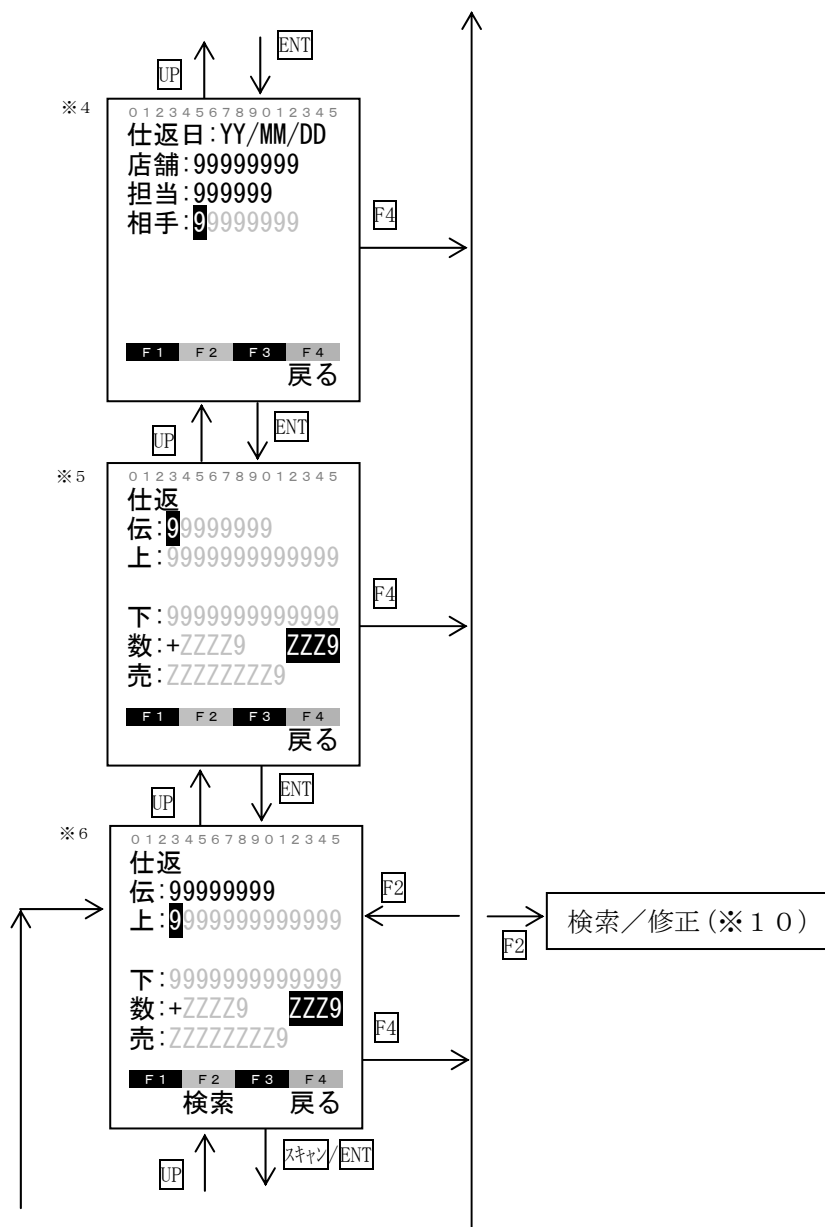
- ・仕入返品日の入力を行います。
- パラメータ設定[日付]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
 入力する：通常入力 表示のみ：表示のみで入力不可
- ・デフォルト：システム日付（例：2007年05月15日の場合、「07/05/15」と表示されます）
- ・入力方法：テンキー又は`ENT`キー押下
 テンキーより2桁入力した場合、年→月→日へとカーソルが自動移行
- ・チェック：妥当性チェック
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・`UP`/`F4`キー：メインメニューに戻る。

※2 店舗コード入力

- ・店舗コードの入力を行います。
- パラメータ設定[店舗]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
 入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力 表示のみ：表示のみで入力不可
- ・デフォルト：システム設定-店舗コード（マスタ有効の場合は店舗名を表示）
- ・入力方法：テンキーより入力後、`ENT`キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：＜手入力＞なし
 ＜スキャン＞バーコード種別、桁数（8桁以下）、手入力中のスキャン不可
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・入力後：マスタ有効の場合は店舗マスタを検索し、該当する店舗名を入力値と置き換えて表示します。
 店舗マスタ「チェック」設定の場合、店舗マスタに存在しないものはエラーとします。

※3 担当者コード入力

- ・担当者コードの入力を行います。
- パラメータ設定[担当]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
 入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力
- ・デフォルト：空白
- ・入力方法：テンキーより入力後、`ENT`キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：＜手入力＞なし
 ＜スキャン＞バーコード種別、桁数（6桁以下）、手入力中のスキャン不可
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・入力後：マスタ有効の場合は担当者マスタを検索し、該当する担当者名を入力値と置き換えて表示します。
 担当者マスタ「チェック」設定の場合、担当者マスタに存在しないものはエラーとします。



※4 相手先コード入力

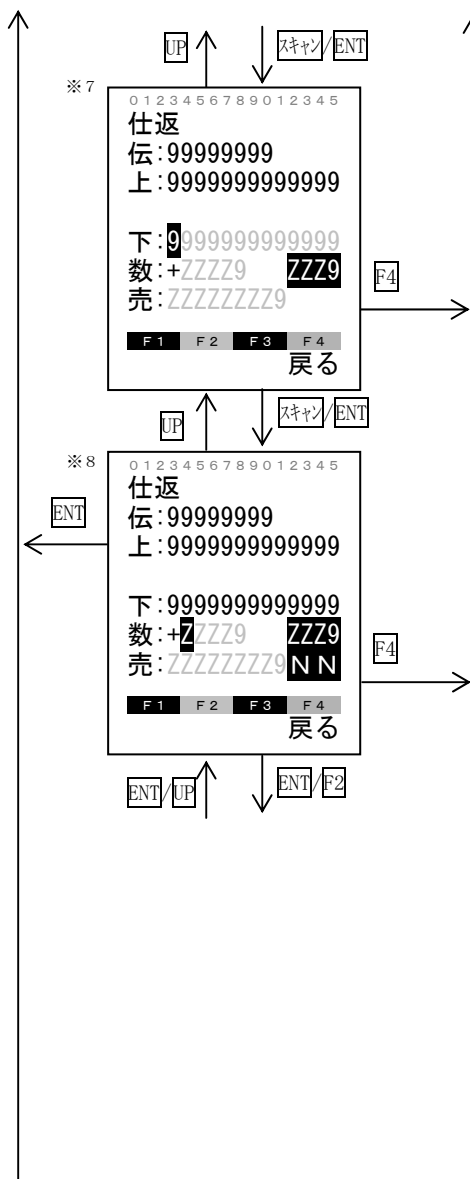
- ・相手先コードの入力を行います。
- パラメータ設定[相手]→非表示:本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する/入力(NW7)/入力(CD39):通常入力
- ・デフォルト:空白
- ・入力方法:テンキーより入力後、**ENT**キー押下 (パラメータ設定によってはスキャン入力も可能)
- ・チェック:<手入力>なし
<スキャン>バーコード種別、桁数(8桁以下)、手入力中のスキャン不可
- ・エラー:エラー音
- ・表示/登録方法:前ゼロ/前ゼロ
- ・入力後:マスタ有効の場合は仕入先マスタを検索し、該当する仕入先名を入力値と置き換えて表示します。
仕入先マスタ「チェック」設定の場合、仕入先マスタに存在しないものはエラーとします。

※5 伝票No入力

- ・伝票番号の入力を行います。
- パラメータ設定[伝票]→非表示:本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する/入力(NW7)/入力(CD39):通常入力
- ・デフォルト:空白
- ・入力方法:テンキーより入力後、**ENT**キー押下 (パラメータ設定によってはスキャン入力も可能)
- ・チェック:<手入力>なし
<スキャン>バーコード種別、桁数(8桁以下)、手入力中のスキャン不可
- ・エラー:エラー音
- ・表示/登録方法:前ゼロ/前ゼロ
- ・入力後:「ZZZ9」に、伝票Noをキーにした、登録済みのデータ合計件数を表示します。

※6 商品コード(上段)入力

- ・商品コード(上段)の入力を行います。(必須入力)
- ・デフォルト:空白
- ・入力方法:テンキーより入力後、**ENT**キー押下 又は、スキャン入力
- ・チェック:バーコード種別、桁数、先頭桁識別、手入力中のスキャン不可
※バーコード種別/桁数、先頭桁識別はパラメータ設定に準ずる
パラメータ設定[下段:非表示]でかつ、「商品コード重複時:数量加算/上書き/入力不可」の場合、既存データを検索します。(詳細はパラメータ設定を参照)
- ・エラー:エラー音
- ・表示/登録方法:後スペース/後スペース
- ・入力後:マスタ有効の場合は商品マスタを入力値で検索し、該当する商品名を下の段に表示します。
商品マスタ「チェック」設定の場合、商品マスタに存在しないものはエラーとします。
- パラメータ設定[BCD]→JANの場合、7桁、12桁を手入力後**ENT**キー押下でC/Dの自動付加を行う
- ・**F2**キー:検索/修正(※10)に移行
- ・「ZZZ9」には、伝票Noをキーにした、登録済みのデータ合計件数を表示します。
パラメータ設定[伝票:非表示]の場合は、登録済みデータの総件数となります。



※7 商品コード（下段）入力

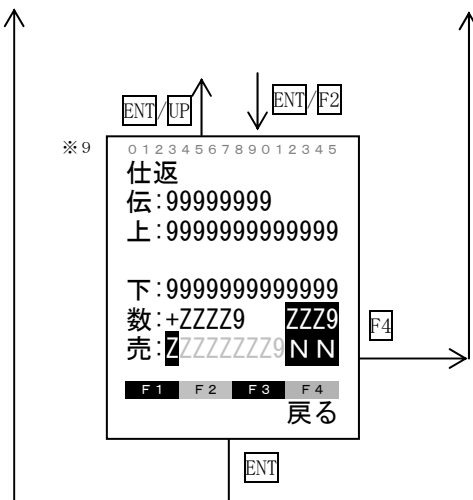
- 商品コード（下段）の入力を行います。
- パラメータ設定[下段]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する：通常入力
- デフォルト：空白
- 入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下 又は、スキャン入力
- チェック：バーコード種別、桁数、先頭桁識別、手入力中のスキャン不可
※バーコード種別／桁数、先頭桁識別はパラメータ設定に準ずる
パラメータ設定「商品コード重複時：数量加算／上書き／入力不可」の場合、既存データを検索します。（詳細はパラメータ設定を参照）
- エラー：エラー音
- 表示／登録方法：後スペース／後スペース
- パラメータ設定[BCD]→JANの場合、7桁、12桁入力後**ENT**キー押下でC／Dの自動付加を行う

商品コード重複時について

データ登録方法に関しては、パラメータ設定の「商品コード重複時」に準じます。
商品コード確定時に、設定内容に従い既存データの検索を行ない、一致するデータが存在している場合は、画面6段目のNNに、「上書」もしくは「加算」を表示します。
その際、数量と売価に関しては既存データより取得した値を表示（デフォルト値より優先して表示）します。但し数量に関してはあくまで確認用であるため、そのまま確定してもその値は反映されません。実際には既存データの有り無しにかかわらず、数量の説明に記載しているデフォルト値が内部でセットされておりますのでご注意ください。

※8 数量入力

- 数量の入力を行います。（必須入力）
- パラメータ設定[デフォルト表示]→無効:デフォルトなし、有効:デフォルト「1」
- パラメータ設定[小数入力] →無効:小数点入力不可、有効:小数点入力可（**.**/**-**キー）
- パラメータ設定[マイナス入力] →無効:マイナス入力不可、有効:マイナス入力可（**.**/**-**キー）
※**.**/**-**キーは、カーソルが先頭の時は符号の切り替え、入力途中の時は小数点入力となります。
- パラメータ設定[デフォルト表示：有効]でかつ、
[売価：非表示／入力(F2)] →商品コードのスキャン可能（連続スキャン処理）
- デフォルト：パラメータ設定に準ずる
- 入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- チェック：ゼロ入力不可 ※商品コードスキャン時は、商品コード上段のチェックと同じとする。
- エラー：エラー音
- 表示／登録方法：前スペース／前ゼロ
- 入力後：パラメータ設定[売価：入力する]の場合、数量を確定して、売価入力（※9）へ移行
[売価：非表示／入力(F2)]の場合、データを登録後、商品コード（上段）入力（※6）に移行
※データ登録方法は、「商品コード重複時について」の説明を参照
- F2**キー：パラメータ設定[売価：入力(F2)]の場合のみ、売価入力（※9）に移行



※9 売価入力

・売価の入力を行います。

●パラメータ設定[売価]→非表示：本項目は非表示。入力不可。

入力する／入力(F2)：通常入力

・デフォルト：ゼロ、但しパラメータ設定において下段より売価情報を取得する設定の場合はその値をセット

・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下

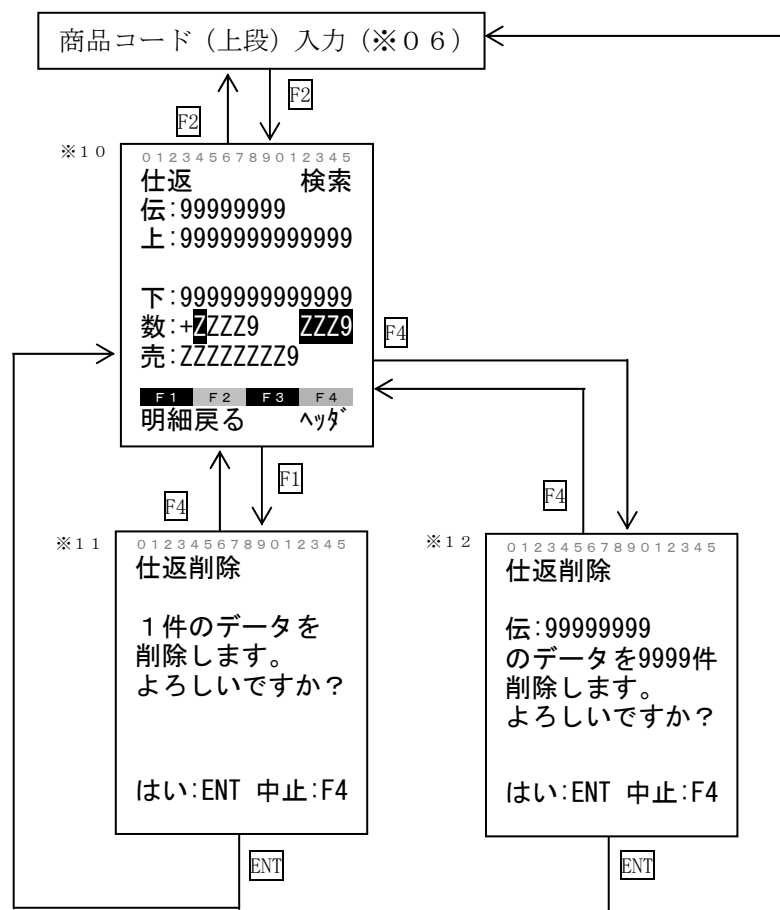
・チェック：なし（ゼロ入力も可）

・エラー：なし

・表示／登録方法：前スペース／前ゼロ

・入力後：パラメータ設定[売価：入力する]の場合、データを登録後、商品コード（上段）入力（※6）に移行、
[売価：入力(F2)]の場合、売価を確定して、数量入力（※8）に移行

※データ登録方法は、「商品コード重複時について」の説明を参照



※10 検索／修正

- ・伝票N o が一致するデータを検索し、数量の修正を行います。
- パラメータ設定[小数入力] →無効:小数点入力不可、有効:小数点入力可 (/- キー)
- パラメータ設定[マイナス入力] →無効:マイナス入力不可、有効:マイナス入力可 (/- キー)
- ※ /- キーは、カーソルが先頭の時は符号の切り替え、入力途中の時は小数点入力となります。
- ・検索条件:パラメータ設定[伝票:非表示]の場合は全データ対象、その他は伝票N o が一致するデータ
- ・デフォルト:直近のデータ
- ・入力方法:テンキーより入力後、 ENT キー押下
- ・チェック:ゼロ入力不可
- ・エラー:エラー音
- ・表示／登録方法:前スペース／前ゼロ
- ・入力後: ENT キー押下によって数量を確定し、データを更新します。その後更新済みデータを再表示
- ・ UP / DW キー:データの検索を行います。
- ・ F1 キー:データ削除 (※11) に移行
- ・ F2 キー:検索を終了して、商品コード (上段) 入力 (※6) に移行
- ・ F4 キー:伝票N o 一括削除 (※12) に移行
- ・「ZZZ9」には、検索対象の総データ件数を表示します。

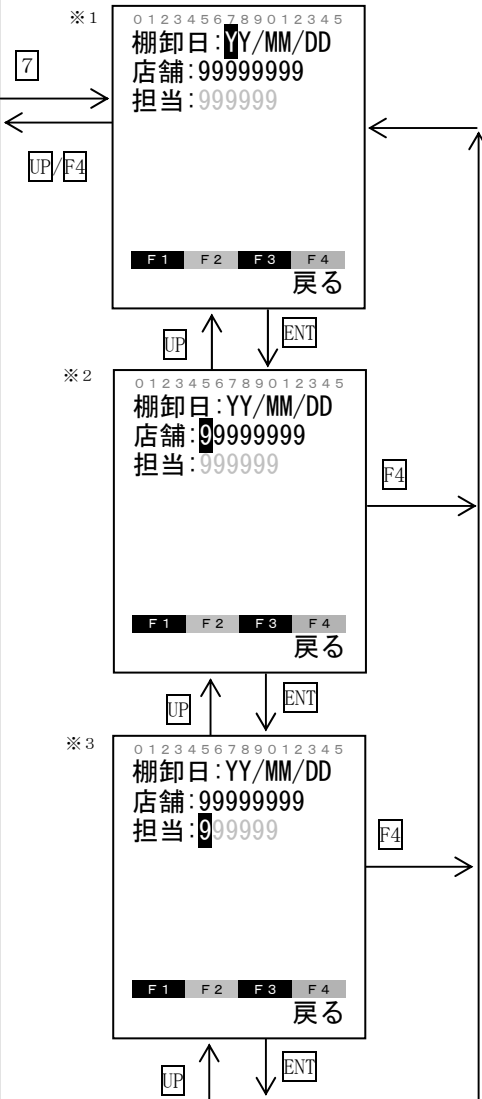
※11 データ削除

- ・表示中のデータ1件の削除を行います。
- ・ ENT キー:データを削除後、検索／修正 (※10) に移行
検索対象のデータが存在しない場合は、商品コード (上段) 入力 (※6) に移行
- ・ F4 キー:データ削除を中止して、検索／修正 (※10) に移行

※12 伝票N o 一括削除

- ・表示中の伝票N o に該当するデータの一括削除を行います。
- ・ ENT キー:データを削除後、商品コード (上段) 入力 (※6) に移行
- ・ F4 キー:データ削除を中止して、検索／修正 (※10) に移行
- ・削除条件:パラメータ設定[伝票:非表示]の場合は、伝票N o がない (空白である) データが対象、
その他は伝票N o が一致するデータ

メインメニュー



共通事項：システム設定のマスタ区分設定にて区分を指定している場合でかつ、マスタが存在する場合は、「マスタ有効」となりますので対象の入力項目を確定後に該当マスタを参照します。

※1 棚卸日入力

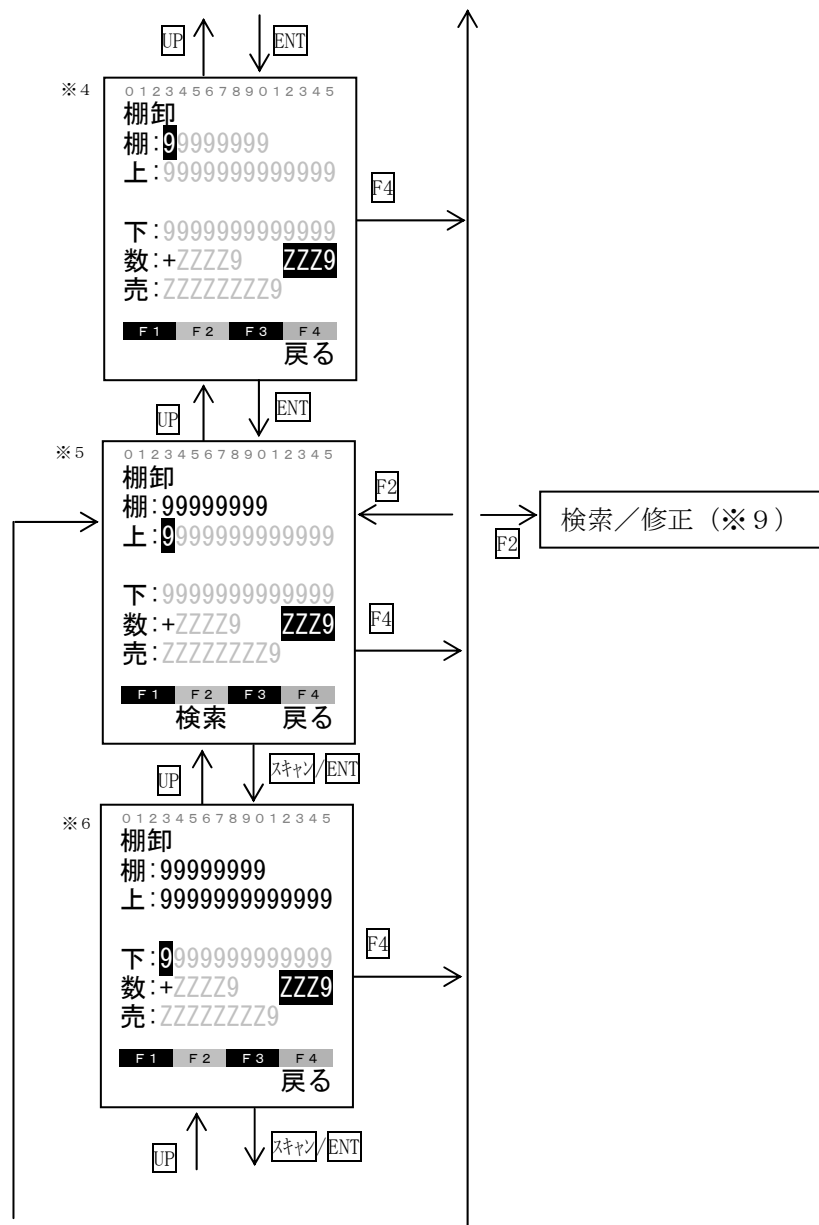
- ・棚卸日の入力を行います。
- パラメータ設定[日付]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する：通常入力 表示のみ：表示のみで入力不可
- ・デフォルト：システム日付（例：2007年05月15日の場合、「07/05/15」と表示されます）
- ・入力方法：テンキー又は`ENT`キー押下
テンキーより2桁入力した場合、年→月→日へとカーソルが自動移行
- ・チェック：妥当性チェック
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・`UP`/`F4`キー：メインメニューに戻る。

※2 店舗コード入力

- ・店舗コードの入力を行います。
- パラメータ設定[店舗]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力 表示のみ：表示のみで入力不可
- ・デフォルト：システム設定－店舗コード（マスタ有効の場合は店舗名を表示）
- ・入力方法：テンキーより入力後、`ENT`キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：＜手入力＞なし
＜スキャン＞バーコード種別、桁数（8桁以下）、手入力中のスキャン不可
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・入力後：マスタ有効の場合は店舗マスタを検索し、該当する店舗名を入力値と置き換えて表示します。
店舗マスタ「チェック」設定の場合、店舗マスタに存在しないものはエラーとします。

※3 担当者コード入力

- ・担当者コードの入力を行います。
- パラメータ設定[担当]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力
- ・デフォルト：空白
- ・入力方法：テンキーより入力後、`ENT`キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：＜手入力＞なし
＜スキャン＞バーコード種別、桁数（6桁以下）、手入力中のスキャン不可
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・入力後：マスタ有効の場合は担当者マスタを検索し、該当する担当者名を入力値と置き換えて表示します。
担当者マスタ「チェック」設定の場合、担当者マスタに存在しないものはエラーとします。



※4 棚番入力

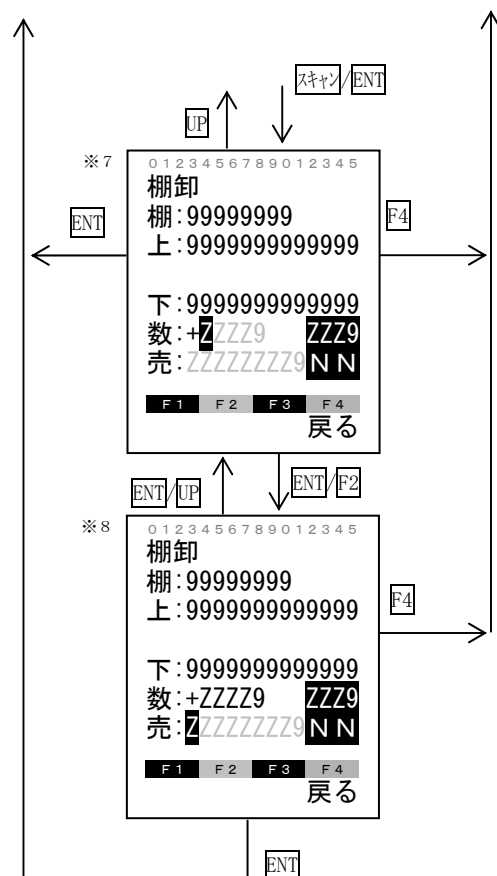
- ・棚番の入力を行います。
- パラメータ設定[棚番]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力
- ・デフォルト：空白
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：＜手入力＞なし
＜スキャン＞バーコード種別、桁数（8桁以下）、手入力中のスキャン不可
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・入力後：「ZZZ9」に、棚番をキーにした、登録済みのデータ合計件数を表示します。

※5 商品コード（上段）入力

- ・商品コード（上段）の入力を行います。（必須入力）
- ・デフォルト：空白
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下 又は、スキャン入力
- ・チェック：バーコード種別、桁数、先頭桁識別、手入力中のスキャン不可
※バーコード種別／桁数、先頭桁識別はパラメータ設定に準ずる
パラメータ設定[下段：非表示]でかつ、「商品コード重複時：数量加算／上書き／入力不可」の場合、既存データを検索します。（詳細はパラメータ設定を参照）
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：後スペース／後スペース
- ・入力後：マスタ有効の場合は商品マスタを入力値で検索し、該当する商品名を下の段に表示します。
商品マスタ「チェック」設定の場合、商品マスタに存在しないものはエラーとします。
- パラメータ設定[BCD]→JANの場合、7桁、12桁を手入力後**ENT**キー押下でC/Dの自動付加を行う
- ・**F2**キー：検索／修正（※9）に移行
- ・「ZZZ9」には、棚番をキーにした、登録済みのデータ合計件数を表示します。
パラメータ設定[棚番：非表示]の場合は、登録済みデータの総件数となります。

※6 商品コード（下段）入力

- ・商品コード（下段）の入力を行います。
- パラメータ設定[下段]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する：通常入力
- ・デフォルト：空白
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下 又は、スキャン入力
- ・チェック：バーコード種別、桁数、先頭桁識別、手入力中のスキャン不可
※バーコード種別／桁数、先頭桁識別はパラメータ設定に準ずる
パラメータ設定「商品コード重複時：数量加算／上書き／入力不可」の場合、既存データを検索します。（詳細はパラメータ設定を参照）
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：後スペース／後スペース
- パラメータ設定[BCD]→JANの場合、7桁、12桁入力後**ENT**キー押下でC/Dの自動付加を行う

**商品コード重複時について**

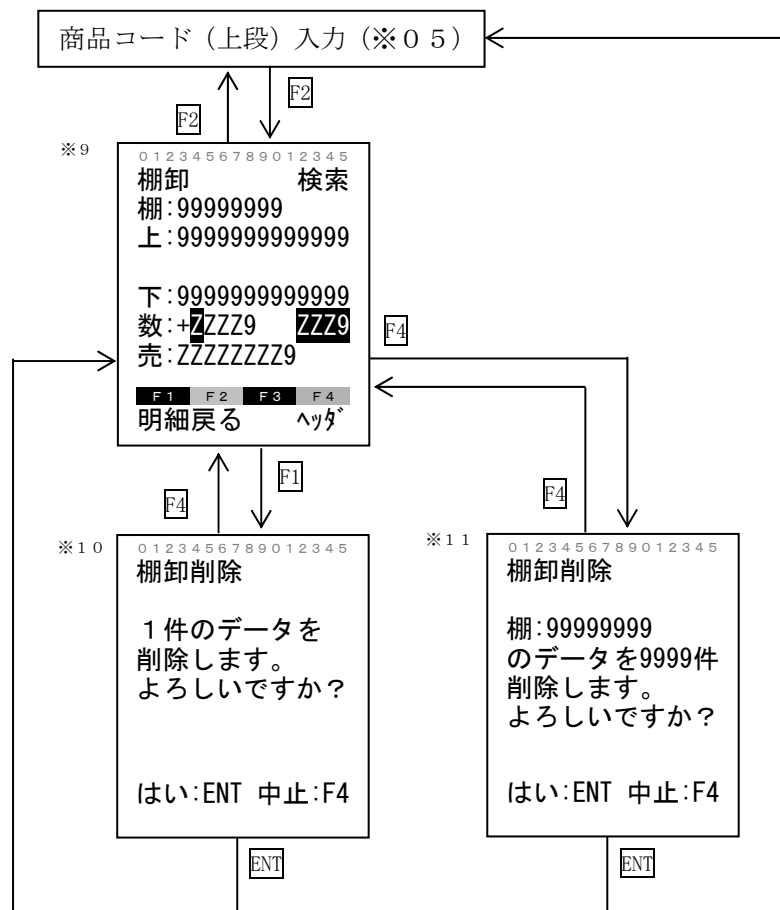
データ登録方法に関しては、パラメータ設定の「商品コード重複時」に準じます。
 商品コード確定時に、設定内容に従い既存データの検索を行ない、一致するデータが存在している場合は、画面6段目のNNに、「上書」もしくは「加算」を表示します。
 その際、数量と売価に関しては既存データより取得した値を表示（デフォルト値より優先して表示）します。但し数量に関してはあくまで確認用であるため、そのまま確定してもその値は反映されません。実際には既存データの有り無しにかかわらず、数量の説明に記載しているデフォルト値が内部でセットされておりますのでご注意ください。

※7 数量入力

- ・数量の入力を行います。（必須入力）
- パラメータ設定[デフォルト表示]→無効:デフォルトなし、有効:デフォルト「1」
- パラメータ設定[小数入力] →無効:小数点入力不可、有効:小数点入力可（./-キー）
- パラメータ設定[マイナス入力] →無効:マイナス入力不可、有効:マイナス入力可（./-キー）
- ※./-キーは、カーソルが先頭の時は符号の切り替え、入力途中の時は小数点入力となります。
- パラメータ設定[デフォルト表示:有効]でかつ、
 [売価:非表示/入力(F2)] →商品コードのスキヤン可能（連続スキヤン処理）
- ・デフォルト:パラメータ設定に準ずる
- ・入力方法:テンキーより入力後、ENTキー押下（パラメータ設定によってはスキヤン入力も可能）
- ・チェック:ゼロ入力不可 ※商品コードスキヤン時は、商品コード上段のチェックと同じとする。
- ・エラー:エラー音
- ・表示/登録方法:前スペース/前ゼロ
- ・入力後:パラメータ設定[売価:入力する]の場合、数量を確定して、売価入力（※8）へ移行
 [売価:非表示/入力(F2)]の場合、データを登録後、商品コード（上段）入力（※5）に移行
 ※データ登録方法は、「商品コード重複時について」の説明を参照
- ・F2キー:パラメータ設定[売価:入力(F2)]の場合のみ、売価入力（※8）に移行

※8 売価入力

- ・売価の入力を行います。
- パラメータ設定[売価]→非表示:本項目は非表示。入力不可。
 入力する/入力(F2):通常入力
- ・デフォルト:ゼロ、但しパラメータ設定において下段より売価情報を取得する設定の場合はその値をセット
- ・入力方法:テンキーより入力後、ENTキー押下
- ・チェック:なし（ゼロ入力も可）
- ・エラー:なし
- ・表示/登録方法:前スペース/前ゼロ
- ・入力後:パラメータ設定[売価:入力する]の場合、データを登録後、商品コード（上段）入力（※5）に移行、
 [売価:入力(F2)]の場合、売価を確定して、数量入力（※7）に移行
 ※データ登録方法は、「商品コード重複時について」の説明を参照



※9 検索／修正

- ・棚番が一致するデータを検索し、数量の修正を行います。
- パラメータ設定[小数入力] →無効:小数点入力不可、有効:小数点入力可 (./-キー)
- パラメータ設定[マイナス入力] →無効:マイナス入力不可、有効:マイナス入力可 (./-キー)
- ※./-キーは、カーソルが先頭の時は符号の切り替え、入力途中の時は小数点入力となります。
- ・検索条件:パラメータ設定[棚番:非表示]の場合は全データ対象、その他は棚番が一致するデータ
- ・デフォルト:直近のデータ
- ・入力方法:テンキーより入力後、[ENT]キー押下
- ・チェック:ゼロ入力不可
- ・エラー:エラー音
- ・表示／登録方法:前スペース／前ゼロ
- ・入力後:[ENT]キー押下によって数量を確定し、データを更新します。その後更新済みデータを再表示
- ・UP/DWキー:データの検索を行います。
- ・F1キー:データ削除(※10)に移行
- ・F2キー:検索を終了して、商品コード(上段)入力(※5)に移行
- ・F4キー:棚番一括削除(※11)に移行
- ・「ZZZ9」には、検索対象の総データ件数を表示します。

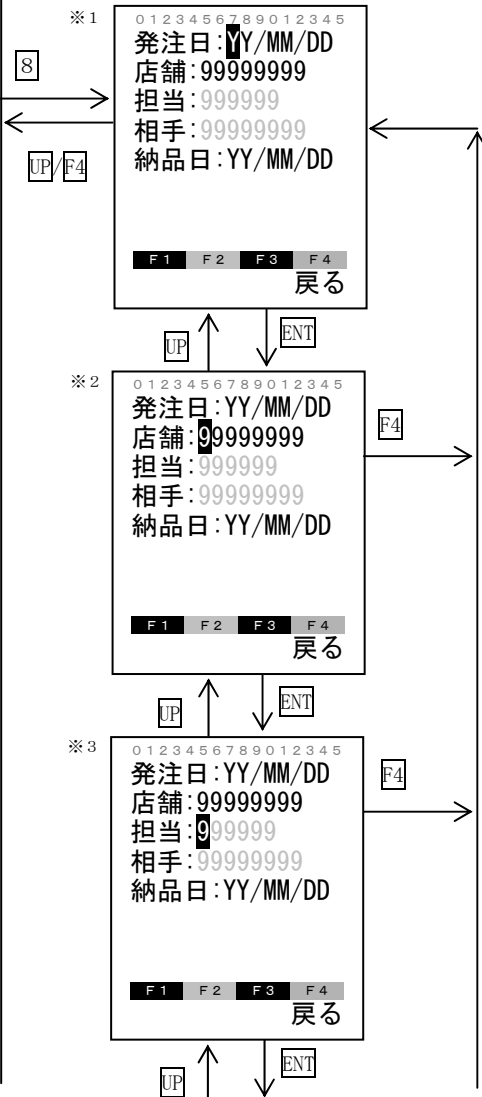
※10 データ削除

- ・表示中のデータ1件の削除を行います。
- ・[ENT]キー:データを削除後、検索／修正(※9)に移行
 検索対象のデータが存在しない場合は、商品コード(上段)入力(※5)に移行
- ・F4キー:データ削除を中止して、検索／修正(※9)に移行

※11 棚番一括削除

- ・表示中の棚番に該当するデータの一括削除を行います。
- ・[ENT]キー:データを削除後、商品コード(上段)入力(※5)に移行
- ・F4キー:データ削除を中止して、検索／修正(※9)に移行
- ・削除条件:パラメータ設定[棚番:非表示]の場合は、棚番がない(空白である)データが対象、
 その他は棚番が一致するデータ

メインメニュー



共通事項: システム設定のマスタ区分設定にて区分を指定している場合でかつ、マスタが存在する場合は、「マスタ有効」となりますので対象の入力項目を確定後に該当マスタを参照します。

※1 発注日入力

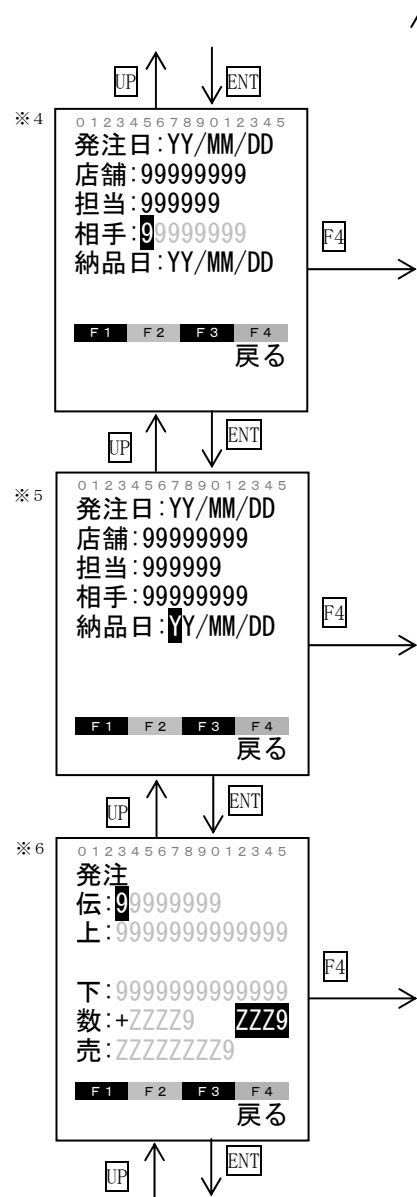
- ・発注日の入力を行います。
- パラメータ設定[日付]→非表示: 本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する: 通常入力 表示のみ: 表示のみで入力不可
- ・デフォルト: システム日付 (例: 2007 年 05 月 15 日の場合、「07/05/15」と表示されます)
- ・入力方法: テンキー又は[ENT]キー押下
テンキーより2桁入力した場合、年→月→日へとカーソルが自動移行
- ・チェック: 妥当性チェック
- ・エラー: エラー音
- ・表示/登録方法: 前ゼロ/前ゼロ
- ・[UP]/[F4]キー: メインメニューに戻る。

※2 店舗コード入力

- ・店舗コードの入力を行います。
- パラメータ設定[店舗]→非表示: 本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する/入力(NW7)/入力(CD39): 通常入力 表示のみ: 表示のみで入力不可
- ・デフォルト: システム設定-店舗コード (マスタ有効の場合は店舗名を表示)
- ・入力方法: テンキーより入力後、[ENT]キー押下 (パラメータ設定によってはスキャン入力も可能)
- ・チェック: <手入力>なし
<スキャン>バーコード種別、桁数 (8桁以下)、手入力中のスキャン不可
- ・エラー: エラー音
- ・表示/登録方法: 前ゼロ/前ゼロ
- ・入力後: マスタ有効の場合は店舗マスタを検索し、該当する店舗名を入力値と置き換えて表示します。
店舗マスタ「チェック」設定の場合、店舗マスタに存在しないものはエラーとします。

※3 担当者コード入力

- ・担当者コードの入力を行います。
- パラメータ設定[担当]→非表示: 本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する/入力(NW7)/入力(CD39): 通常入力
- ・デフォルト: 空白
- ・入力方法: テンキーより入力後、[ENT]キー押下 (パラメータ設定によってはスキャン入力も可能)
- ・チェック: <手入力>なし
<スキャン>バーコード種別、桁数 (6桁以下)、手入力中のスキャン不可
- ・エラー: エラー音
- ・表示/登録方法: 前ゼロ/前ゼロ
- ・入力後: マスタ有効の場合は担当者マスタを検索し、該当する担当者名を入力値と置き換えて表示します。
担当者マスタ「チェック」設定の場合、担当者マスタに存在しないものはエラーとします。



※4 相手先コード入力

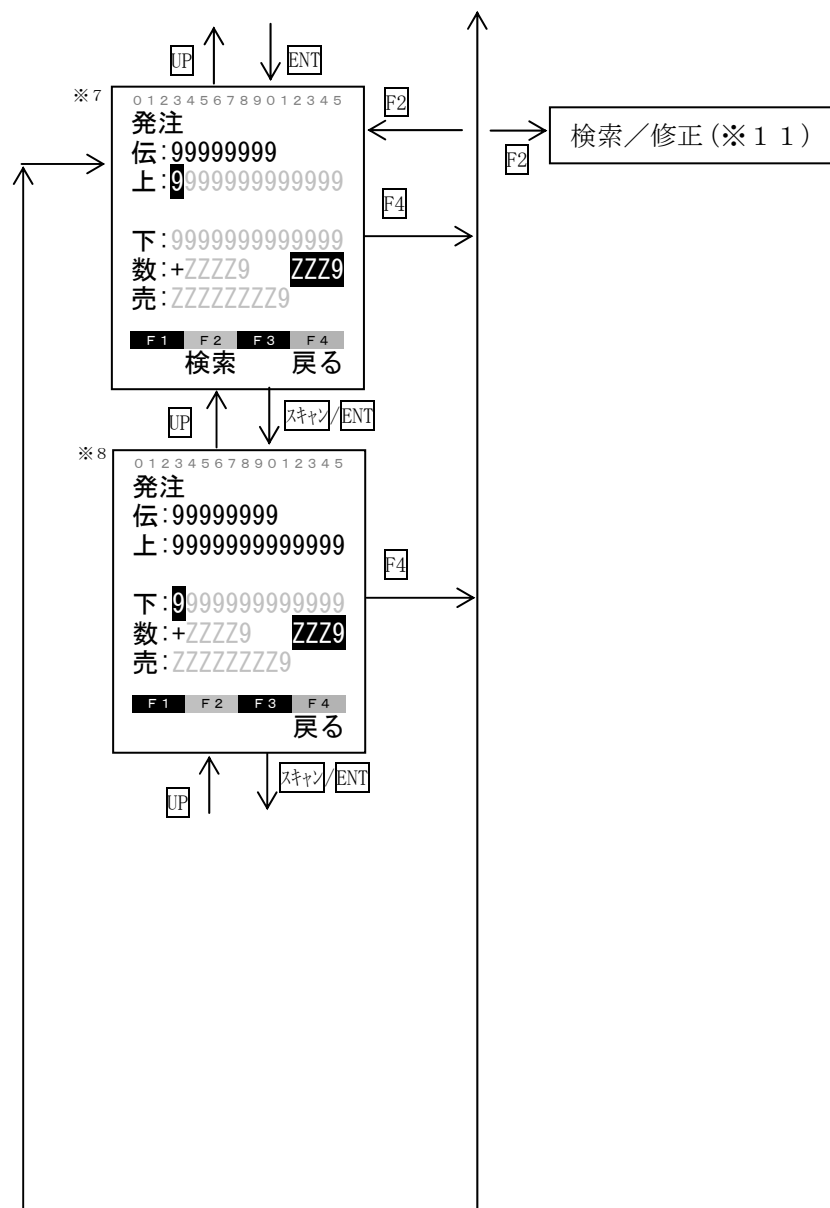
- ・相手先コードの入力を行います。
- パラメータ設定[相手]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
 入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力
- ・デフォルト：空白
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：＜手入力＞なし
 ＜スキャン＞バーコード種別、桁数（8桁以下）、手入力中のスキャン不可
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・入力後：マスタ有効の場合は得意先マスタを検索し、該当する得意先名を入力値と置き換えて表示します。
 得意先マスタ「チェック」設定の場合、得意先マスタに存在しないものはエラーとします。

※5 納品日入力

- ・納品日の入力を行います。
- パラメータ設定[納品日]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
 入力する：通常入力
- ・デフォルト：システム日付（例：2007年05月15日の場合、「07/05/15」と表示されます）
- ・入力方法：テンキー又は**ENT**キー押下
 テンキーより2桁入力した場合、年→月→日へとカーソルが自動移行
- ・チェック：妥当性チェック、発注日＞納品日はエラー
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ

※6 伝票No入力

- ・伝票番号の入力を行います。
- パラメータ設定[伝票]→非表示：本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
 入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力
- ・デフォルト：空白
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：＜手入力＞なし
 ＜スキャン＞バーコード種別、桁数（8桁以下）、手入力中のスキャン不可
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・入力後：「ZZZ9」に、伝票Noをキーにした、登録済みのデータ合計件数を表示します。

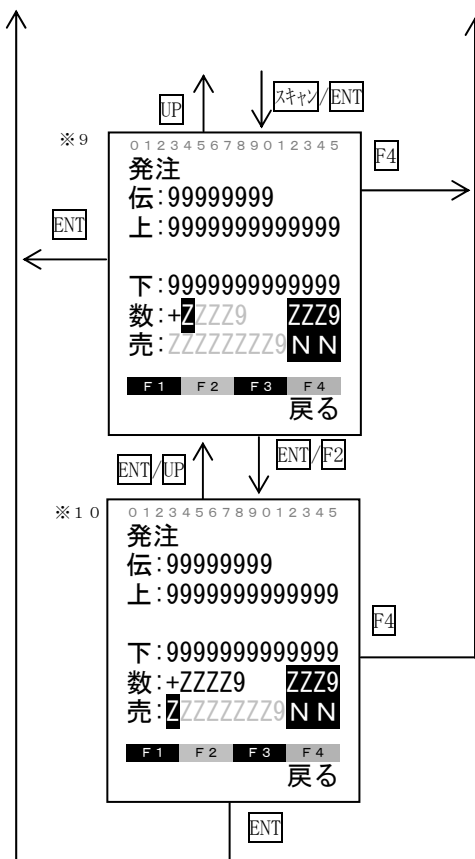


※7 商品コード (上段) 入力

- 商品コード (上段) の入力を行います。(必須入力)
- デフォルト: 空白
- 入力方法: テンキーより入力後、**ENT**キー押下 又は、スキャン入力
- チェック: バーコード種別、桁数、先頭桁識別、手入力中のスキャン不可
※バーコード種別／桁数、先頭桁識別はパラメータ設定に準ずる
パラメータ設定[下段: 非表示]でかつ、「商品コード重複時: 数量加算／上書き／入力不可」の場合、既存データを検索します。(詳細はパラメータ設定を参照)
- エラー: エラー音
- 表示／登録方法: 後スペース／後スペース
- 入力後: マスタ有効の場合は商品マスタを入力値で検索し、該当する商品名を下の段に表示します。
商品マスタ「チェック」設定の場合、商品マスタに存在しないものはエラーとします。
- パラメータ設定[BCD]→JANの場合、7桁、12桁を手入力後**ENT**キー押下でC/Dの自動付加を行う
- F2**キー: 検索／修正 (※11) に移行
- 「ZZZ9」には、伝票Noをキーにした、登録済みのデータ合計件数を表示します。
パラメータ設定[伝票: 非表示]の場合は、登録済みデータの総件数となります。

※8 商品コード (下段) 入力

- 商品コード (下段) の入力を行います。
- パラメータ設定[下段]→非表示: 本項目を非表示にして処理を飛ばす。入力不可。
入力する: 通常入力
- デフォルト: 空白
- 入力方法: テンキーより入力後、**ENT**キー押下 又は、スキャン入力
- チェック: バーコード種別、桁数、先頭桁識別、手入力中のスキャン不可
※バーコード種別／桁数、先頭桁識別はパラメータ設定に準ずる
パラメータ設定「商品コード重複時: 数量加算／上書き／入力不可」の場合、既存データを検索します。(詳細はパラメータ設定を参照)
- エラー: エラー音
- 表示／登録方法: 後スペース／後スペース
- パラメータ設定[BCD]→JANの場合、7桁、12桁入力後**ENT**キー押下でC/Dの自動付加を行う

**商品コード重複時について**

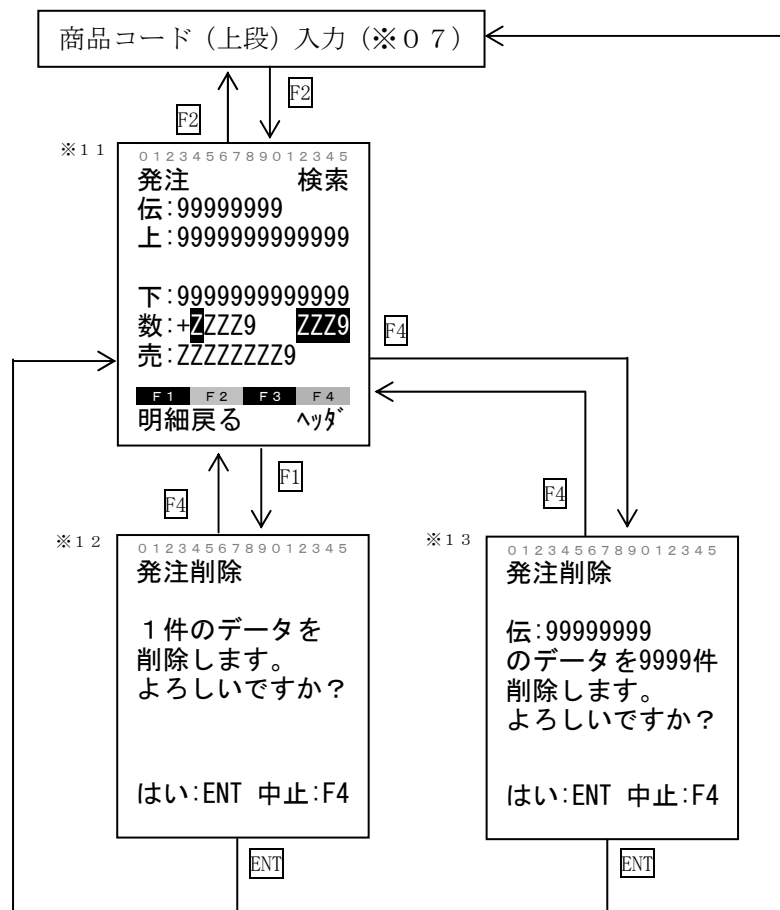
データ登録方法に関しては、パラメータ設定の「商品コード重複時」に準じます。
 商品コード確定時に、設定内容に従い既存データの検索を行ない、一致するデータが存在している場合は、画面6段目のNNに、「上書」もしくは「加算」を表示します。
 その際、数量と売価に関しては既存データより取得した値を表示（デフォルト値より優先して表示）します。但し数量に関してはあくまで確認用であるため、そのまま確定してもその値は反映されません。実際には既存データの有り無しにかかわらず、数量の説明に記載しているデフォルト値が内部でセットされておりますのでご注意ください。

※9 数量入力

- ・数量の入力を行います。（必須入力）
- パラメータ設定[デフォルト表示]→無効:デフォルトなし、有効:デフォルト「1」
- パラメータ設定[小数入力] →無効:小数点入力不可、有効:小数点入力可（**[./]**キー）
- パラメータ設定[マイナス入力] →無効:マイナス入力不可、有効:マイナス入力可（**[./]**キー）
- ※**[./]**キーは、カーソルが先頭の時は符号の切り替え、入力途中の時は小数点入力となります。
- パラメータ設定[デフォルト表示:有効]でかつ、
 [売価:非表示/入力(F2)] →商品コードのスキャン可能（連続スキャン処理）
- ・デフォルト:パラメータ設定に準ずる
- ・入力方法:テンキーより入力後、**[ENT]**キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック:ゼロ入力不可 ※商品コードスキャン時は、商品コード上段のチェックと同じとする。
- ・エラー:エラー音
- ・表示/登録方法:前スペース/前ゼロ
- ・入力後:パラメータ設定[売価:入力する]の場合、数量を確定して、売価入力（※10）へ移行
 [売価:非表示/入力(F2)]の場合、データを登録後、商品コード（上段）入力（※7）に移行
 ※データ登録方法は、「商品コード重複時について」の説明を参照
- ・**[F2]**キー:パラメータ設定[売価:入力(F2)]の場合のみ、売価入力（※10）に移行

※10 売価入力

- ・売価の入力を行います。
- パラメータ設定[売価]→非表示:本項目は非表示。入力不可。
 入力する/入力(F2):通常入力
- ・デフォルト:ゼロ、但しパラメータ設定において下段より売価情報を取得する設定の場合はその値をセット
- ・入力方法:テンキーより入力後、**[ENT]**キー押下
- ・チェック:なし（ゼロ入力も可）
- ・エラー:なし
- ・表示/登録方法:前スペース/前ゼロ
- ・入力後:パラメータ設定[売価:入力する]の場合、データを登録後、商品コード（上段）入力（※7）に移行、
 [売価:入力(F2)]の場合、売価を確定して、数量入力（※9）に移行
 ※データ登録方法は、「商品コード重複時について」の説明を参照



※11 検索／修正

- ・伝票N o が一致するデータを検索し、数量の修正を行います。
- パラメータ設定[小数入力] →無効:小数点入力不可、有効:小数点入力可 (/- キー)
- パラメータ設定[マイナス入力] →無効:マイナス入力不可、有効:マイナス入力可 (/- キー)
- ※ /- キーは、カーソルが先頭の時は符号の切り替え、入力途中の時は小数点入力となります。
- ・検索条件:パラメータ設定[伝票:非表示]の場合は全データ対象、その他は伝票N o が一致するデータ
- ・デフォルト:直近のデータ
- ・入力方法:テンキーより入力後、 ENT キー押下
- ・チェック:ゼロ入力不可
- ・エラー:エラー音
- ・表示／登録方法:前スペース／前ゼロ
- ・入力後: ENT キー押下によって数量を確定し、データを更新します。その後更新済みデータを再表示
- ・ UP / DW キー:データの検索を行います。
- ・ F1 キー:データ削除 (※12) に移行
- ・ F2 キー:検索を終了して、商品コード (上段) 入力 (※7) に移行
- ・ F4 キー:伝票N o 一括削除 (※13) に移行
- ・「ZZZ9」には、検索対象の総データ件数を表示します。

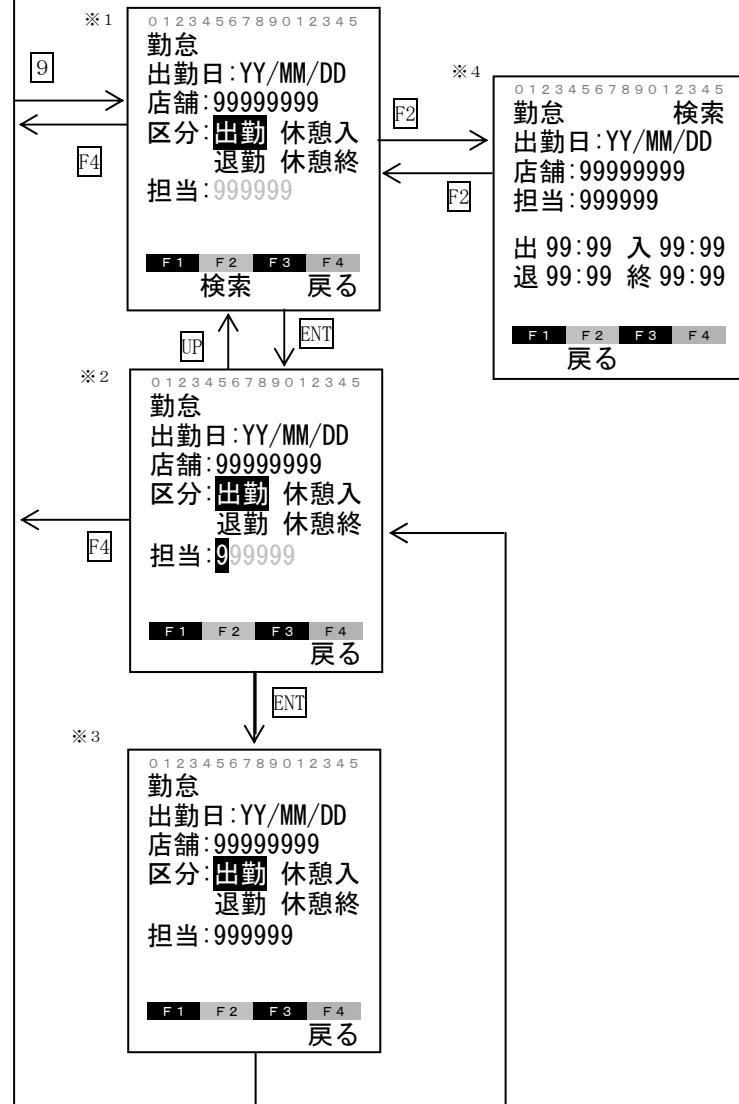
※12 データ削除

- ・表示中のデータ1件の削除を行います。
- ・ ENT キー:データを削除後、検索／修正 (※11) に移行
検索対象のデータが存在しない場合は、商品コード (上段) 入力 (※7) に移行
- ・ F4 キー:データ削除を中止して、検索／修正 (※11) に移行

※13 伝票N o 一括削除

- ・表示中の伝票N o に該当するデータの一括削除を行います。
- ・ ENT キー:データを削除後、商品コード (上段) 入力 (※7) に移行
- ・ F4 キー:データ削除を中止して、検索／修正 (※11) に移行
- ・削除条件:パラメータ設定[伝票:非表示]の場合は、伝票N o がない (空白である) データが対象、
その他は伝票N o が一致するデータ

メインメニュー



共通事項：システム設定のマスタ区分設定にて区分を指定している場合でかつ、マスタが存在する場合は、「マスタ有効」となりますので対象の入力項目を確定後に該当マスタを参照します。

※表示項目

- ・出勤日：システム日付を表示（例：2007年06月15日の場合、「07/06/15」と表示されます）
- ・HH:MM：システム時刻を表示（例：午後05時03分の場合、「17:03」と表示されます）
- ・店舗：システム設定一店舗コードを表示（マスタ有効の場合は店舗名を表示）

※1 勤怠区分入力

- ・勤怠区分の入力を行います。「出勤」、「退勤」、「休憩入」、「休憩終」
- ・デフォルト：出勤
- ・入力方法：UP/DWキーより選択後、ENTキー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示／なし
- ・F2キー：検索（※4）に移行します。
- ・F4キー：メインメニューに戻る。

※2 担当者コード入力

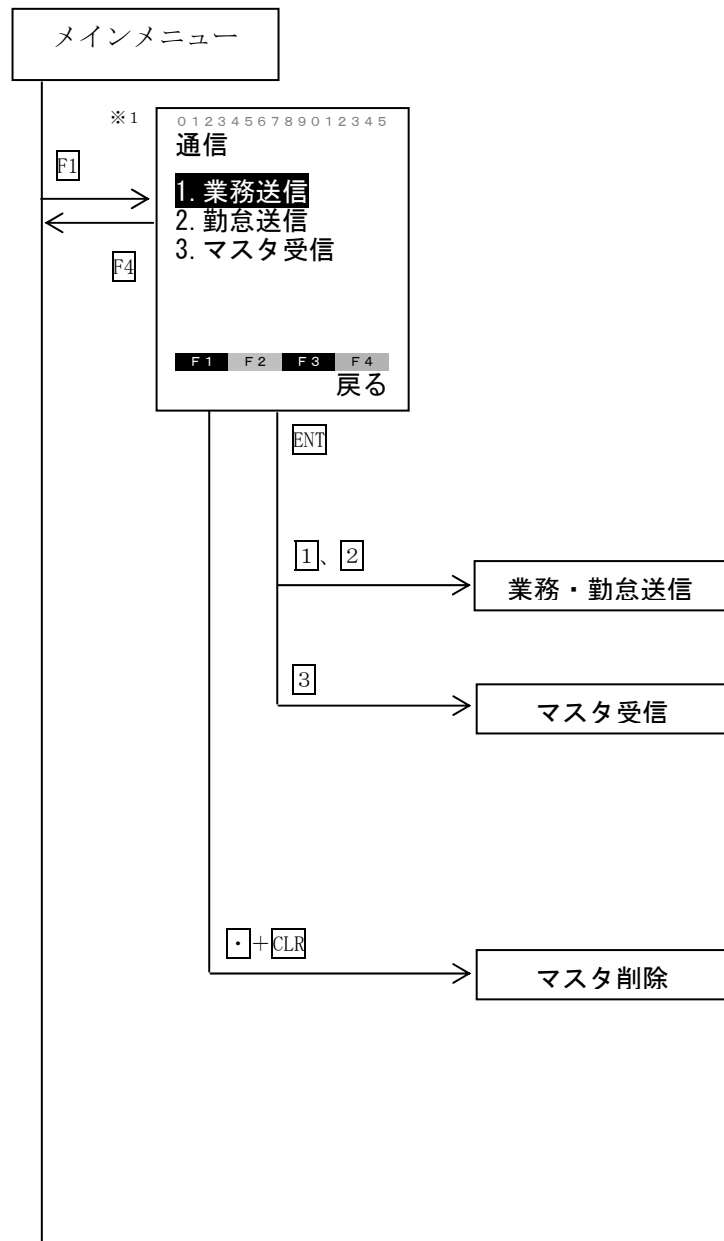
- ・担当者コードの入力を行います。（必須入力）
- パラメータ設定[担当]→入力する／入力(NW7)／入力(CD39)：通常入力
- ・デフォルト：空白
- ・入力方法：テンキーより入力後、ENTキー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：＜手入力＞なし
＜スキャン＞バーコード種別、桁数（6桁以下）、手入力中のスキャン不可
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・入力後：マスタ有効の場合は担当者マスタを検索し、該当する担当者名を入力値と置き換えて表示します。
担当者マスタ「チェック」設定の場合、担当者マスタに存在しないものはエラーとします。
- ・F4キー：メインメニューに戻る。

※3 担当者コード確認

- ・入力した担当者コードに間違いがないかの確認を行います。
- ・ENTキー：勤怠データを登録後、担当者コード入力（※2）に移行
- ・UP/F4/CLRキー：入力を中止（担当者コードをクリア）して、担当者コード入力（※2）に移行
- ・登録条件：同じ担当者コードが存在する場合は、同一レコードに上書きします。
但し、対象の勤怠区分の時刻が既に登録済みの場合は入力エラーになります。

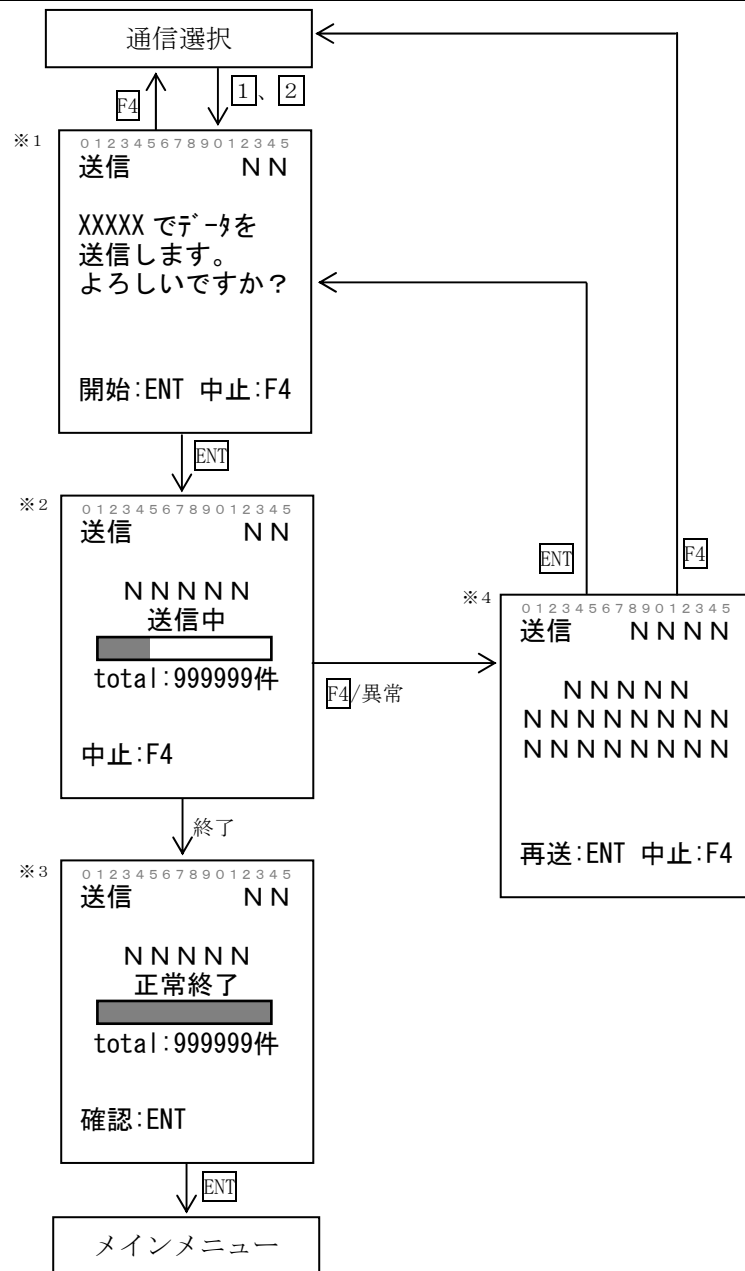
※4 勤怠データ参照

- ・登録したデータの参照を行います。（修正不可）
- ・デフォルト：直近のデータ
- ・UP/DWキー：データの検索を行います。
- ・F2キー：検索を終了して、勤怠区分入力（※1）に移行



※1 通信選択

- ・通信処理の選択を行います。
- ・デフォルト：業務送信（データが無い場合はマスタ受信）
- ・入力方法：テンキー又はUP/DWキーで選択後、ENTキー押下
- ・ENTキー：指定された通信処理に移行
- ・データが無い場合は「---」を表示します。
- ・F4キー：メインメニューに戻る
- ・.+CLRキー：マスタ削除処理へ移行



※1 送信確認

- ・送信処理を行うか確認します。
- ・1行目 NNには、「業務」又は「勤怠」を表示します。（右詰）
- ・2行目 XXXXには、「USB シリアル」、「Bluetooth」、「FTP 手順」を表示します。（左詰、後の文章も詰めます）
- ※センタリングは「ALF 手順」と表示します。
- ・ENTキー：通信処理を開始し、送信中（※2）に移行
- ・F4キー：処理を中止し、通信選択に戻る

※2 送信中

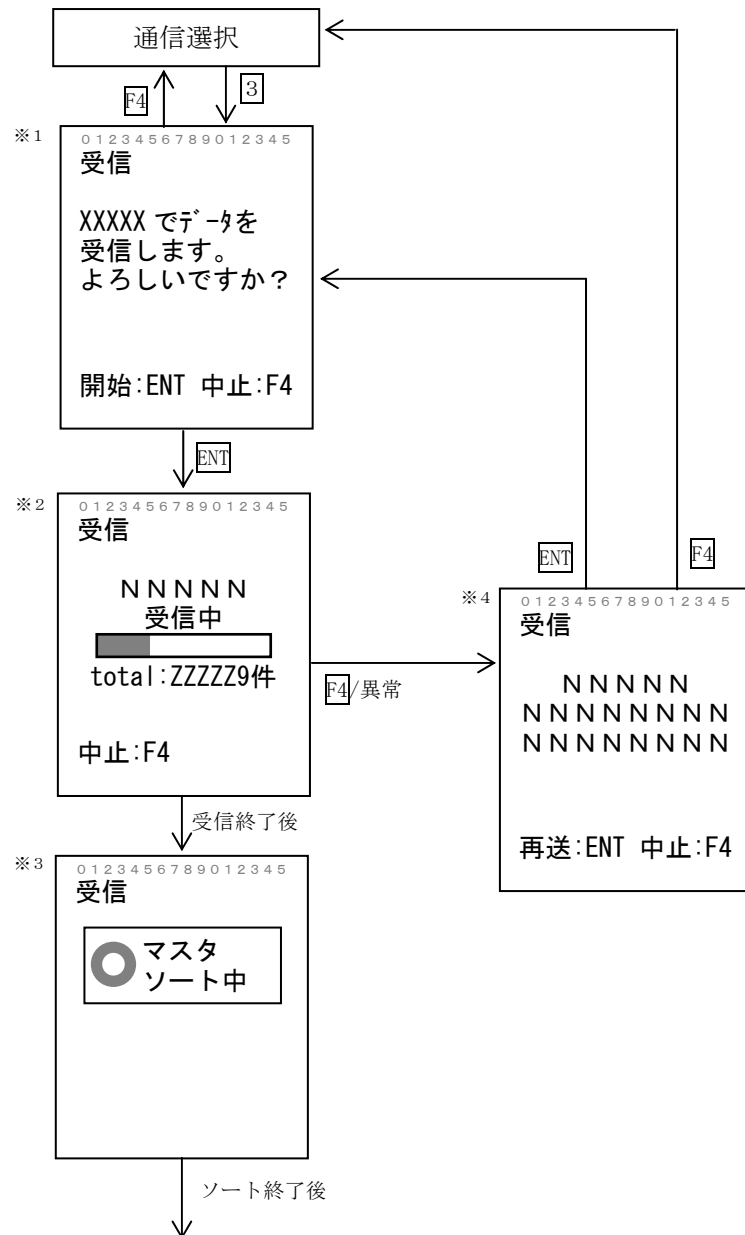
- ・送信処理中の間、この画面を表示します。
- ・2行目には、「USB シリアル」、「Bluetooth」、「FTP 手順」を表示します。（センタリング）
- ・4行目 [ZZZZ9]には、[送信予定件数]を表示します。
- ・送信処理終了後、データを削除し、送信終了（※3）に移行します。
- ・異常があった場合、送信エラー（※4）に移行します。
- ・F4キー：処理を中断し、送信エラー（※4）に移行

※3 送信終了

- ・送信処理が正常終了した場合この画面を表示し、確認します。
- ・ENTキー：処理を終了し、メインメニューに戻る

※4 送信エラー

- ・送信中に異常が発生した場合及び、処理中に中止した場合にこの画面を表示し、確認します。
- ・「N～N」の部分にエラー内容を表示します。
- ・ENTキー：再送信処理を行うため、送信確認（※1）に移行
- ・F4キー：処理を終了し、通信選択に戻る



※1 受信確認

- ・受信処理を行うか確認します。
- ・2行目 XXXXX には、「USB シリアル」、「Bluetooth」、「FTP 手順」を表示します。
(左詰、後の文章も詰めます)
- ※センタリングは「ALF 手順」と表示します。
- ・ENT キー：通信処理を開始し、受信中（※2）に移行
- ・F4 キー：処理を中止し、通信選択に戻る。

※2 受信中

- ・受信処理中、この画面を表示します。
- ・2行目には、「USB シリアル」、「Bluetooth」、「FTP 手順」を表示します。
(センタリング)
- ・4行目 [ZZZZZ9] には、[受信予定件数]を表示します。
- ・受信処理終了後、マスタソート中（※3）に移行します。
- ・異常があった場合、受信エラー（※4）に移行します。
- ・F4 キー：処理を中断し、受信エラー（※4）に移行

※3 マスタソート中

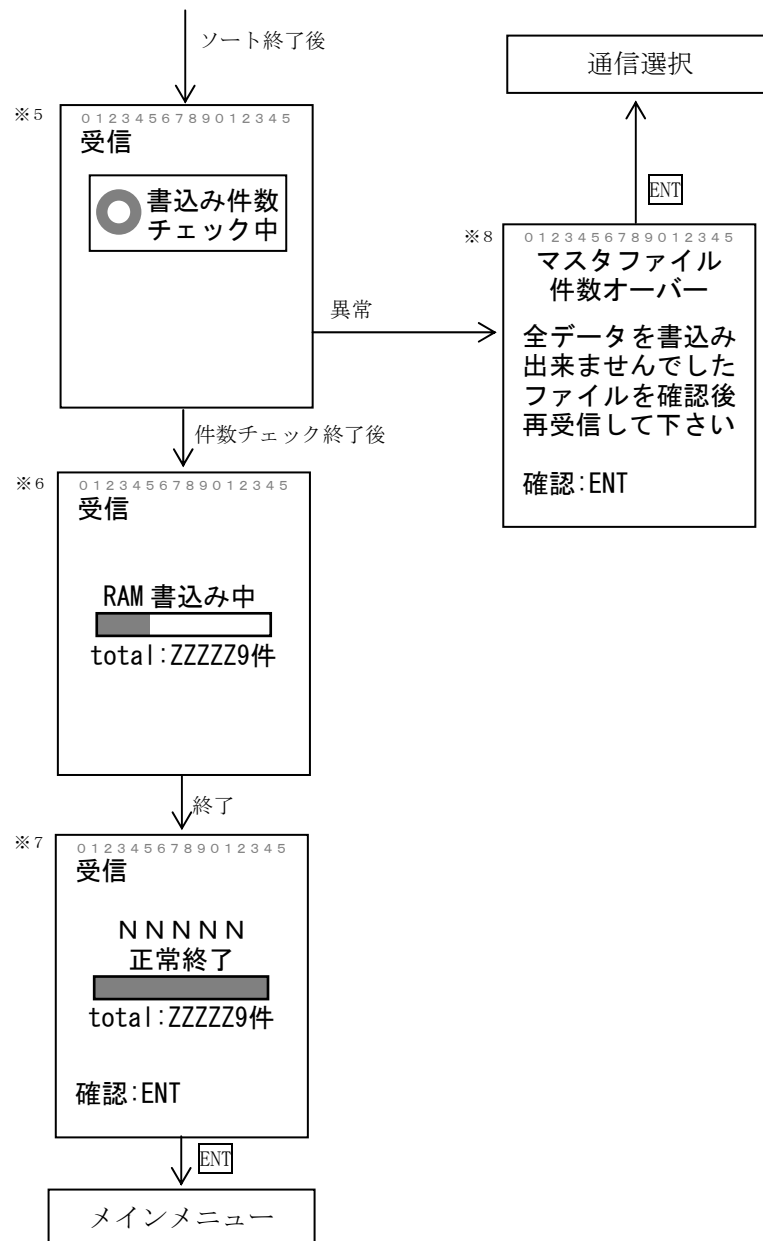
- ・受信処理が正常終了した場合、受信したマスタのソート処理を行います。
- ・マスタソート処理終了後、有効件数チェック（※5）に移行します。

※ソートに要する時間は、受信したマスタの並び方によります。

参考までに、60000 件のマスタデータの場合、並び方によっては、2分～6分半ほど差があります。
PC 側で予め昇順ソートしておく事で、ここでの処理時間を短縮することが出来ます。

※4 受信エラー

- ・受信中に異常が発生した場合及び、処理中に中止した場合にこの画面を表示し、確認します。
- ・「N～N」の部分にエラー内容を表示します。
- ・ENT キー：再受信処理を行うため、受信確認（※1）に移行
- ・F4 キー：処理を終了し、通信選択に戻る



※5 有効件数チェック

- ・既存マスタに対して受信したデータを追加や上書き、削除を行った上で最終的に有効となるマスタ件数をカウントします。
- ・件数がオーバーする場合は、件数オーバー（※7）に移行します。

※6 マスタ書込み中

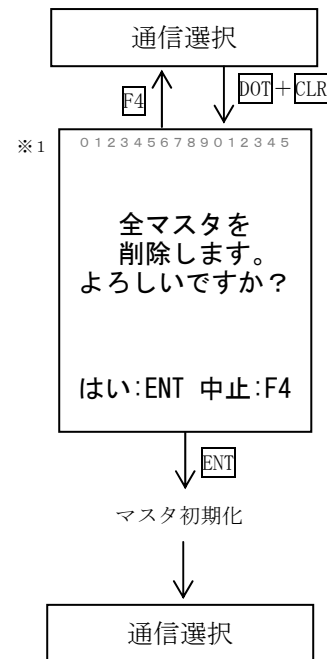
- ・マスタ書込み中の間、この画面を表示します。
- ・3行目[ZZZZZ9]には、[書込み予定件数]を表示します。
- ・マスタ書込み終了後、受信終了（※7）に移行します。

※7 受信終了

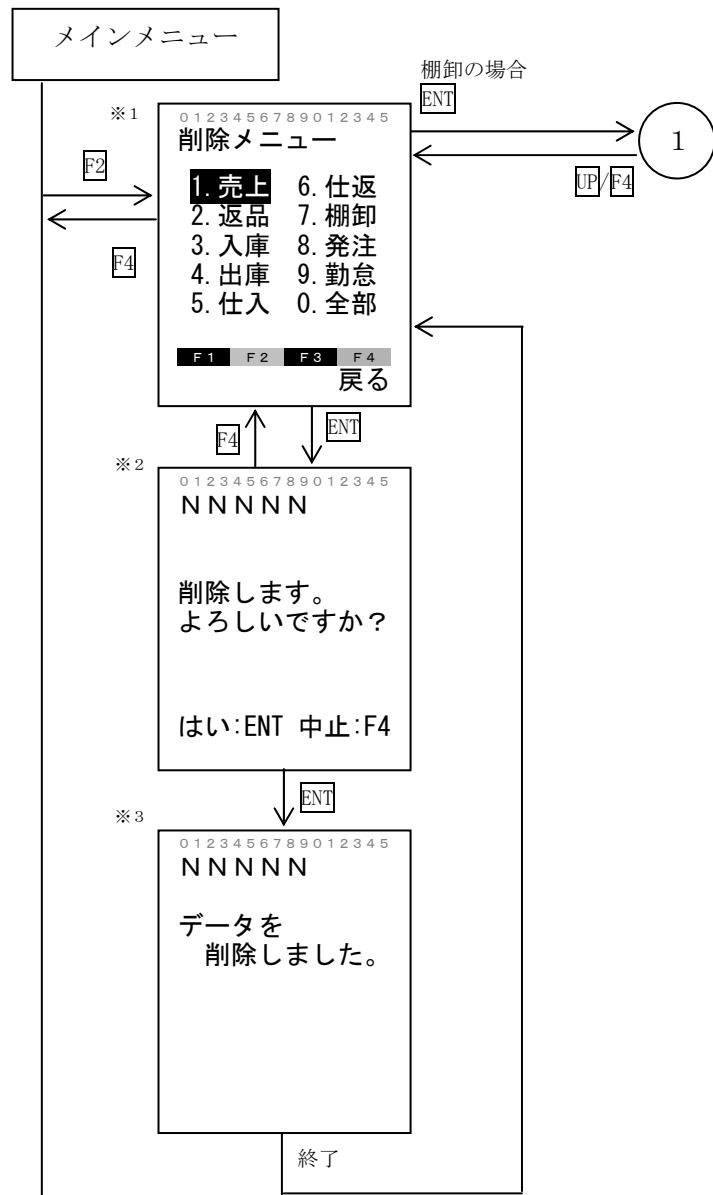
- ・受信処理とマスタ書込み処理が正常終了した場合この画面を表示し、確認します。
- ・**ENT**キー：処理を終了し、メインメニューに戻る

※8 件数オーバー

- ・有効件数がオーバーしている場合に表示し、確認します。
- ・オーバーしているため、マスタ書き込み出来ません。
受信元のマスタデータを確認してください。
- ・**ENT**キー：処理を終了し、通信選択に戻る

**※1 マスタ削除確認**

- ・マスタの削除を行うか確認します。
- ・マスタ区分に関係なく全マスタデータが削除対象です。
- ・ENTキー：削除を行い、通信選択に戻る。※この時削除完了音が鳴ります。
- ・F4キー：処理を中止し、通信選択に戻る。



※1 業務選択

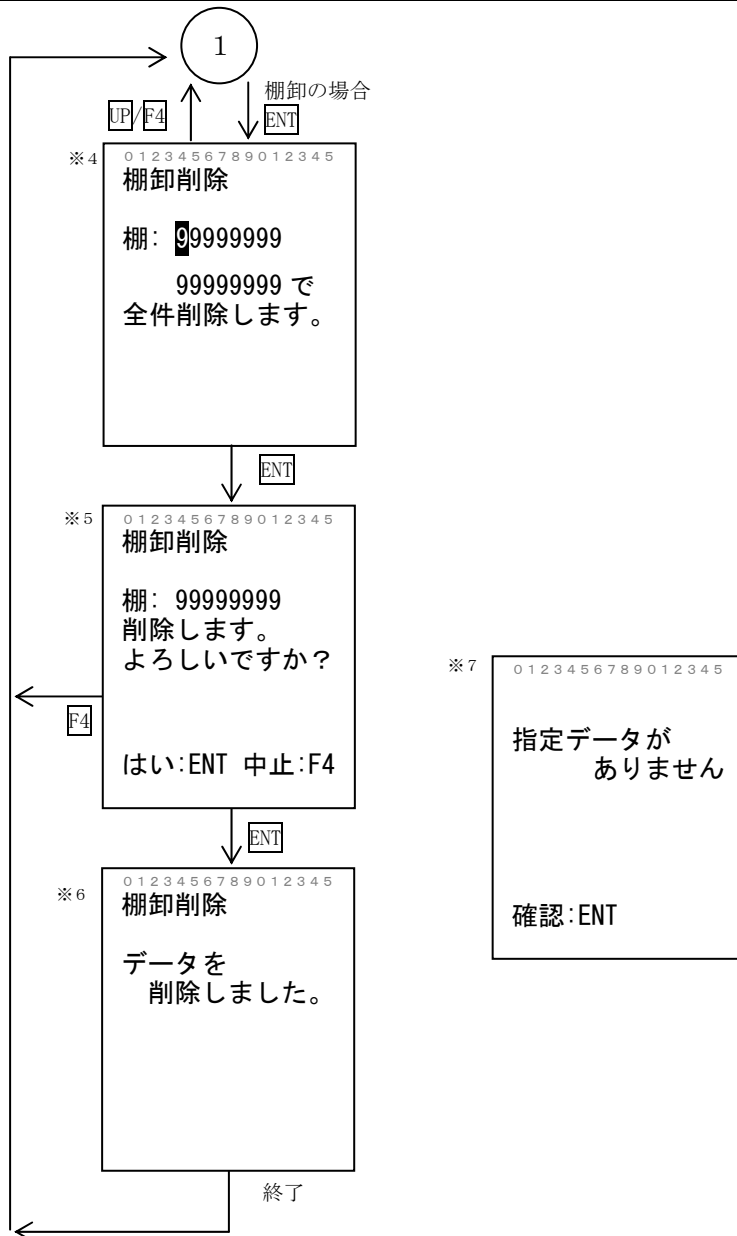
- ・削除する業務の選択を行います。
- ・データが無い業務は「----」で表示します。
- ・デフォルト：登録データが存在する業務の中で一番先頭の業務
- ・入力方法：テンキー又はUP/DWキーで選択後、ENTキー押下
- ・ENTキー：7が指定されている場合、棚番入力（※4）に移行
その他が指定されている場合は、削除確認1（※2）に移行
- ・F4キー：メインメニューに戻る

※2 削除確認1

- ・登録データの削除を行うか確認します。
- ・業務選択で選択された業務（全部の場合は全業務）のデータ全てが削除対象です。
- ・1行目NNNNには、全部の場合は「全業務削除」、それ以外の場合は「業務名+削除」を表示します。（左詰）
- ・ENTキー：選択された業務データを削除後、削除終了1（※3）に移行
- ・F4キー：処理を中止し、業務選択（※1）に戻る

※3 削除終了1

- ・データ削除完了後にこの画面を表示します。
- ・3秒後、業務単位で削除した場合で、他の業務データがまだ存在する場合は業務選択（※1）に移行
それ以外はメインメニューに戻ります。



※4 棚番入力

- ・削除する棚番の入力を行います。
- ・「99999999」を入力した場合、棚番に関係なく、この業務の全データが削除対象です。
- ・デフォルト：空白
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・**ENT**キー：棚番を確定して、削除確認2（※5）に移行
- ・**F4**キー：業務選択（※1）に戻る

※5 削除確認2

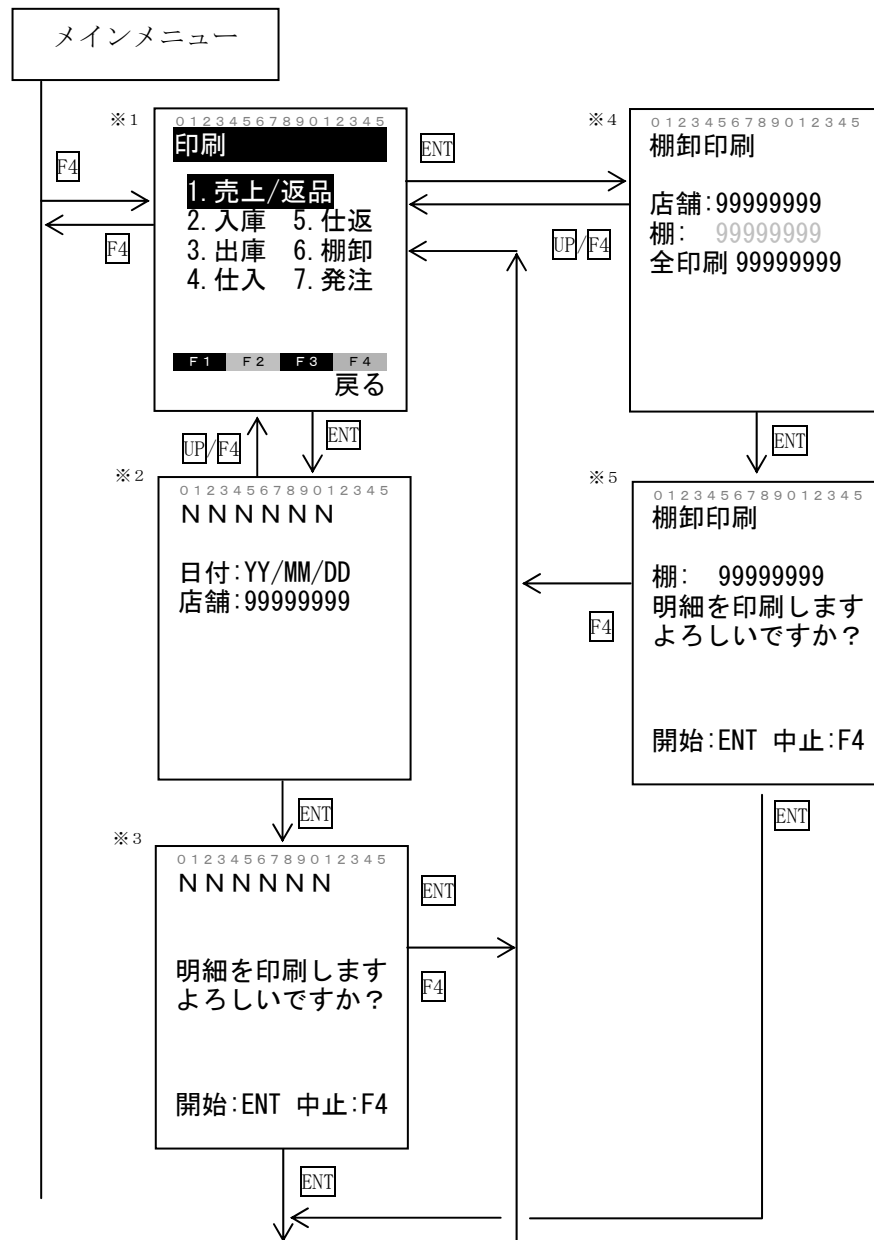
- ・登録データの削除を行うか確認します。
- ・表示している棚番に一致するデータ全てが削除対象です。（99999999 の場合はこの業務の全データが対象）
- ・**ENT**キー：データを削除後、削除終了2（※6）に移行
指定された棚番データが1件も存在しなかった場合、棚番エラー（※7）に移行
- ・**F4**キー：処理を中止し、業務選択（※1）に戻る

※6 削除終了2

- ・データ削除完了後にこの画面を表示します。
- ・3秒後、他の棚番データがまだ存在する場合は業務選択（※1）に移行
それ以外はメインメニューに戻ります。

※7 棚番エラー

- ・指定の棚番データが存在しない場合にこの画面を表示し、確認します。
- ・**ENT**キー：処理を終了し、棚番入力（※4）に戻る



※1 業務選択

- ・印刷する業務の選択を行います。
- ・データが無い業務は「---」で表示します。
- ・デフォルト：登録データが存在する業務の中で一番先頭の業務
- ・入力方法：テンキー又は`UP`/`DW`キーで選択後、`ENT`キー押下
- ・`ENT`キー：`6`が指定されている場合、印刷条件入力2（※4）に移行
 その他が指定されている場合は、印刷条件入力1（※2）に移行
- ・`F4`キー：メインメニューに戻る

※2 印刷条件入力1

- ・印刷条件の入力を行います。日付と店舗コードを指定し、それらに一致するデータが印刷対象です。
- ・1行目NNNNには、「業務名+印刷」を表示します。（左詰）
- ・デフォルト：＜日付＞システム日付 ＜店舗＞システム設定-店舗コード
- ・入力方法：テンキーより入力後、`ENT`キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：＜日付＞妥当性チェック ＜店舗＞なし
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・`ENT`キー：条件を確定して、印刷確認1（※3）に移行
- ・`F4`キー：業務選択（※1）に戻る

※3 印刷確認1

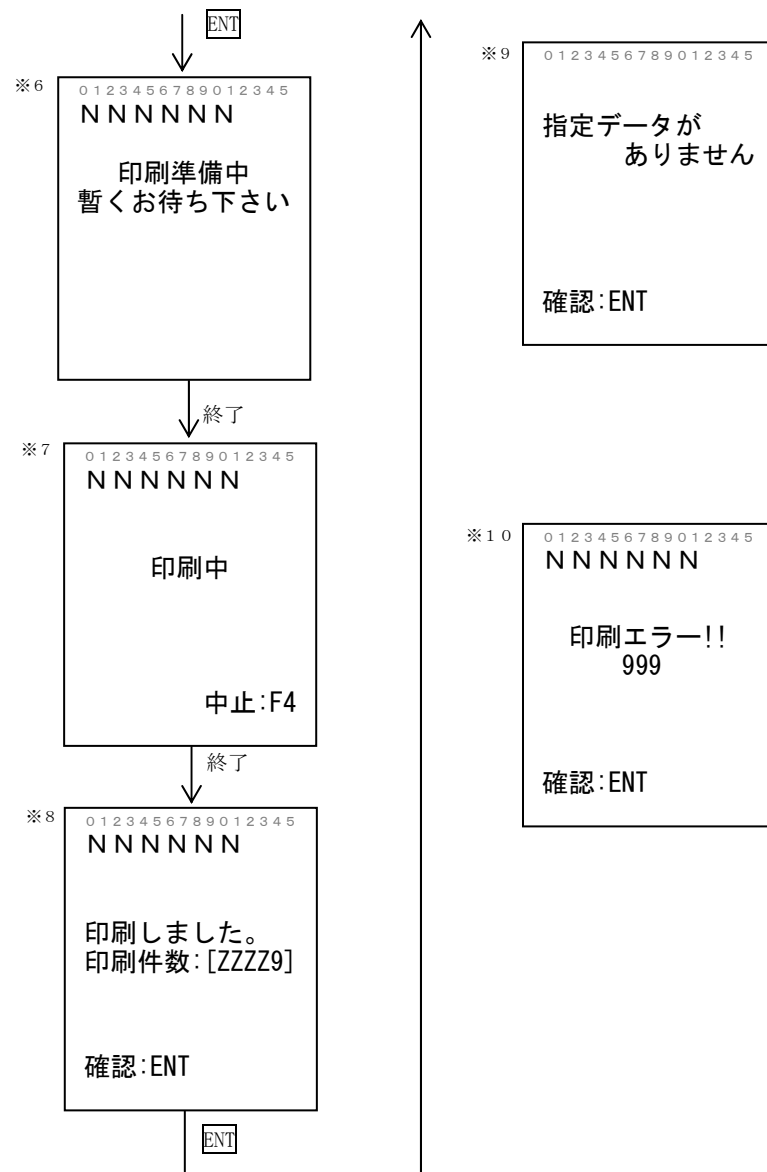
- ・登録データの印刷を行うか確認します。
- ・`ENT`キー：条件が一致するデータの存在チェック後、データがあれば、印刷準備中（※6）に移行
 1件も存在しなかった場合、条件エラー（※9）に移行
- ・`F4`キー：処理を中止し、業務選択（※1）に戻る

※4 印刷条件入力2

- ・印刷条件の入力を行います。店舗コードと棚番を指定し、それらに一致するデータが印刷対象です。
- ・「99999999」を入力した場合、棚番に関係なく、指定の店舗コードに一致する全データが印刷対象です。
- ・デフォルト：＜店舗＞システム設定-店舗コード ＜棚番＞空白
- ・入力方法：テンキーより入力後、`ENT`キー押下（パラメータ設定によってはスキャン入力も可能）
- ・チェック：＜店舗＞なし ＜棚番＞なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・`ENT`キー：条件を確定して、印刷確認2（※5）に移行
- ・`F4`キー：業務選択（※1）に戻る

※5 印刷確認2

- ・登録データの印刷を行うか確認します。
- ・`ENT`キー：条件が一致するデータの存在チェック後、データがあれば、印刷準備中（※6）に移行
 1件も存在しなかった場合、条件エラー（※9）に移行
- ・`F4`キー：処理を中止し、業務選択（※1）に戻る

**※6 印刷準備中**

- ・印刷の前処理を行っている間は、この画面を表示します。
- ・処理終了後、印刷中（※7）に移行します。

※7 印刷中

- ・印刷処理中は、この画面を表示します。
- ・印刷処理終了後、印刷終了（※8）に移行します。
- ・異常があった場合、印刷エラー（※10）に移行します。
- ・**F4**キー：処理を中断し、印刷エラー（※10）に移行

※8 印刷終了

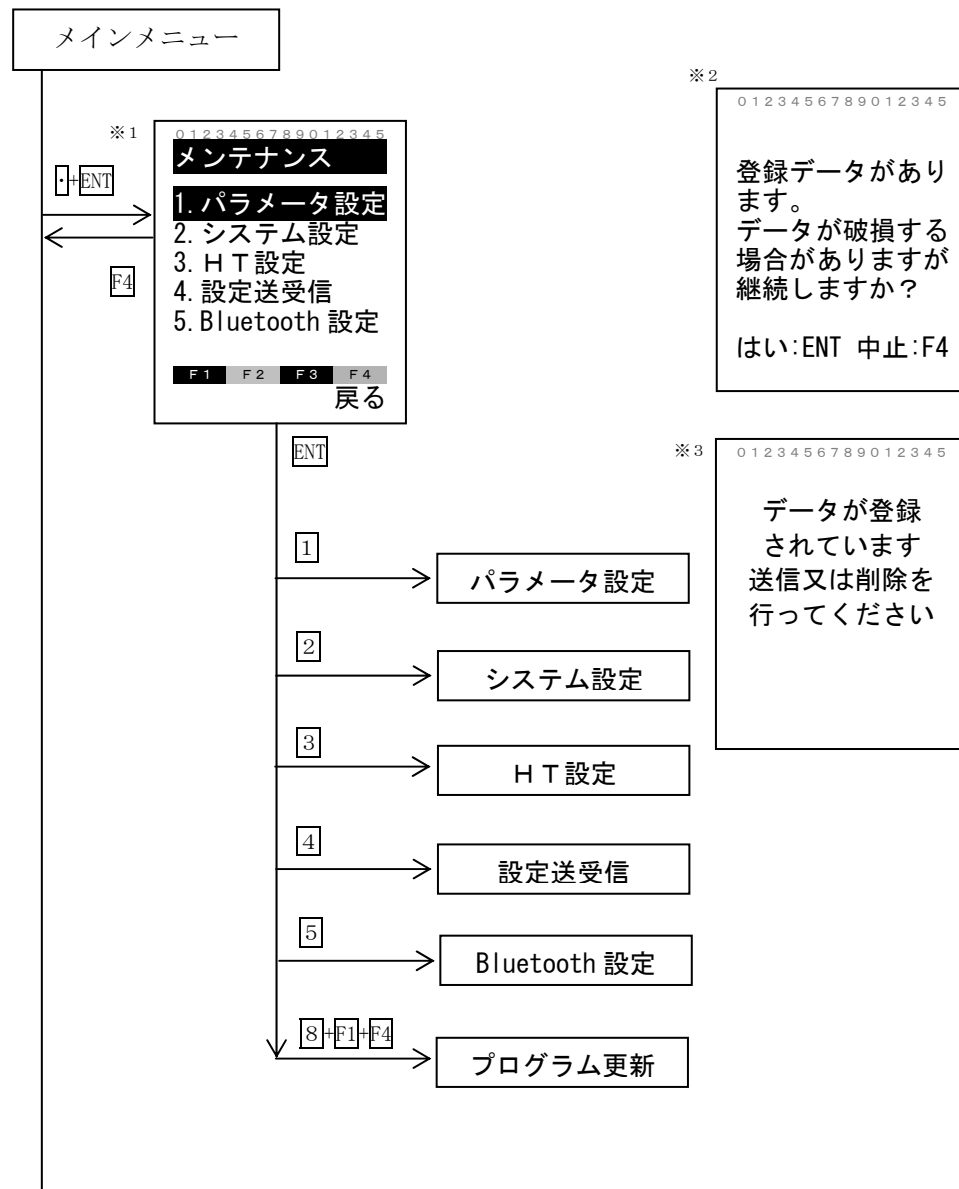
- ・印刷処理が終了した場合この画面を表示し、確認します。
- ・4行目[ZZZZ9]には、[印刷済み件数]を表示します。
- ・**ENT**キー：処理を終了し、業務選択（※1）に戻る

※9 条件エラー

- ・指定の条件に一致するデータが存在しない場合にこの画面を表示し、確認します。
- ・**ENT**キー：処理を終了し、印刷確認1（※3）から移行した場合、印刷条件入力1（※2）に戻る
印刷確認2（※5）から移行した場合、印刷条件入力2（※4）に戻る

※10 印刷エラー

- ・印刷中に異常が発生した場合及び、処理中に中止した場合にこの画面を表示し、確認します。
- ・4行目「999」にはエラーコードを表示します。
- ・**ENT**キー：印刷確認1（※3）から移行した場合、印刷条件入力1（※2）に移行
印刷確認2（※5）から移行した場合、印刷条件入力2（※4）に移行



メンテナンスメニュー

※1

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

パラメータ設定

- | | |
|-------|-------|
| 1. 売上 | 6. 仕返 |
| 2. 返品 | 7. 棚卸 |
| 3. 入庫 | 8. 発注 |
| 4. 出庫 | 9. 勤怠 |
| 5. 仕入 | |

F 1 F 2 F 3 F 4

戻る

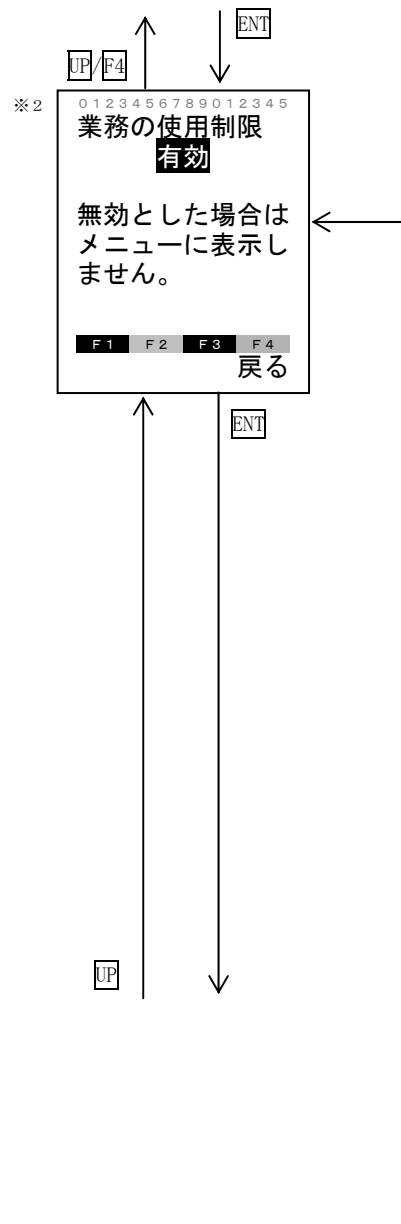
業務番号指定後

ENT

UP/F4

※1 パラメータ設定業務選択

- ・パラメータ設定を行う業務の選択を行います。
- ・デフォルト：売上
- ・入力方法：テンキー又は方向キーで選択後、**ENT**キー押下
- ・**ENT**キー：指定された業務（反転項目）に移行
- ・**F 4**キー：メンテナンスメニューに戻る



※2 業務の使用制限

・「業務の使用制限」について

・デフォルト：有効

・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下

・設定内容：有効・・・その業務は処理可能ですので、メインメニュー画面に業務名を表示します。

無効・・・処理不可ですので、メインメニュー画面に業務名を表示しません。

・処理不可の業務名は表示されませんので、その分を詰めて表示します。

例) 売上、棚卸について、「無効」と設定した場合は、メインメニュー画面（設定後）は以下になります。

未設定時

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5									
メインメニュー									
1. 売上	6. 仕返								
2. 返品	7. 棚卸								
3. 入庫	8. 発注								
4. 出庫	9. 勤怠								
5. 仕入	0. 通信								
F1	F2	F3	F4						
削除スキャナ印刷									

設定後

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5									
メインメニュー									
1. 返品	6. 発注								
2. 入庫	7. 勤怠								
3. 出庫	8. 通信								
4. 仕入									
5. 仕返									
F1	F2	F3	F4						
削除スキャナ印刷									

※「売上」、「棚卸」が表示されずに、以降の業務名が詰めて表示される。
「削除」「スキャナ」「印刷」は表示位置が変わりません。



ここでは、各入力業務において、各種入力項目の使用制限もしくは入力仕様に関する設定を行います。

- ・入力方法: **DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・**UP**キー: 1つ前の項目にカーソルが移行します。
- ・**F 4**キー: 業務の使用制限 (※ 2) に戻る。

- ・「目付」について

- ・デフォルト：入力する
- ・設定内容：非表示・・・非表示とします。入力も出来ません。データ上は登録時のシステム日付がセットされます。
入力する・・・表示、入力が可能です。
表示のみ・・・表示のみとします。入力は出来ません。
データ上は登録時に表示した日付（システム日付）がセットされます。

- ・「店舗」について

※注意※ 店舗に限ってはシステム設定や印刷条件指定などで業務共通の入力があるため
NW7 や CODE39 を指定する場合は、全業務で同じ設定内容にして下さい。

- ・デフォルト：入力する
- ・設定内容：非表示・・・非表示とします。入力も出来ません。データ上は登録時のシステ設定一店舗コードがセットされます。
 入力する・・・表示、入力が可能です。手入力のみです。
 入力(NW7)・・・表示、入力が可能です。手入力のほかに、NW7(8桁)のバーコードスキャンが可能です。
 入力(CD39)・・・表示、入力が可能です。手入力のほかに、CODE39(8桁)のバーコードスキャンが可能です。
 表示のみ・・・表示のみとします。入力は出来ません。
 データ上は登録時に表示した店舗コード(システ設定一店舗コード)がセットされます。

- ・「担当」について・・・**勤怠業務以外**

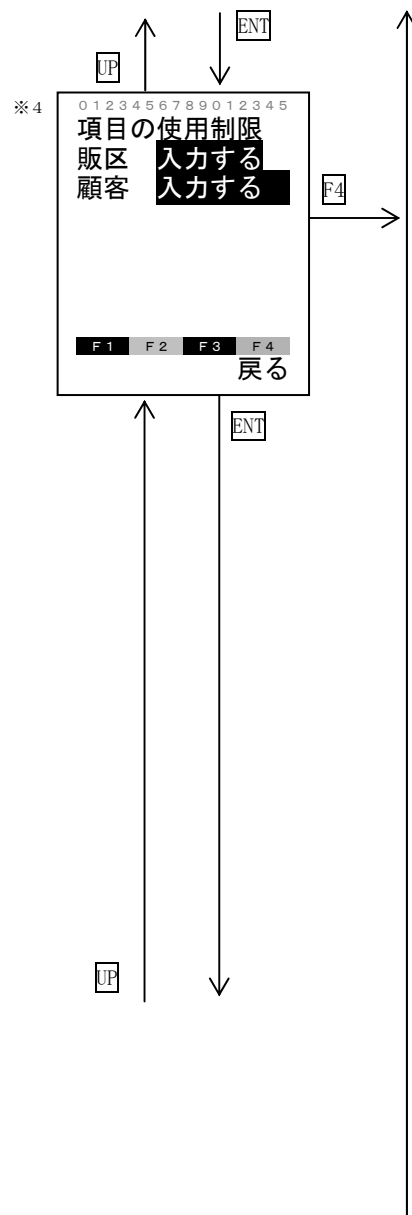
- ・デフォルト：入力する
- ・設定内容：非表示・・・非表示とします。入力も出来ません。データ上はスペースがセットされます。
 - 入力する・・・表示、入力が可能です。手入力のみです。
 - 入力(NW7)・・・表示、入力が可能です。手入力のほかに、NW7（6桁）のバーコードスキャンが可能です。
 - 入力(CD39)・・・表示、入力が可能です。手入力のほかに、CODE39（6桁）のバーコードスキャンが可能です。

- ・「下段」について

- ・デフォルト：入力する
- ・設定内容：非表示・・・非表示とします。入力も出来ません。データ上はスペースがセットされます。
入力する・・・表示、入力が可能です。手入力のほかに、バーコードスキャンが可能です。

- ・「売価」について

- ・デフォルト：入力(F2)
- ・設定内容：非表示・・・非表示とします。入力も出来ません。データ上はスペースがセットされます。
入力する・・・表示、入力が可能です。手入力のみです。
入力(F2)・・・表示しますが、入力については、数量項目で **F 2** キーを押下する事で可能となります。
手入力のみです。この設定により、数量での連続スキャンが可能となります。



※4 項目の使用制限—業務別

この画面のレイアウトは業務により異なります。詳しくは「5-1-8. パラメータ設定」以降を参照下さい。

左記の画面は、売上業務の場合をサンプルとして挙げています。

・勤怠業務のみ・・・この画面設定後は、パラメータ設定を保存し、パラメータ設定業務選択（※1）へ戻ります。

ここでは、各入力業務において、各種入力項目の使用制限もしくは入力仕様に関する設定を行います。

・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下

・**UP**キー：1つ前の項目にカーソルが移行します。

・**F4**キー：業務の使用制限（※2）に戻る。

・この画面での設定に関する共通説明

・「販区（販売区分）」について

・デフォルト：入力する

・設定内容：非表示・・・非表示とします。入力も出来ません。データ上は‘9’がセットされます。
入力する・・・表示、選択が可能です。

・「顧客」、「相手」、「伝票」、「発注」、「棚番」について

・デフォルト：入力する

・設定内容：非表示・・・非表示とします。入力も出来ません。データ上はスペースがセットされます。
入力する・・・表示、入力が可能です。手入力のみです。

入力(NW7)・・・表示、入力が可能です。手入力のほかに、NW7（8桁）のバーコードスキャンが可能です。

入力(CD39)・・・表示、入力が可能です。手入力のほかに、CODE39（8桁）のバーコードスキャンが可能です。

・「納品日」について

・デフォルト：入力する

・設定内容：非表示・・・非表示とします。入力も出来ません。データ上はスペースがセットされます。
入力する・・・表示、入力が可能です。

・「更新日」について

・デフォルト：送信しない

・設定内容：送信しない・・・棚卸データの更新日時を送信しません。データ上はゼロがセットされます。
送信する・・・棚卸データの更新日時を送信します。

・「担当」について・・・**勤怠業務のみ**

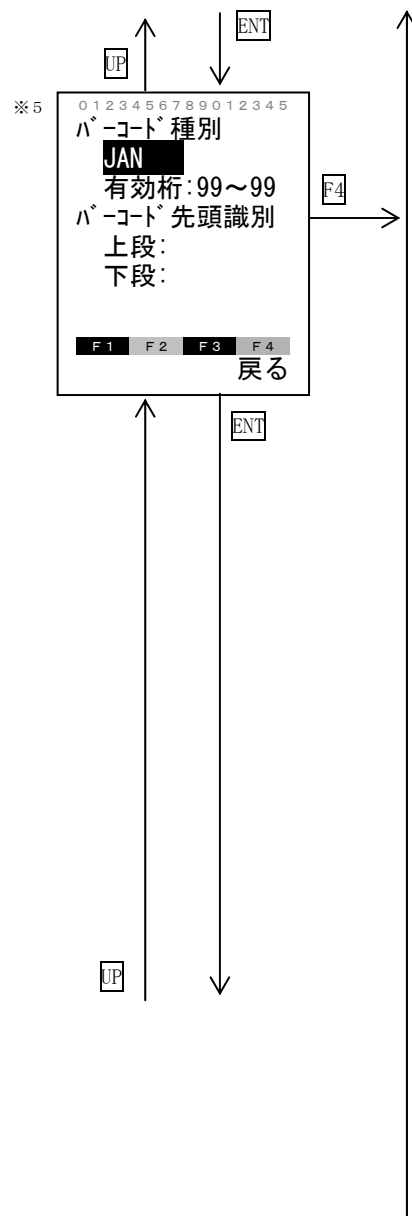
・デフォルト：入力する

・設定内容：入力する・・・表示、入力が可能です。手入力のみです。

入力(NW7)・・・表示、入力が可能です。手入力のほかに、NW7（6桁）のバーコードスキャンが可能です。

入力(CD39)・・・表示、入力が可能です。手入力のほかに、CODE39（6桁）のバーコードスキャンが可能です。

・勤怠業務の場合は、担当者コードは必須入力のため、「非表示」は設定できません。



※5 バーコード設定

ここでは、入力業務で使用する商品コードに関する設定を行います。

読取を可能とするバーコードの種別や桁数、ならびに上段下段の識別など入力仕様に関する設定を行います。

- ・**UP**キー：1つ前の項目にカーソルが移行します。
- ・**F4**キー：業務の使用制限（※2）に戻る。

・「バーコード種別」について

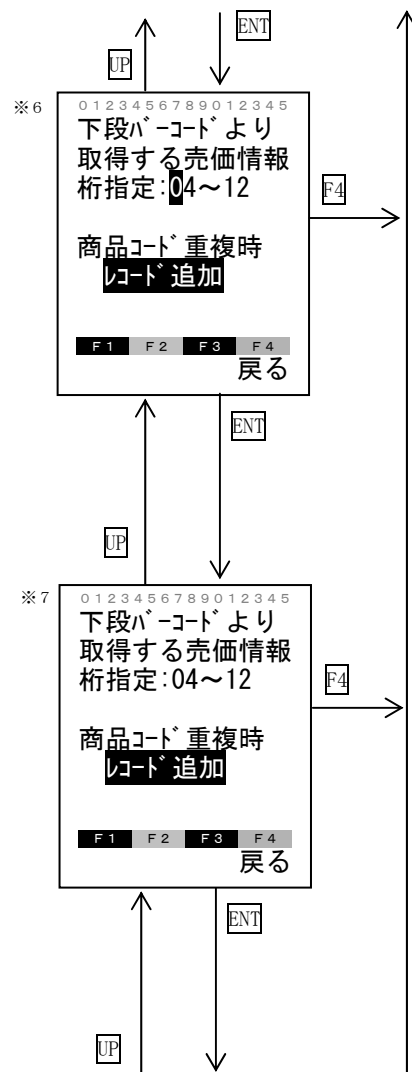
- ・読取可能とするバーコードを指定します。上段、下段共通の設定となります。
- ・デフォルト：JAN
- ・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・設定内容：NW7・・・NW7のバーコードが読取可能です。13桁以下で有効な桁数を指定する必要があります。
入力時、チェックディジットチェックは行いません。手入力ではNW7の文字入力も可能
JAN・・・JANのバーコードが読取可能です。13桁、8桁の入力が可能となります。
入力時、チェックディジットチェックを行います。（モジュラス10／ウエイト3）
CODE39・・・CODE39のバーコードが読取可能です。13桁以下で有効な桁数を指定する必要があります。
入力時、チェックディジットチェックは行いません。手入力ではCODE39の文字入力も可能

・「有効桁」について

- ・読取可能とするバーコード（NW7、CODE39の場合）の桁数を指定します。（有効とする桁の範囲指定）
JANの場合は、この設定は不要であるため処理を飛ばします。
- ・デフォルト：空白
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
- ・チェック：0 < 開始桁 <= 終了桁 <= 13 以外の場合はエラー
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・指定範囲外の桁数は入力出来ません。
例「05～08」の場合、「123456（6桁）」は入力可能。「123（3桁）」は入力不可。
「1234567890（10桁）」は入力不可になります。
「JAN」を指定した場合、12桁を入力する事で、チェックディジットを自動計算し、13桁目にセットします。

・「上段」、「下段」について（先頭桁チェック）

- ・商品コードの先頭桁を指定し、入力時に制限します。上段下段で同じ値を指定することも可能です。
この設定により、商品コード以外のバーコードを読んではいたり、上段下段を逆に読むなどのミスを防ぐ事が出来ます。
先頭桁チェックが不要の場合は、空ENTで進めてください。
- ・デフォルト：空白
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下 もしくは空ENT
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・1桁設定した場合は先頭1桁を、2桁設定した場合は先頭2桁をチェックし、指定外のコードは入力できません。
例「上：49」を設定した場合は、「4901301154019」のコードは入力可能ですが、
「037000013037」というように、先頭が「49」以外のコードは入力不可能となります。



※6 売価情報設定

ここでは、入力業務で売価のデフォルト表示用として、下段より取得する値（売価情報）の設定を行います。

商品コード下段を使用しない場合は、この設定は飛ばします。

また、商品コード下段を使用するが、下段のコードに売価が含まれていない場合は、00~00 で設定します。

・「桁指定」について

・デフォルト：04~12 （売価 9 桁）

・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下

・チェック：0 ≤ 開始桁 ≤ 終了桁 ≤ 13 以外の場合はエラー

開始桁～終了桁までの間が 9 桁を超える場合はエラー （売価の桁が最大 9 桁であるため）

・エラー：エラー音

・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ

・下段を入力した際に指定範囲の値を売価値として取得します。「00~00」が指定された場合は売価に設定を行いません。

例)「売価情報：04~12」を設定し、下段に「4903333069361」のコードを入力した場合

売価のデフォルトには「333306936」という値がセットされます。

・バーコード設定の「有効桁」を設定している場合、売価情報の桁指定で設定可能な範囲は制限されます。

例)「バーコード有効桁：10~13」の場合、下段より売価情報を確実に取得するために「終了桁」の値をバーコードの最小桁である 10 桁以下にする必要があります。

この場合、売価情報の終了桁の設定値に 10 を越える値を設定するとエラーとします。

※7 商品コード重複時設定

同一商品のデータが存在する場合のデータ登録方法の設定を行います。

同一商品とは、各業務の入力順に日付から商品コード（下段）までの全ての項目が一致するデータを指します。

商品コード確定時に、既存のデータに対し、重複チェックを行います。

※入力項目を「入力しない」にしてデータ登録している場合、入力なしの項目部分には空白が登録されていますので、その項目は空白として一致するかどうかの判断を行います。

・「商品コード重複時」について

・デフォルト：レコード追加

・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下

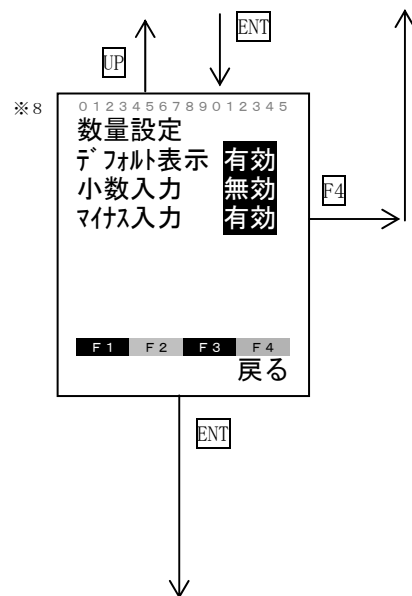
・設定内容：レコード追加・・・同一商品データが存在していても重複してデータの登録が可能です。

数量加算・・・同一商品の数量に今入力した数量の値を加算し、同一商品データに上書きします。

（先データの数量加算、後データ優先、）

上書き・・・同一商品データに上書きします。（先データは無視、後データ優先）

入力不可・・・同一商品データが存在している場合、エラーとなりデータ登録できません。



パラメータ設定業務選択 (※1)

※8 数量設定

ここでは、各入力業務において、数量の入力仕様に関する設定を行います。

- ・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・**UP**キー：1つ前の項目にカーソルが移行します。
- ・**F4**キー：業務の使用制限 (※2) に戻る。

・「デフォルト表示」について

- ・デフォルト：有効
- ・設定内容：有効・・・数量のデフォルト値として「1」をセットして、表示します。
連続スキャンを行った場合、数量は1で登録されます。
但し、数量を入力途中でスキャンを行った場合は、入力した数量の値で登録します。
- 無効・・・数量のデフォルト値なしとなり、デフォルトは空白で表示されます。
- ・但し、デフォルトが有効の場合でも、パラメータ設定の「商品コード重複時」で数量加算もしくは上書を設定している場合は、既存データの数量の値が表示されます。この数量値は表示のみで、実際のバッファには「1」がセットされています。

・「小数入力」について

- ・デフォルト：無効
- ・設定内容：有効・・・数量にて小数値の入力が可能になります。小数は、小数第2位まで入力可能です。(全5桁：99.99)
- 無効・・・数量は整数のみの入力となります。(全5桁：99999)

・「マイナス入力」について

- ・デフォルト：有効
- ・設定内容：有効・・・数量入力にて符号入力が可能になります。
マイナス符号はそのまま登録しますが、プラス符号はゼロに置き換えて登録します。
- 無効・・・数量入力にて符号入力は出来ません。

※「データの扱い方」について

プラス符号は登録しません。
小数点なしの場合は、-0099999～00099999の数値が登録できます。
小数点ありの場合は、-0099V99～00099V99の数値が登録できます。

項目の使用制限—業務別（※４）の業務別画面説明

※売上

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

項目の使用制限

販区 入力する

顧客 入力する

F1 F2 F3 F4

戻る

※返品

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

項目の使用制限

販区 入力する

顧客 入力する

F1 F2 F3 F4

戻る

※入庫

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

項目の使用制限

相手 入力する

伝票 入力する

F1 F2 F3 F4

戻る

※出庫

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

項目の使用制限

相手 入力する

伝票 入力する

F1 F2 F3 F4

戻る

※仕入

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

項目の使用制限

相手 入力する

伝票 入力する

発注 入力する

F1 F2 F3 F4

戻る

※仕返

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

項目の使用制限

相手 入力する

伝票 入力する

F1 F2 F3 F4

戻る

※棚卸

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

項目の使用制限

棚番 入力する

更新日 送信しない

F1 F2 F3 F4

戻る

※発注

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

項目の使用制限

相手 入力する

納品日 入力する

伝票 入力する

F1 F2 F3 F4

戻る

※勤怠

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

項目の使用制限

担当 入力する

F1 F2 F3 F4

戻る

入力内容について詳しくは、項目の使用制限—業務別（※４）の説明を参照下さい。

※売上

・デフォルト設定：「販区：入力する」、「顧客：入力する」

※返品

・デフォルト設定：「販区：入力する」、「顧客：入力する」

※入庫

・デフォルト設定：「相手：入力する」、「伝票：入力する」

※出庫

・デフォルト設定：「相手：入力する」、「伝票：入力する」

※仕入

・デフォルト設定：「相手：入力する」、「伝票：入力する」「発注：入力する」

※仕返

・デフォルト設定：「相手：入力する」、「伝票：入力する」

※棚卸

・デフォルト設定：「棚番：入力する」、「更新日：送信しない」

※発注

・デフォルト設定：「相手：入力する」、「納品日：入力する」、「伝票：入力する」

※勤怠

・デフォルト設定：「担当：入力する」

メンテナンスメニュー

※1

2

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

設定

日付: YY/MM/DD

時刻: HH:MM:SS

店舗: 99999999

HT: 999

PR: CMP-20

F1 F2 F3 F4

戻る

※2

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

設定

日付: YY/MM/DD

時刻: HH:MM:SS

店舗: 99999999

HT: 999

PR: CMP-20

F1 F2 F3 F4

戻る

※3

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

設定

日付: YY/MM/DD

時刻: HH:MM:SS

店舗: 99999999

HT: 999

PR: CMP-20

F1 F2 F3 F4

戻る

※1 システム日付設定

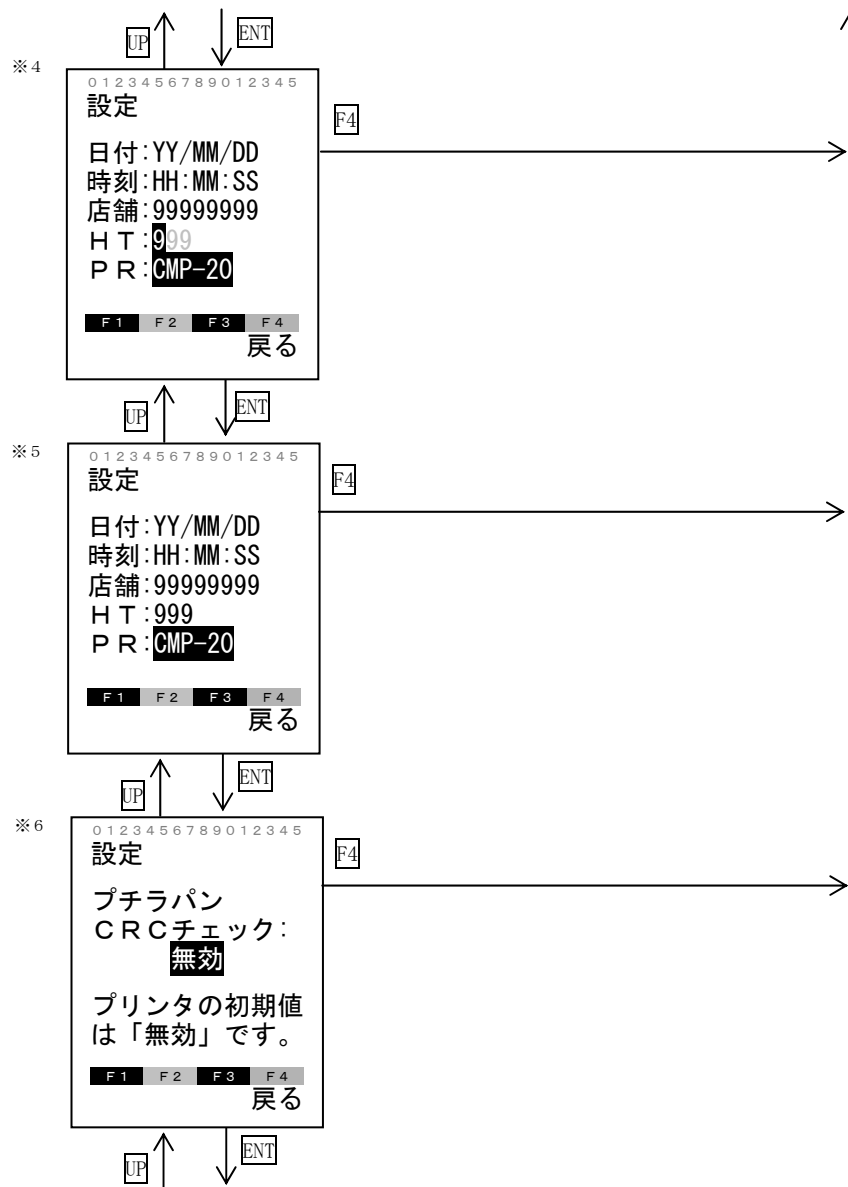
- ・システム日付の設定を行います。
- ・デフォルト：システム日付
(例：2007年05月15日の場合、「07/05/15」と表示及び入力を行います)
- ・入力方法：テンキー又は`ENT`キー押下
テンキーより2桁入力した場合、年→月→日へとカーソルが自動移行
- ・チェック：妥当性チェック
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ
- ・`UP`/`F4`キー：メンテナンスメニューに戻る。

※2 システム時刻設定

- ・システム時刻の設定を行います。
- ・デフォルト：システム時刻
(例：AM11時11分11秒の場合、「11:11:11」と表示及び入力を行います、
PM11時11分11秒の場合、「23:11:11」と表示及び入力を行います)
- ・入力方法：テンキー又は`ENT`キー押下
テンキーより2桁入力した場合、時→分→秒へとカーソルが自動移行
- ・チェック：妥当性チェック
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ

※3 店舗コード設定

- ・店舗コードの設定を行います。(必須入力)
ここで設定した店舗コードが、各業務での店舗コードのデフォルト値として表示されます。
- ・デフォルト：前回登録値(初回：空白)
- ・入力方法：テンキーより入力後、`ENT`キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ



※4 HT-ID設定

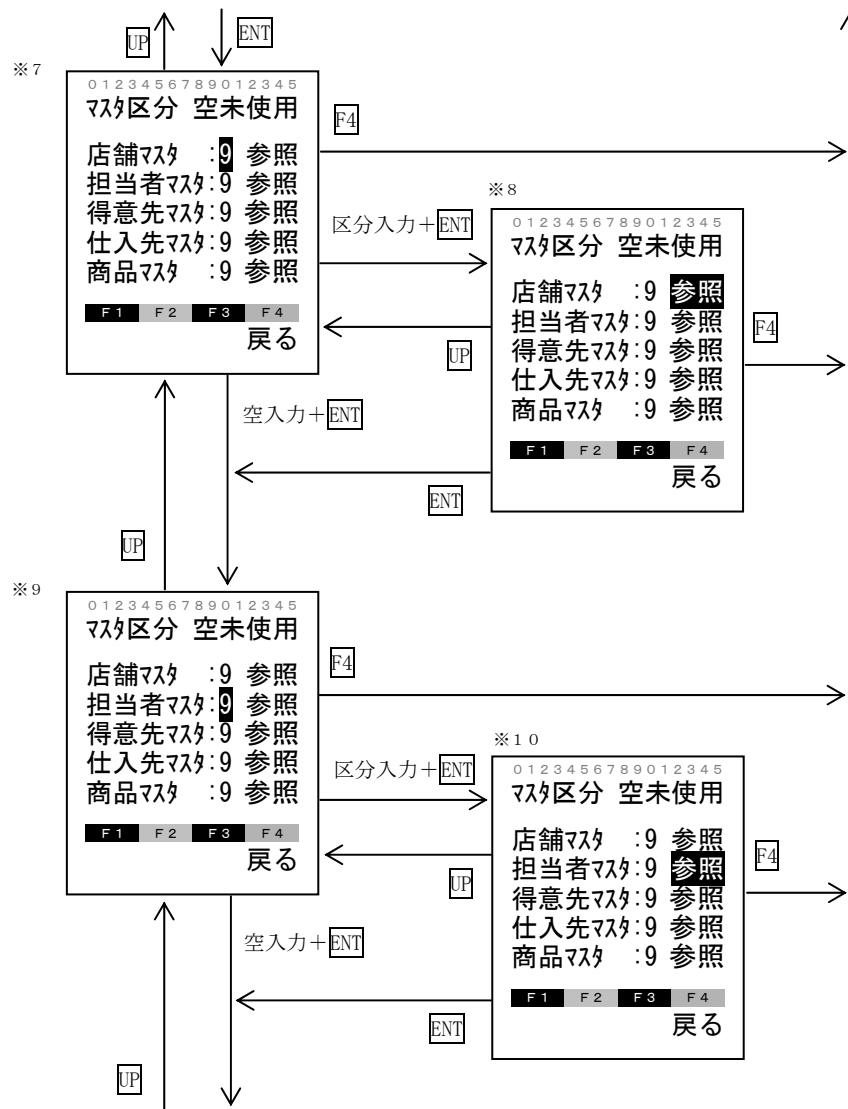
- ・ハンディの端末番号の設定を行います。(必須入力)
- ・デフォルト：前回登録値（初回：空白）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ

※5 プリンタ機種選択

- ・印刷に使用するプリンタの機種を選択します。
- 「DPU-S245」、「プチラパン」、「CMP-20」、「使用しない」
- ・「使用しない」を設定すると、メインメニューに「印刷」が表示されません。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：CMP-20）
- ・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示

※6 CRCチェックの設定

- ・この画面は、プリンタ選択で「プチラパン」を選択した場合のみ表示します。
- プチラパン以外は、この画面を飛ばして、店舗マスタ区分設定へ遷移します。
- ・プチラパン印刷時に、CRCチェックを行うかを選択します。
- 「無効」、「有効」
- ・デフォルト：前回登録値（初回：無効）
- ・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示



※7 店舗マスタ区分設定

- ・店舗マスタのマスタ区分設定を行います。
- ・マスタが不要の場合は、空ENTで進めてください。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：空白）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下 もしくは空ENT
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：なし／なし

※8 店舗マスタチェック設定

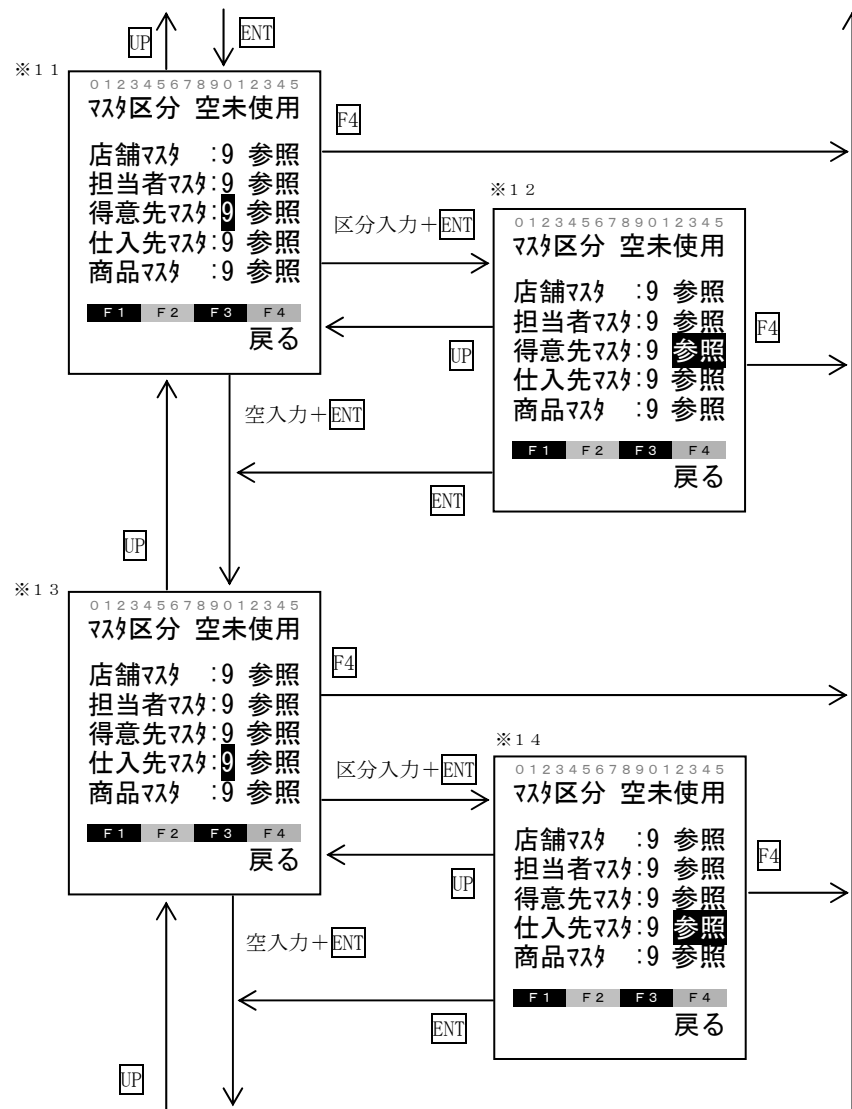
- ・店舗コード入力の際、店舗マスタに存在しないコードをエラーとする事ができます。ここでは存在チェックの有無を設定します。
- ・「参照」を設定した場合は、マスタ検索を行い該当するコードの名称を参照表示します。該当しないコードの場合は、入力コードの表示のまま処理を継続します。
- ・「チェック」を設定した場合は、マスタ検索を行い該当するコードの名称を参照表示します。該当しないコードの場合は、エラー音を鳴らし、再入力待ちとします。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：参照）
- ・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示

※9 担当者マスタ区分設定

- ・担当者マスタのマスタ区分設定を行います。
- ・マスタが不要の場合は、空ENTで進めてください。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：空白）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下 もしくは空ENT
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：なし／なし

※10 担当者マスタチェック設定

- ・担当者コード入力の際、担当者マスタにおける存在チェックを行うかどうかの設定を行います。
- ・「参照」、「チェック」の動作仕様は、店舗マスタチェック設定と同じです。（※8参照）
- ・デフォルト：前回登録値（初回：参照）
- ・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示



※11 得意先マスタ区分設定

- ・得意先マスタのマスタ区分設定を行います。
- ・マスタが不要の場合は、空ENTで進めてください。
- ・対象：入庫（相手）、出庫（相手）、発注（相手）
- ・デフォルト：前回登録値（初回：空白）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下 もしくは空ENT
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：なし／なし

※12 得意先マスタチェック設定

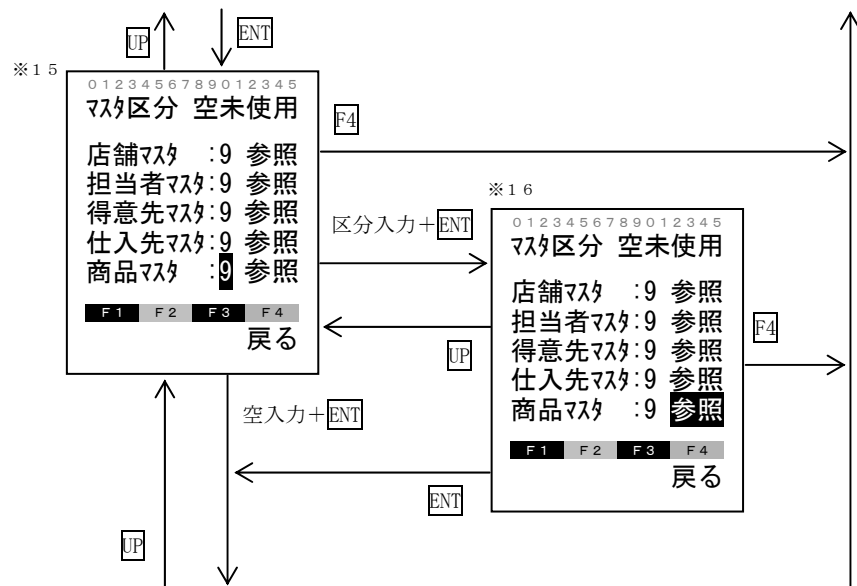
- ・相手先コード入力の際、得意先マスタにおける存在チェックを行うかどうかの設定を行います。
- ・「参照」、「チェック」の動作仕様は、店舗マスタチェック設定と同じです。（※8参照）
- ・デフォルト：前回登録値（初回：参照）
- ・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示

※13 仕入先マスタ区分設定

- ・仕入先マスタのマスタ区分設定を行います。
- ・マスタが不要の場合は、空ENTで進めてください。
- ・対象：仕入（相手）、仕返（相手）
- ・デフォルト：前回登録値（初回：空白）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下 もしくは空ENT
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：なし／なし

※14 仕入先マスタチェック設定

- ・相手先コード入力の際、仕入先マスタにおける存在チェックを行うかどうかの設定を行います。
- ・「参照」、「チェック」の動作仕様は、店舗マスタチェック設定と同じです。（※8参照）
- ・デフォルト：前回登録値（初回：参照）
- ・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示

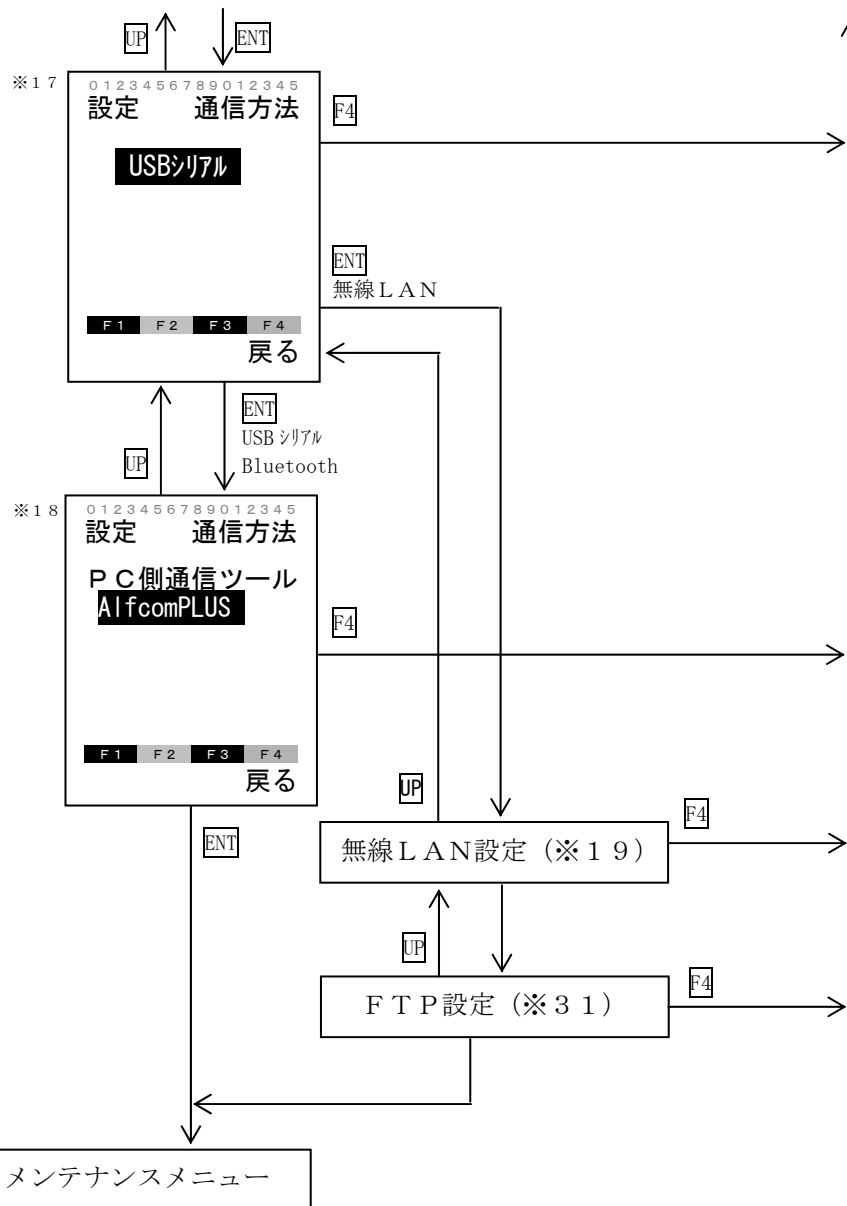


※15 商品マスタ区分設定

- 商品マスタのマスタ区分設定を行います。
マスタが不要の場合は、空ENTで進めてください。
- デフォルト：前回登録値（初回：空白）
- 入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下 もしくは空ENT
- チェック：なし
- エラー：なし
- 表示／登録方法：なし／なし

※16 商品マスタチェック設定

- 商品コード（上段）入力の際、商品マスタに存在しないものをエラーとすることができます。
ここでは存在チェックの有無を設定します。
- 「参照」を設定した場合は、マスタ検索を行い該当する商品の名称を参照表示します。
該当しない商品の場合は、商品名称の表示領域を空白表示したまま処理を継続します。
- 「チェック」を設定した場合は、マスタ検索を行い該当する商品の名称を参照表示します。
該当しない商品の場合は、エラー音を鳴らし、再入力待ちとします。
- デフォルト：前回登録値（初回：参照）
- 入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- チェック：なし
- エラー：なし
- 表示／登録方法：選択項目反転表示



※17 通信方法選択

- 通信方法の選択を行います。
「USBシリアル」、「Bluetooth」、「無線LAN」
- デフォルト：前回登録値（初回：USBシリアル）
- 入力方法：**[DW]**キーで選択肢を展開後、**[UP]**/**[DW]**キーより選択して、**[ENT]**キー押下
- チェック：なし
- エラー：なし
- 表示／登録方法：選択項目反転表示
- [ENT]**キー：無線LANを選択した場合、（※12）に移行
それ以外の場合、PC側通信ツール選択に移行

※18 PC側通信ツール選択

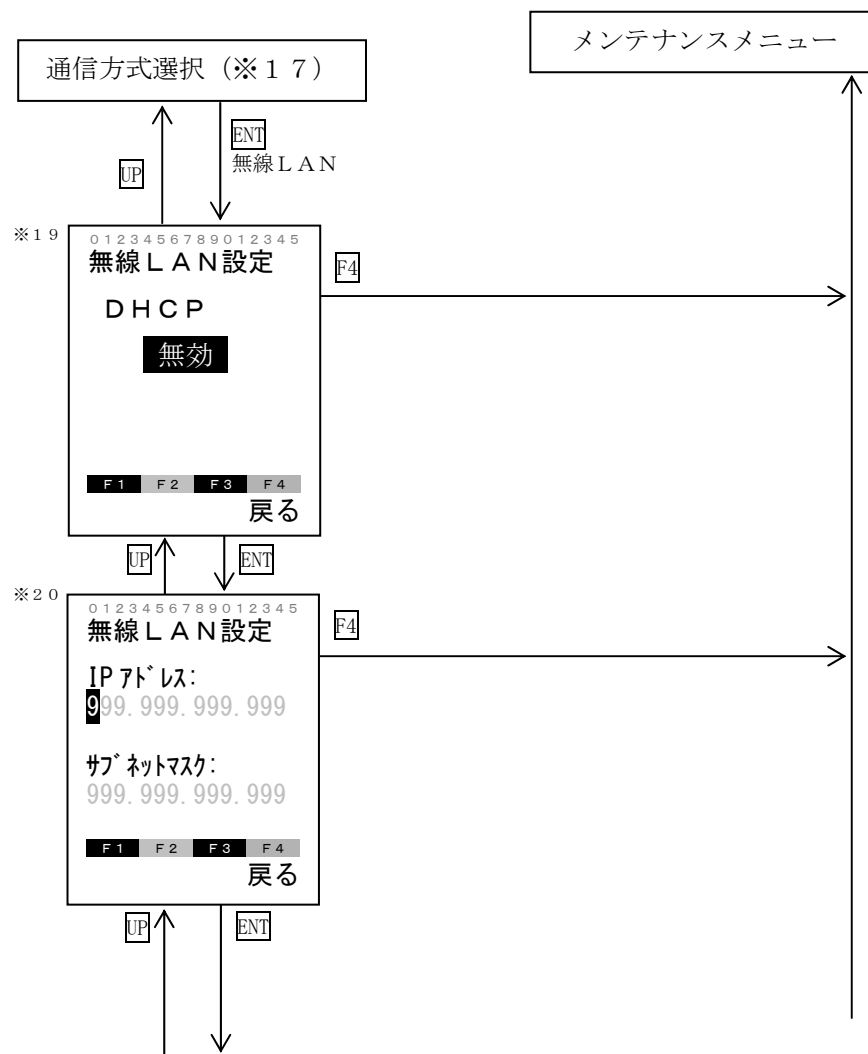
- パソコン側の通信ツールの選択を行います。
本アプリケーションでは、「AlfcomPLUS」と「Alfcom S」の2つの通信ツールに対応しています。
さらに、データ送受信について、より大きいレコード長で送るか、圧縮して受信するかなどの通信時間短縮の仕様も選択可能で、下記の4パターンがあります。
お使いのPC環境や、マスタデータのサイズ等でお選び下さい。

選択肢	仕様	参考時間(USB)
AlfcomPLUS	デフォルトの設定値 AlfcomPLUSによる通信で、データを複数件ずつまとめて送受信します。(レコード長：約1KB)	送信 1分30秒 受信 2分20秒
AlfcomPLUS(複)	AlfcomPLUSによる通信で、データを複数件ずつまとめて送受信します。(レコード長：約4KB) 通信時間短縮。	送信 1分10秒 受信 1分40秒
Alfcom S	Alfcom Sによる通信。データを複数件ずつまとめて受信します。USBによる通信時間短縮。	送信 43秒 受信 41秒
Alfcom S(圧縮)	Alfcom Sによる通信。マスタを圧縮データで受信しますので通信時間がより短縮になります。 但し通信後にハンディ内部でマスタデータを解凍するための時間を別途要します。マスタ受信の時間短縮。	送信 43秒 受信 9秒 (展開 11秒)

上記の「参考時間」に掲載した時間について

- この時間は、試験値であり、動作を保証する値ではありません。
- 実際には、動作環境（PCスペックやPC負荷率）により増減します。
- 時間計測に使用したPC／ハンディ／USBケーブルは、全て同一のものを使用しています。
- 送信の時間は、15,000件のデータ送信に要する通信時間になります。
- 受信の時間は、60,000件のマスタ受信に要する通信時間になります。(ソート時間等は省く)

- デフォルト：前回登録値（初回：AlfcomPLUS）
- 入力方法：**[DW]**キーで選択肢を展開後、**[UP]**/**[DW]**キーより選択して、**[ENT]**キー押下
- チェック：なし
- エラー：なし
- 表示／登録方法：選択項目反転表示
- [ENT]**キー：設定を完了し、メインメニューに移行

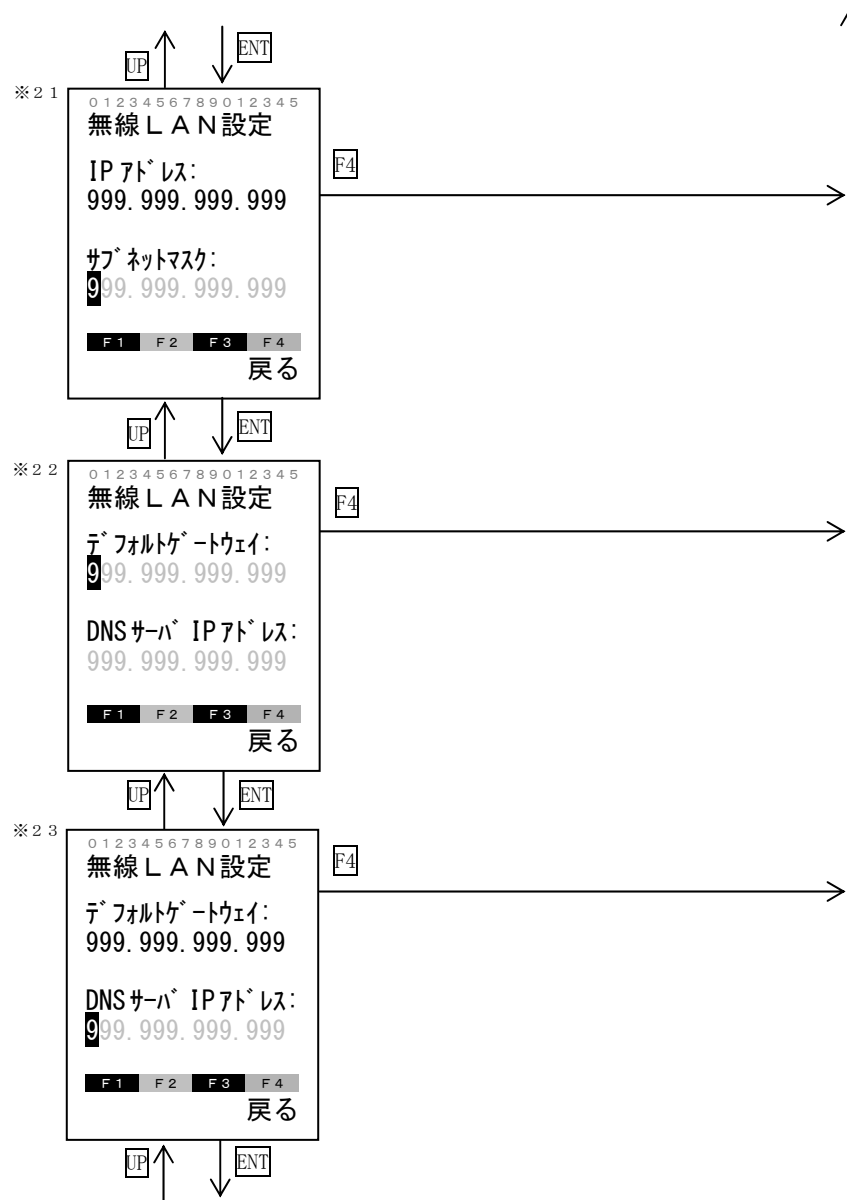


※19 無線LAN DHCP設定

- ・DHCPで接続するかの設定を行います。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：無効）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：なし

※20 無線LAN IPアドレス設定

- ・IPアドレスの設定を行います。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：空白）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
- ・チェック：それぞれ255を超える場合はエラー
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ



※21 無線LAN サブネットマスクIPアドレス設定

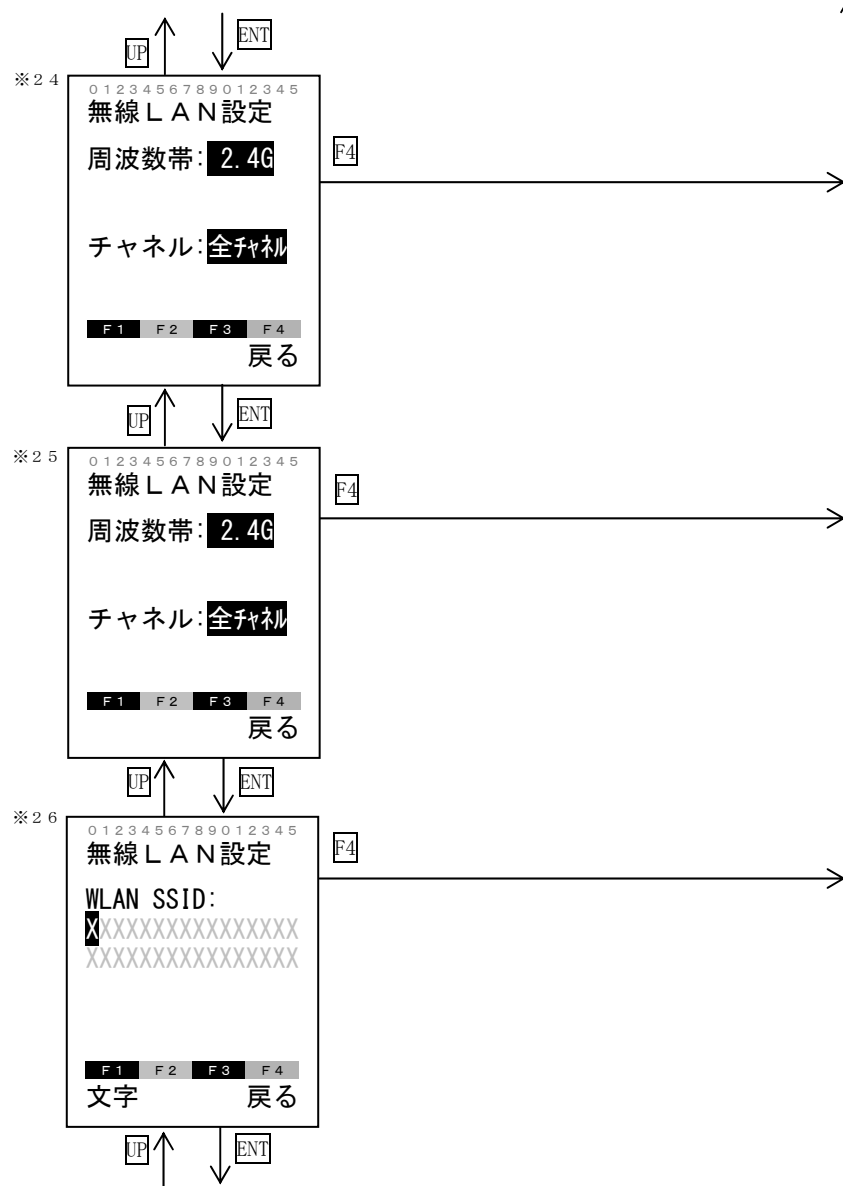
- ・サブネットマスクのIPアドレスの設定を行います。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：空白）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
- ・チェック：それぞれ 255 を超える場合はエラー
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ

※22 無線LAN デフォルトゲートウェイIPアドレス設定

- ・デフォルトゲートウェイのIPアドレスの設定を行います。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：空白）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
- ・チェック：それぞれ 255 を超える場合はエラー
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ

※23 無線LAN DNSサーバIPアドレス設定

- ・DNSサーバのIPアドレスの設定を行います。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：空白）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
- ・チェック：それぞれ 255 を超える場合はエラー
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ



※24 無線LAN 周波数帯設定

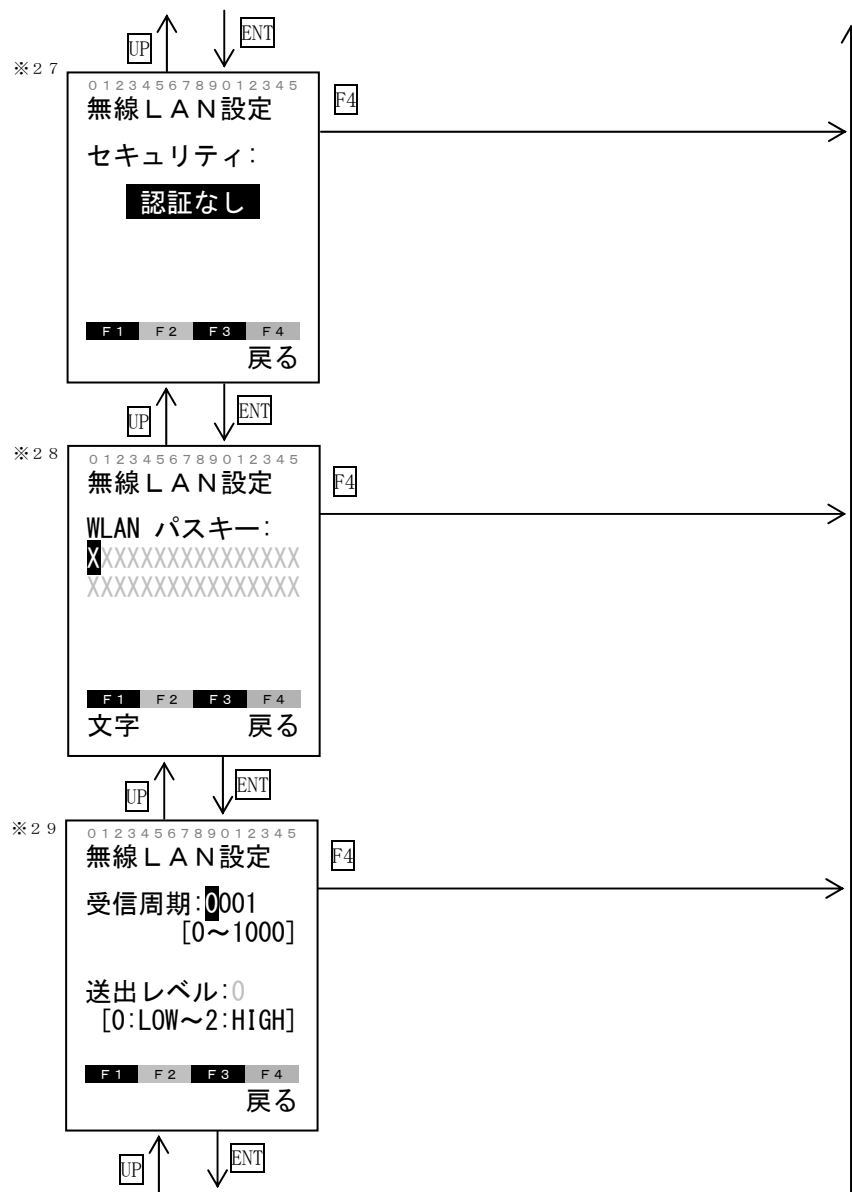
- ・セキュリティの設定を行います。
「2.4G」、「5G」
- ・デフォルト：前回登録値（初回：2.4G）
- ・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示

※25 無線LAN チャンネル設定

- ・セキュリティの設定を行います。
「全チャネル」、「1 CH」～「14 CH」
- ・デフォルト：前回登録値（初回：全チャネル）
- ・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示

※26 無線LAN SSID設定

- ・SSIDの設定を行います。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：空白）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
UP/**DW**キーで、項目内でのカーソル移行が可能
- ・文字入力：英数字
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：なし／なし



※27 無線LAN セキュリティ設定

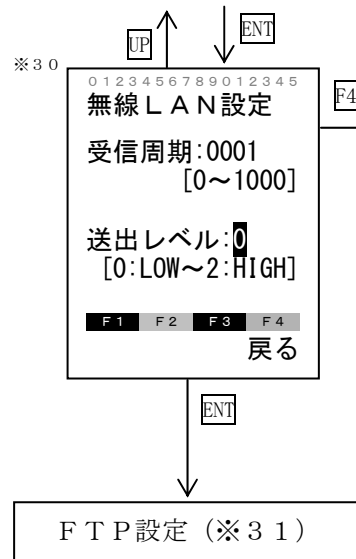
- ・セキュリティの設定を行います。
「認証なし」、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、「WEP OpenSystem」、「WEP Shared Key」
- ・デフォルト：前回登録値（初回：認証なし）
- ・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示

※28 無線LAN パスキー設定

- ・SSIDの設定を行います。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：空白）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
UP/**DW**キーで、項目内でのカーソル移行が可能
- ・文字入力：英数字
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：なし／なし

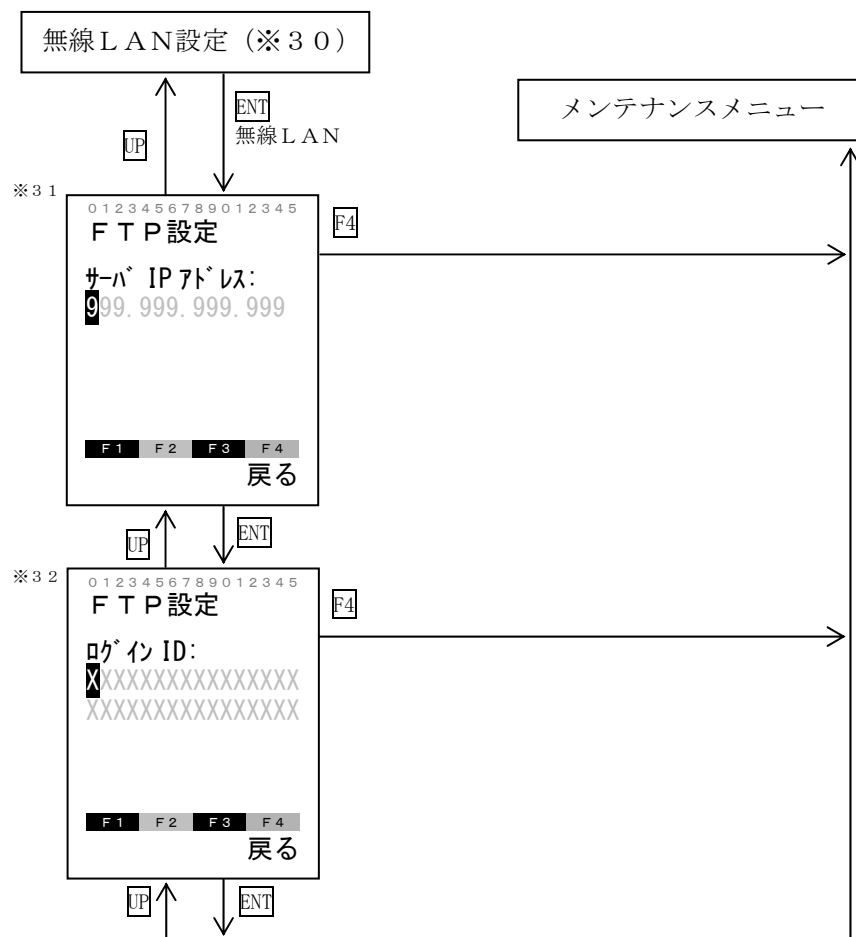
※29 無線LAN 受信周期

- ・受信周期の設定を行います。
iPhone によるテザリングを行なう場合のみ、0 を推奨します。
それ以外の無線ルーターを使用する場合は、1～3 あたりが標準値になります。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：0001）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
- ・チェック：0～1000 以外はエラー ※BIOS Ver1.07 未満の場合、0 では動作しません。
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／数値



※30 無線LAN 送出レベル

- ・送出レベルの設定を行います。
通信環境（電波状況）により繋がりにくい場合は、レベルを上げてください。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：1）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
- ・チェック：0～2 以外はエラー
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：なし／なし

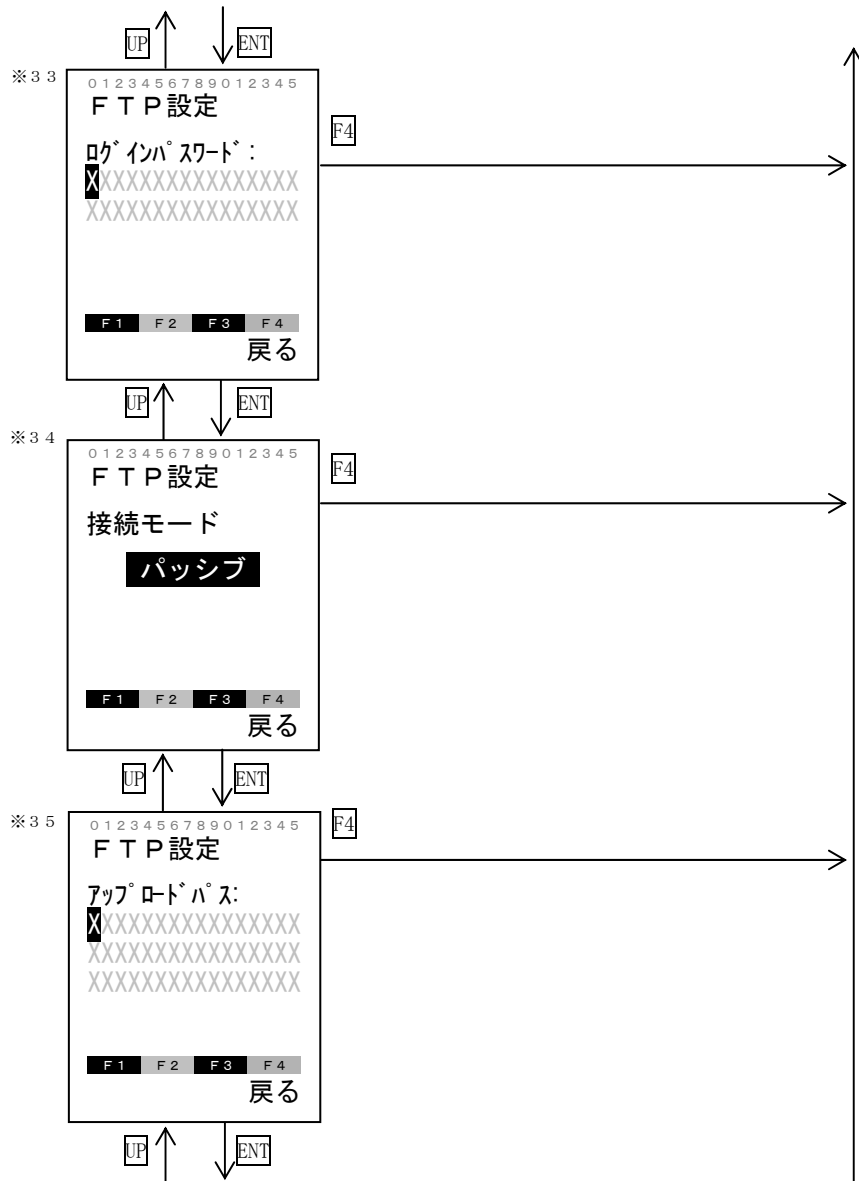


※31 FTPサーバIPアドレス設定

- ・FTPサーバのIPアドレスの設定を行います。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：空白）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
- ・チェック：それぞれ255を超える場合はエラー
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ

※32 FTPサーバログインID設定

- ・FTPサーバのログインIDの設定を行います。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：空白）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
UP/**DW**キーで、項目内でのカーソル移行が可能
- ・文字入力：英数字
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：なし／なし



※33 FTPサーバログインパスワード設定

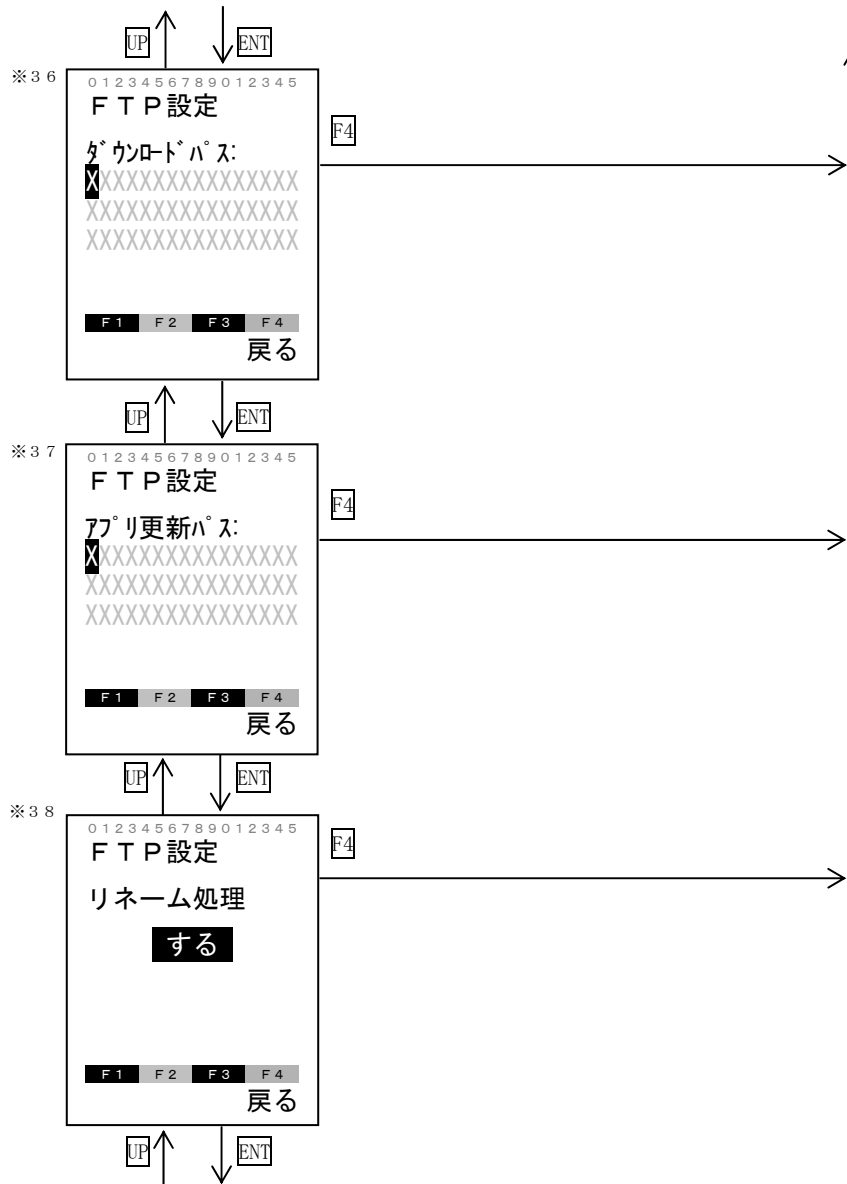
- ・FTPサーバのログインパスワードの設定を行います。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：空白）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
UP/**DW**キーで、項目内でのカーソル移行が可能
- ・文字入力：英数字
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：なし／なし

※34 FTP接続モード設定

- ・FTPサーバとの接続モードの設定を行います。
「アクティブ」、「パッシブ」
- ・デフォルト：前回登録値（初回：アクティブ）
- ・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示

※35 アップロードパス設定

- ・アップロードファイルのパスの設定を行います。（送信ファイル）
- ・ファイル名は、内部で自動生成しますので、ディレクトリまでを設定します。
ファイル名は、送信日付（西暦下2桁）＋送信時刻＋システム設定の店舗コードです。
例：送信日「2010年09月08日」、送信時刻「17時05分30秒」、店舗コード「00001234」の場合
【10090817053000001234.txt】となります。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：空白）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
UP/**DW**キーで、項目内でのカーソル移行が可能
- ・文字入力：英数字
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：なし／なし



※36 ダウンロードパス設定

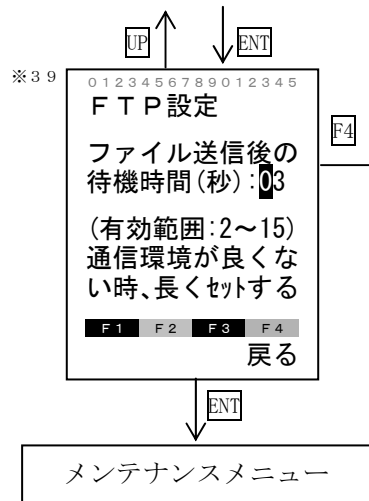
- ・ダウンロードファイルのパスの設定を行います。(マスタファイル)
- ・ファイル名は、内部で自動セットしますので、ディレクトリまでを設定します。
ファイル名は、【Mst.txt】となりますので、サーバ側でもこの名称で設定してください。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：空白）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
UP/**DW**キーで、項目内でのカーソル移行が可能
- ・文字入力：英数字
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：なし／なし

※37 アプリ更新ファイルパス設定

- ・アプリ更新時のファイルパスの設定を行います。(更新用アプリケーションファイル)
- ・ファイル名は、内部で自動セットしますので、ディレクトリまでを設定します。
ファイル名は、【UBSV3Max.mot】となりますので、サーバ側でもこの名称で設定してください。
(typeB の場合のファイル名は、【UBSV3Max_typeB.mot】となります)
- ・デフォルト：前回登録値（初回：空白）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
UP/**DW**キーで、項目内でのカーソル移行が可能
- ・文字入力：英数字
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：なし／なし

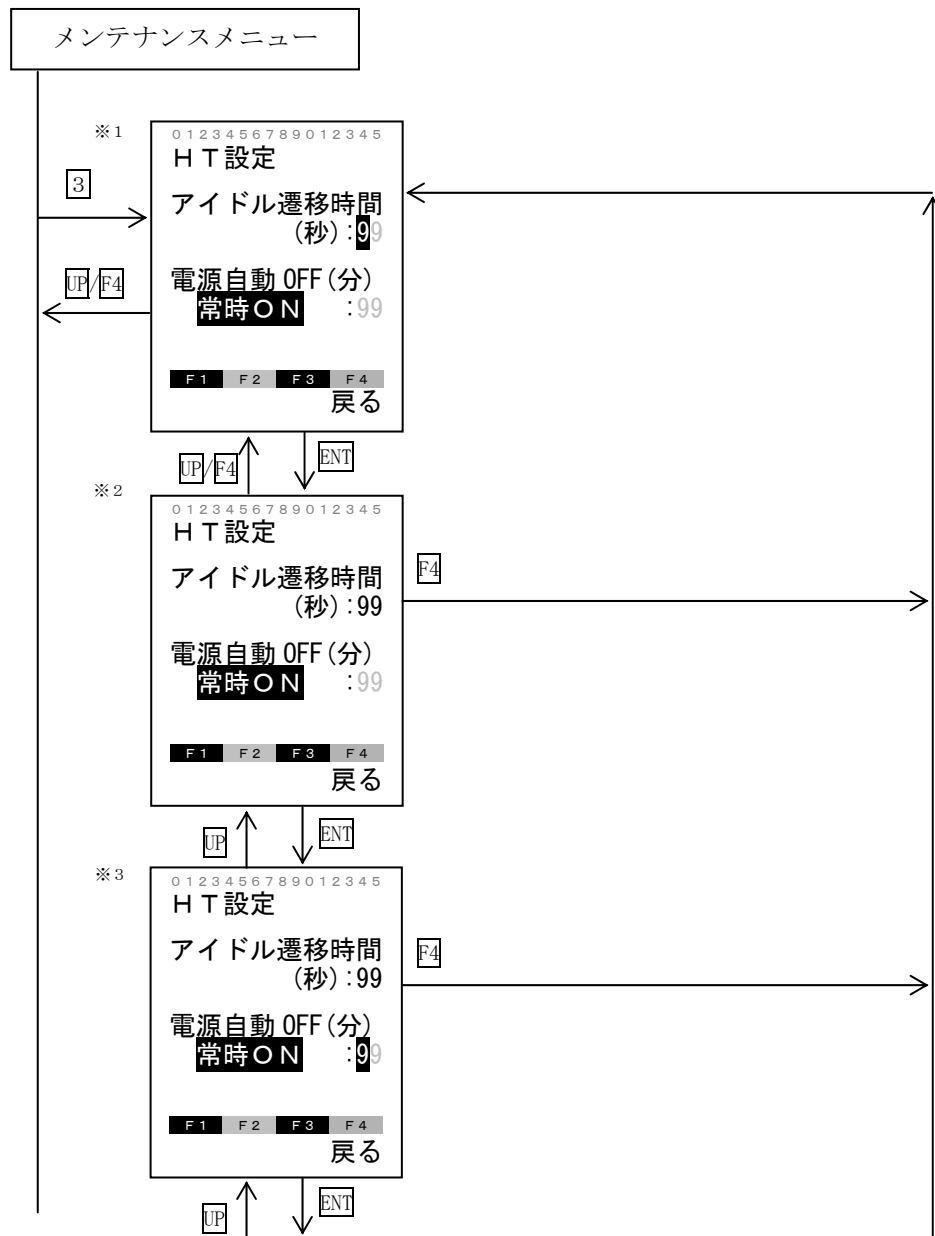
※38 リネーム処理設定

- ・リネーム処理をするかの選択を行います。
「する」、「しない」
- ・デフォルト：前回登録値（初回：する）
- ・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示
- ・**ENT**キー：設定を完了して、メンテナンスメニューに戻る。



※39 ファイル確定待機時間設定

- 登録データ全件送信後、サーバ側でファイルが生成されるまでのハンディ側待機時間の設定を行います。
通信環境（電波状況）により送信処理の最後にエラーになりやすい場合は、本設定時間を長くしてください。
- デフォルト：前回登録値（初回：3）
- 入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
- チェック：2~15 以外はエラー
- エラー：エラー音
- 表示／登録方法：なし／なし
- ENT**キー：設定を完了して、メンテナンスメニューに戻る。



※1 アイドル遷移時間設定

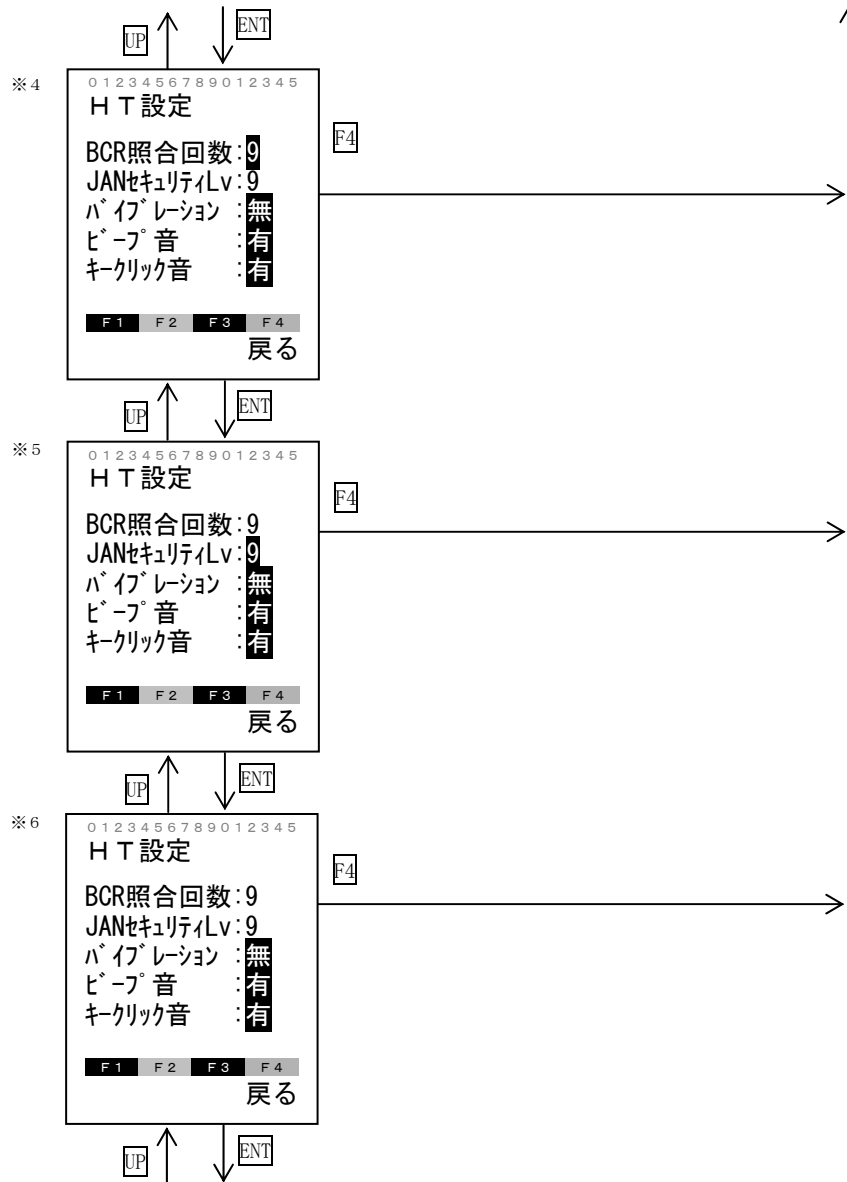
- ・アイドル状態に遷移するまでの時間の設定を行います。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：空白）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
- ・チェック：15～90 秒が有効、それ以外の場合はエラー
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：なし

※2 電源自動 OFF 設定

- ・電源自動 OFF の設定を行います。
- 「時間指定」、「常時 ON」
- ・デフォルト：前回登録値（初回：常時 ON）
- ・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示
- ・**ENT**キー：時間指定を選択した場合、電源自動 OFF 時間設定（※3）に移行
常時 ON を選択した場合は、バーコードリーダー照回数設定（※4）に移行

※3 電源自動 OFF 時間設定

- ・電源自動 OFF までの時間の設定を行います。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：空白）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
- ・チェック：1～10 分が有効、それ以外の場合はエラー
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：前ゼロ／前ゼロ



※4 バーコードリーダ照合回数設定

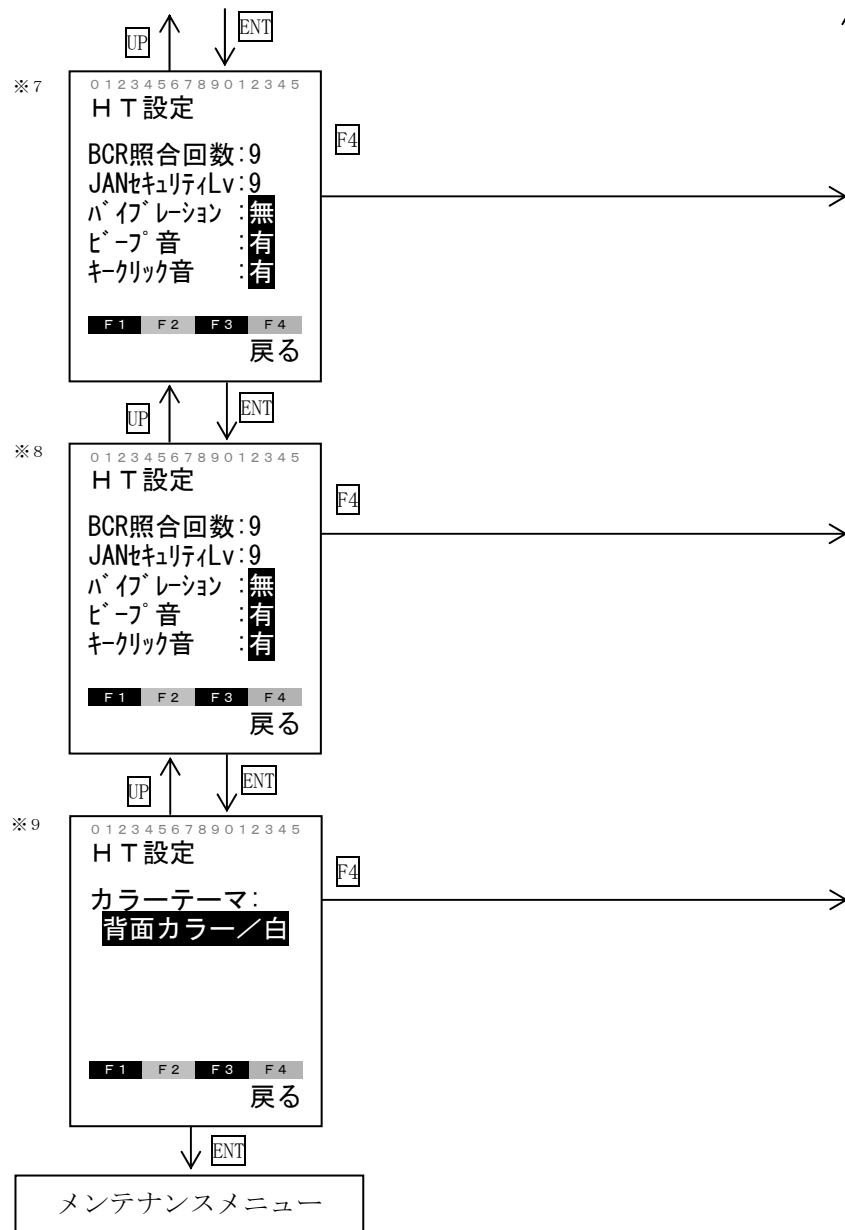
- ・バーコードリーダでの照合回数の設定を行います。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：3）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
- ・チェック：0～3回が有効、それ以外の場合はエラー
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：なし／なし
- ・**UP**/**F4**キー：メンテナンスメニューに戻る。

※5 JANセキュリティレベル設定

- ・JAN、EAN、UPCの読み取りに関するセキュリティレベルの設定を行います。
レベルが低いほど、読み取りは早いですが、低品質なバーコードなどで誤読の可能性が高くなります。
レベルが高いほど、読み取り時間が長くなるが、誤読が低減します。
- ・デフォルト：前回登録値（初回：2）
- ・入力方法：テンキーより入力後、**ENT**キー押下
- ・チェック：0～3が有効、それ以外の場合はエラー
- ・エラー：エラー音
- ・表示／登録方法：なし／なし

※6 バイブレーション設定

- ・バイブレーションの設定を行います。（スキャン時に振動させるかどうかの設定）
「無」、「有」
- ・デフォルト：前回登録値（初回：無）
- ・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示



※7 ビープ音設定

- ・ビープ音の設定を行います。(エラー時にビープを鳴らすかどうかの設定)
「無」、「有」
- ・デフォルト：前回登録値（初回：有）
- ・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示

※8 キークリック音設定

- ・キークリック音の設定を行います。
「無」、「有」
- ・デフォルト：前回登録値（初回：有）
- ・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示
- ・**ENT**キー：設定を完了して、メンテナンスメニューに戻る。

※9 カラーテーマ設定

- ・ディスプレイの配色の設定を行います。
「背面カラー／白」、「背面カラー／青」
- ・デフォルト：前回登録値（初回：背面カラー／白）
- ・入力方法：**DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示
- ・**ENT**キー：設定を完了して、メンテナンスメニューに戻る。

メンテナンスメニュー

※1

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

設定送受信

通信方法: **送信**

接続方法: **USBシリアル**

F1 F2 F3 F4

戻る

※2

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

設定送受信

通信方法: **送信**

接続方法: **USBシリアル**

F1 F2 F3 F4

戻る

※共通項目

未送信データが存在している場合、本機能へは遷移できません。

【AlfcomPLUS の設定について】

「受信ファイル情報」の「FILE5」: ハンディから受け取る設定情報ファイルを指定します。
 「送信ファイル情報」の「FILE5」: ハンディに受信させたい設定情報ファイルを指定します。

設定受信によって反映される内容は、パラメータ設定。システム設定（システム日時は除く）、HT設定になります。

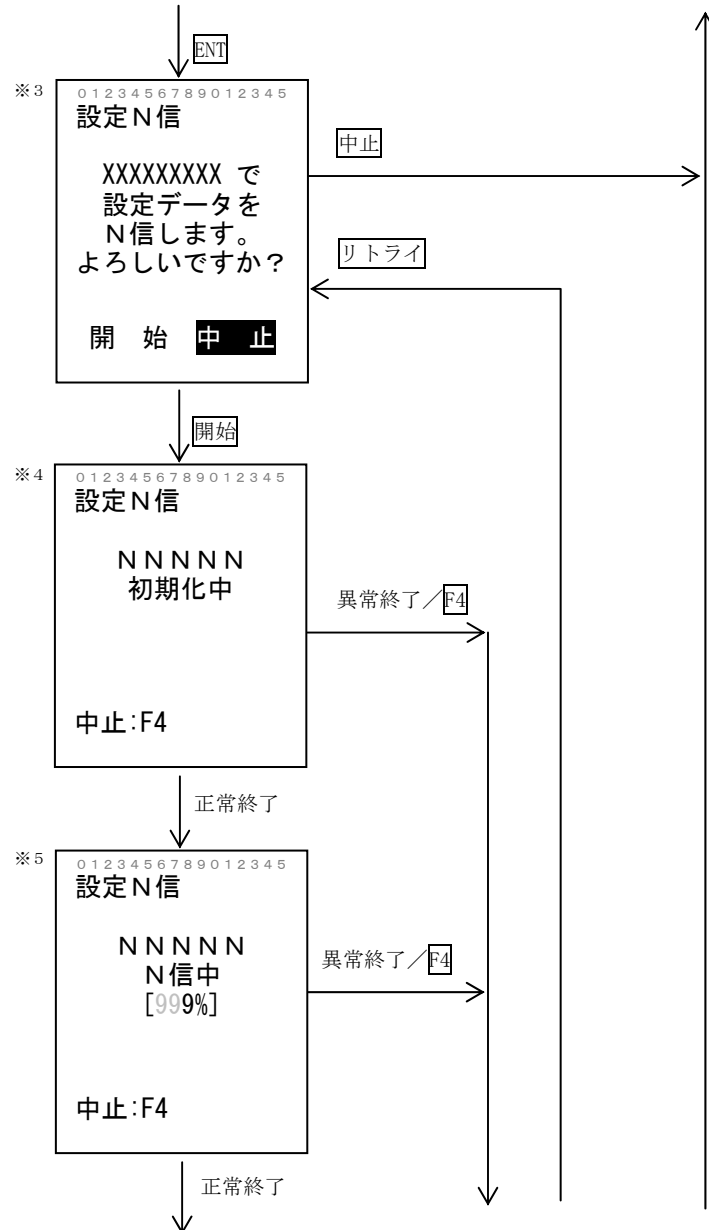
Bluetooth 設定については、反映しません。（機器毎でのペアリングが必要になるため）

※1 通信方法選択

- ・設定内容をPCとやり取りするにあたり、通信方法の設定を行います。
「送信」、「受信」
- ・デフォルト: 送信
- ・入力方法: **DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・チェック: なし
- ・エラー: なし
- ・表示/登録方法: 選択項目反転表示

※2 接続方法選択

- ・接続方法を選択します。
「USBシリアル」、「Bluetooth」
- ・デフォルト: インライン
- ・入力方法: **DW**キーで選択肢を展開後、**UP**/**DW**キーより選択して、**ENT**キー押下
- ・チェック: なし
- ・エラー: なし
- ・表示/登録方法: 選択項目反転表示



※共通項目

- ・「N信」の部分に、状態に応じ「送信」または「受信」の表示を行います。

※3 設定送受信確認

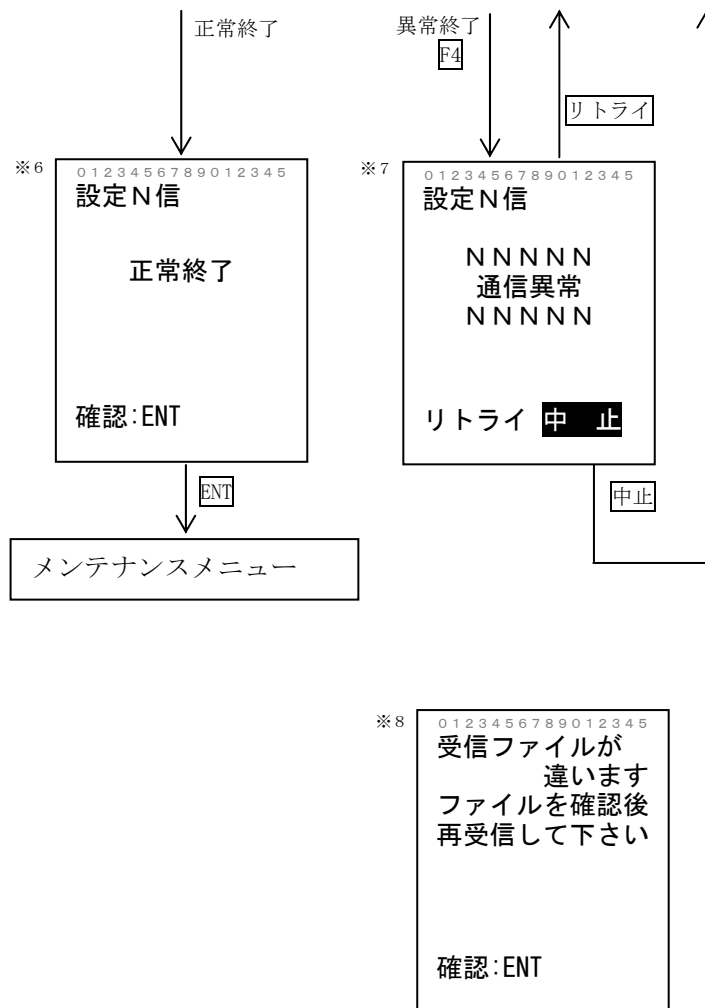
- ・設定送受信処理を開始するかを確認を行います。
「開始」、「中止」
- ・デフォルト：中止
- ・2行目 XXXXXXXX には、接続方法の「USBシリアル」または「Bluetooth」を表示します。
(左詰、後の文章も詰めます)
- ・3行目Nには、通信方法の「送」または「受」を表示します。
- ・入力方法：UP/DWキーより選択後、ENTキー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示
- ・ENTキー：開始の場合、通信処理を開始し、初期化中(※4)に移行
中止の場合、処理を中止し、通信方法選択(※1)に戻る

※4 初期化中

- ・通信の準備(ポートオープン及び、設定送受信を要求)をしています。
- ・「NNNNN」の部分に状態に応じ「IrDA」または「インライン」の表示を行います。
- ・処理後：正常終了した場合、設定通信中(※5)に移行
異常があった場合、通信異常終了(※7)に移行
- ・F4キー：処理を中断し、通信異常終了(※7)に移行

※5 設定通信中

- ・設定ファイルの通信処理中は、この画面を表示します。
- ・2行目には、「IrDA」または「インライン」を表示します。(センタリング)
- ・4行目[ZZ9%]には、通信済みデータの進捗状況を表示します。
- ・処理後：正常終了した場合、通信正常終了(※6)に移行
異常があった場合、通信異常終了(※7)に移行
受信の場合で、受信ファイルに異常があった場合、ファイル異常(※8)に移行
- ・F4キー：処理を中断し、通信異常終了(※7)に移行



※共通項目

- ・「N信」の部分に、状態に応じ「送信」または「受信」の表示を行います。

※6 通信正常終了

- ・送信または、受信処理が正常終了した場合この画面を表示し、確認します。
- ・入力方法：ENTキー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：なし
- ・ENTキー：処理を終了し、メンテナンスメニューに戻る

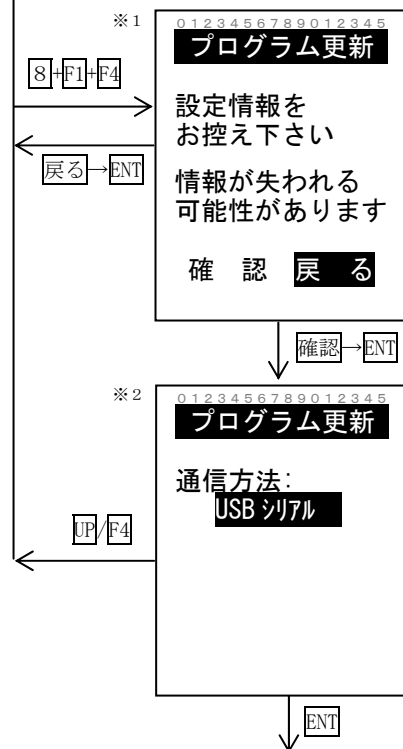
※7 通信異常終了

- ・通信中に異常が発生した場合及び、処理中に中止した場合にこの画面を表示し、確認します。
- ・「NNNNN」の部分にエラー内容を表示します。エラーメッセージを確認して下さい。
- ・入力方法：UP/DWキーより選択後、ENTキー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示
- ・ENTキー：リトライの場合、再度通信処理を行うため、設定送受信確認（※4）に移行
中止の場合、処理を中止し、通信方法選択（※1）に戻る

※8 ファイル異常

- ・ファイル受信後、本アプリに対応している設定ファイルかを判断して、間違っている場合にこの画面を表示します。
- ・PC側（もしくはサーバー側）でハンディへ送信したファイルが正しいかを確認してください。

メンテナンスメニュー



※共通項目

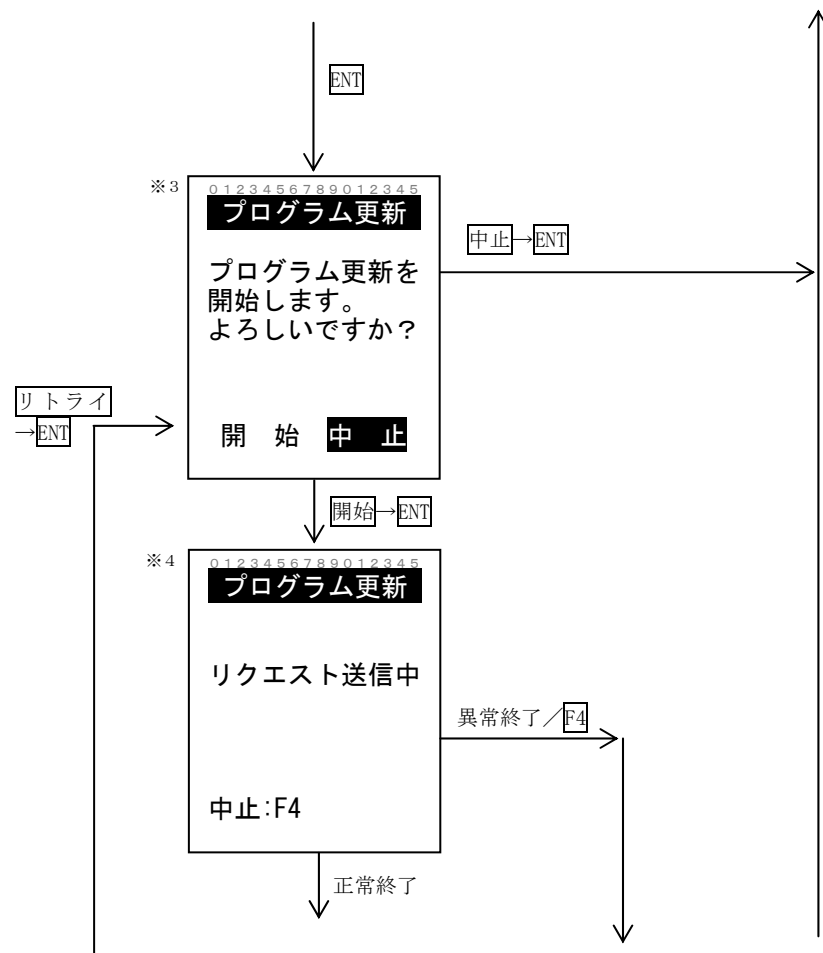
未送信データが存在している場合、本機能へは遷移できません。

※1 設定確認警告

- ・アプリアップデートにより設定がクリアされる可能性があるため、確認画面を表示します。
- ・デフォルト：戻る
- ・入力方法：[UP]/[DW]キーより選択後、[ENT]キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示

※2 通信方法選択

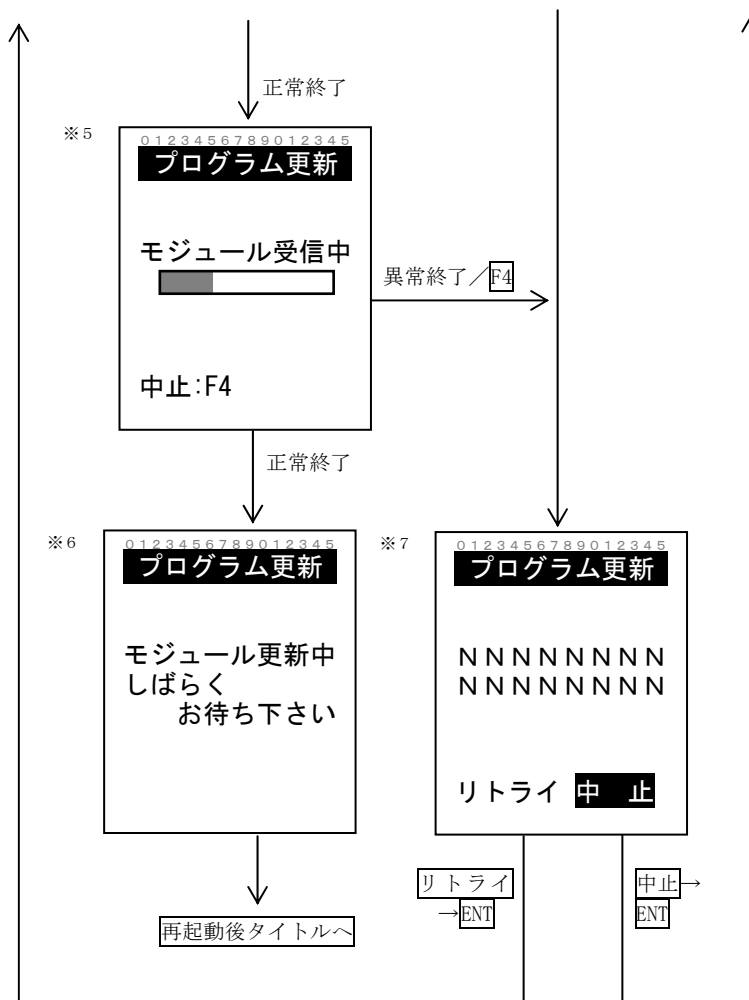
- ・通信方法を選択します。
「USB シリアル」、「Bluetooth」、「無線 LAN」
- ・デフォルト：オンライン
- ・入力方法：[DW]キーで選択肢を展開後、[UP]/[DW]キーより選択して、[ENT]キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示

**※3 プログラム更新確認**

- ・プログラム更新処理を開始するかの確認を行います。
「開始」、「中止」
- ・デフォルト：中止
- ・入力方法：UP/DWキーより選択後、ENTキー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示
- ・ENTキー：開始の場合、通信処理を開始し、リクエスト送信中（※4）に移行
中止の場合、処理を中止し、通信方法選択（※2）に戻る

※4 リクエスト送信中

- ・通信の準備（ポートオープン及び、プログラム更新を要求）をしています。
- ・処理後：正常終了した場合、モジュール受信（※5）に移行
異常があった場合、異常終了（※7）に移行
- ・F4キー：処理を中断し、異常終了（※7）に移行



※5 モジュール受信中

- ・プログラムファイルの受信処理中は、この画面を表示します。
- ・6行目[ZZ9%]には、受信済みデータの進捗状況を表示します。
- ・処理後：正常終了した場合、モジュール更新中（※6）に移行
異常があった場合、異常終了（※7）に移行
- ・**F4**キー：処理を中断し、異常終了（※7）に移行

※6 モジュール更新中

- ・受信したプログラムファイルにてハンディ内を書き換え中の間は、この画面を表示します。
- ・途中で中断する事は出来ません。
- ・プログラム更新後：自動で再起動し、タイトル表示を行います。（再起動完了までに5秒ほどかかります）

※7 異常終了（モジュール受信中）

- ・通信中に異常が発生した場合及び、処理中に中止した場合にこの画面を表示し、確認します。
- ・3行目と4行目にエラー内容を表示します。エラーメッセージを確認して下さい。
- ・入力方法：**UP**/**DW**キーより選択後、**ENT**キー押下
- ・チェック：なし
- ・エラー：なし
- ・表示／登録方法：選択項目反転表示
- ・**ENT**キー：リトライの場合、再度通信処理を行うため、プログラム更新確認（※3）に移行
中止の場合、処理を中止し、通信方法選択（※2）に戻る

<各帳票共通>

印字可能な最大桁数

数量	6桁
金額	8桁（カンマ付10桁）
計	12桁（カンマ付15桁）
合計数	9桁
合計金額	12桁（カンマ付15桁）
総合計数	9桁
総合計金額	12桁（カンマ付15桁）

となります。

この桁数を越えるデータは、「*」を印字します。

金額の計算値が12桁（カンマ付15桁）を越えた場合には、総合計を計算することはできません。
「*」を印字します。

金額の計算結果（売価×数量）について、
1円未満の端数は切り捨てる。

※ただし、マイナス値で小数ありの場合は
以下ようになります。

（例） 端数処理前金額：-2,956.8
端数処理後金額：-2,956

データは、サブヘッダに印刷される項目と品番の順で昇順にソートされて印刷されます。

売上／返品明細

01234567890123456789012345678901

店舗:99999999

YY/MM/DD

<売上明細><プロパー>

担当:999999 顧:99999999999999

品番	数:	金額
1012345678901	1	12,345,678
1012345678901	1	12,345,678

計	2	24,691,356
---	---	------------

担当:999999 顧:99999999999999

品番	数:	金額
1012345678901	1	12,345,678
1012345678901	1	12,345,678

計	2	24,691,356
---	---	------------

P 計	4	49,382,712
-----	---	------------

<売上明細><セール>

担当:999999 顧:99999999999999

品番	数:	金額
1012345678901	1	12,345,678
1012345678901	1	12,345,678

計	2	24,691,356
---	---	------------

担当:999999 顧:99999999999999

品番	数:	金額
1012345678901	1	12,345,678
1012345678901	1	12,345,678

計	2	24,691,356
---	---	------------

S 計	4	49,382,712
-----	---	------------

売上計	8	98,765,424
-----	---	------------

ヘッダ

サブヘッダ:

同一の情報を持つデータごとにまとめて印刷されます。

続き

01234567890123456789012345678901

<返品明細><プロパー>

担当:999999 顧:99999999999999

品番	数:	金額
1012345678901	1	12,345,678
1012345678901	1	12,345,678

計	2	24,691,356
---	---	------------

P 計	2	24,691,356
-----	---	------------

<返品明細><セール>

担当:999999 顧:99999999999999

品番	数:	金額
1012345678901	1	12,345,678
1012345678901	1	12,345,678

計	2	24,691,356
---	---	------------

S 計	2	24,691,356
-----	---	------------

返品計	4	49,382,712
-----	---	------------

総合計	4	49,382,712
-----	---	------------

※「売上、返品、店舗コード、担当コード、顧客コード、数量」のタイトルは、P C 側で指定したタイトルが印字されます。

店舗:印刷条件に指定した店舗「店舗コード」

YY/MM/DD:印刷条件に指定した日付「売上日」「返品日」

担当:「担当者コード」

顧:「顧客コード」

品番:「商品コード(上段)」

数:「数量」

金額:「売価×数量」

計:同一ヘッダ情報毎の合計

左から「数量の和」、「売価×数量」の和

P 計:業務別プロパーデータの合計

左から「数量の和」、「金額の和」

S 計:業務別セールデータの合計

左から「数量の和」、「金額の和」

売上計:左から売上明細の「数量の和」、「金額の和」

返品計:左から返品明細の「数量の和」、「金額の和」

総合計:左から「売上数量合計と返品数量合計の差」
「売上金額合計と返品金額合計の差」

注意

パラメータ設定で”非表示”に設定した項目は、印字しません。

対応項目

- ・担当者コード
- ・顧客コード
- ・販売区分(プロパー／セール)

隣へ続く

入庫 or 出庫 or 仕返明細

01234567890123456789012345678901
店舗:99999999 YY/MM/DD

<NN明細>

伝:99999999

担当:999999

相手:99999999

品番	数:	金額
1012345678901	1	12,345,678
1012345678901	1	12,345,678
1012345678901	1	12,345,678

計	3	37,037,034
---	---	------------

伝:99999999

担当:999999

相手:99999999

品番	数:	金額
1012345678901	1	12,345,678
1012345678901	1	12,345,678
1012345678901	1	12,345,678

計	3	37,037,034
---	---	------------

合計	6	74,074,068
----	---	------------

ヘッダ

サブヘッダ:

同一の情報を持つデータごと
にまとめて印刷されます。※「店舗コード、伝票 No、
担当コード、相手先コード、
数量」のタイトルは、
P C 側で指定したタイトルが
印字されます。店舗:「店舗コード」
YY/MM/DD: 入庫業務「入庫日」
出庫業務「出庫日」
仕返業務「仕返日」伝:「伝票 No」
担当:「担当者コード」
相手:「相手先コード」
品番:「商品コード (上段)」
数:「数量」
金額:「売価×数量」
計: 左から「数量の和」、
「売価×数量 の和」

合計: 左から「数量の和」、「金額の和」

注意

パラメータ設定で”非表示”に設定した項目は、印字しません。

対応項目

- ・担当者コード
- ・相手先コード
- ・伝票 No

棚卸明細

01234567890123456789012345678901
店舗:99999999

<棚卸明細>

棚:99999999

品番	数:	金額
1012345678901	1	12,345,678
1012345678901	1	12,345,678
1012345678901	1	12,345,678

計	3	37,037,034
---	---	------------

棚:99999999

品番	数:	金額
1012345678901	1	12,345,678
1012345678901	1	12,345,678
1012345678901	1	12,345,678

計	3	37,037,034
---	---	------------

合計	6	74,074,068
----	---	------------

ヘッダ

サブヘッダ:

同一の情報を持つデータごと
にまとめて印刷されます。※「店舗コード、棚番、数量」の
タイトルは、P C 側で指定した
タイトルが印字されます。

店舗:「店舗コード」

棚:「棚番」

品番:「商品コード (上段)」

数:「数量」

金額:「売価×数量」

計: 左から「数量の和」、
「売価×数量 の和」

合計: 左から「数量の和」、「金額の和」

注意

パラメータ設定で”非表示”に設定した項目は、印字しません。

対応項目

- ・棚番

仕入明細

01234567890123456789012345678901		
店舗:99999999	YY/MM/DD	
<仕入明細>		
伝:99999999	発:99999999	
担当:999999	相手:99999999	
品番	数:	金額
1012345678901	1	12,345,678
1012345678901	1	12,345,678
1012345678901	1	12,345,678

計	3	37,037,034
伝:99999999	発:99999999	
担当:999999	相手:99999999	
品番	数:	金額
1012345678901	1	12,345,678
1012345678901	1	12,345,678
1012345678901	1	12,345,678

計	3	37,037,034

合計	6	74,074,068

ヘッダ

サブヘッダ:

同一の情報を持つデータごとにまとめて印刷されます。

※「店舗コード、伝票 No、発注 No、担当コード、相手先コード、数量」のタイトルは、P C 側で指定したタイトルが印字されます。

店舗:「店舗コード」

YY/MM/DD:「仕入日」

伝:「伝票 No」

発:「発注 No」

担当:「担当者コード」

相手:「相手先コード」

品番:「商品コード (上段)」

数:「数量」

金額:「売価×数量」

計:左から「数量の和」、
「売価×数量 の和」

合計:左から「数量の和」、「金額の和」

注意

パラメータ設定で”非表示”に設定した項目は、印字しません。

対応項目

- ・担当者コード
- ・相手先コード
- ・伝票 No
- ・発注 No

発注明細

01234567890123456789012345678901		
店舗: 99999999	YY/MM/DD	
<発注明細>		
伝: 99999999	担当: 999999	
相手: 99999999	納品日: YY/MM/DD	
品番	数:	金額
1012345678901	1	12, 345, 678
1012345678901	1	12, 345, 678
1012345678901	1	12, 345, 678
<hr/>		
計	3	37, 037, 034
<発注明細>		
伝: 99999999	担当: 999999	
相手: 99999999	納品日: YY/MM/DD	
品番	数:	金額
1012345678901	1	12, 345, 678
1012345678901	1	12, 345, 678
1012345678901	1	12, 345, 678
<hr/>		
計	3	37, 037, 034
<hr/>		
合計	6	74, 074, 068

ヘッダ

サブヘッダ:

同一の情報を持つデータごとにまとめて印刷されます。

※「店舗コード、伝票 No、納品日、担当コード、相手先コード、数量」のタイトルは、P C 側で指定したタイトルが印字されます。

店舗:「店舗コード」

YY/MM/DD:「発注日」

伝:「伝票 No」

担当:「担当者コード」

相手:「相手先コード」

納品日:「納品日」

品番:「商品コード (上段)」

数:「数量」

金額:「売価×数量」

計:左から「数量の和」、
「売価×数量 の和」

合計:左から「数量の和」、「金額の和」

注意

パラメータ設定で”非表示”に設定した項目は、印字しません。

対応項目

- ・担当者コード
- ・相手先コード
- ・伝票 No
- ・納品日

1 / 1

7-1. 通信レイアウト（送信データレイアウト）

基本レイアウト	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	1	カン	マ	3	バイト	カン	マ	5	バイト	カン	マ	8	バイト	カン	マ	8	バイト	カン	マ	6	バイト	カン	マ	1	3	バイト	カン	マ	1	3	バイト	カン	マ	1	3	バイト	カン	マ	6	バイト	カン	マ	9	バイト	カン	マ	8	バイト	カン	マ	8	バイト	カン	マ	5	バイト	カン	マ	6	バイト	CL	RF																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
売上業務	1	HT-ID	シリアルNo	売上日	自店舗コード	担当者コード	販売区分	顧客No	商品コード（上段）	商品コード（下段）	数量	売価	オール0編集	オール0編集	データ件数	スペース	CL	RF																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

8. RAMディスクレイアウト

1. Max ARK7000X (13MB)

項番	ファイル名	サイズ(byte)	件数(件)	合計(byte)	備考
1	コントロール	3,072	1	3,072	
2	売上データ	88	5,000	440,000	
3	返品データ	88	3,000	264,000	
4	入庫データ	88	3,000	264,000	
5	出庫データ	88	3,000	264,000	
6	仕入データ	96	3,000	288,000	
7	仕入返品データ	88	3,000	264,000	
8	棚卸データ	92	10,000	920,000	
9	発注データ	96	3,000	288,000	
10	勤怠データ	55	1,000	55,000	
11	ソート領域	4	10,000	40,000	
12	マスタデータ	56	60,000	3,360,000	
			総合計(byte)	6,450,072	
			Max ARK-7000Xデータサイズ(byte)	13,631,488	

2. Max ARK7000X TEMP領域(10MB)

項番	ファイル名	サイズ(byte)	件数(件)	合計(byte)	備考
1	ソートファイル	4	120,000	480,000	
2	受信時のマスタデータ	56	60,000	3,360,000	
3	既存のマスタデータ	56	60,000	3,360,000	
		総合計(byte)		7,200,000	
		Max ARK-7000Xデータサイズ(byte)		10,485,756	

9-1. 印刷エラーコード一覧（DPU-S245）

印刷時のエラーについては、以下のコードで表します。

【DPU-S245 / Bluetooth】

コード	エラー内容	原因	対処方法
0	正常終了		
-1	強制終了	F4キーを押して強制終了を行った	再度印刷してください
-2	送信に失敗した	何らかの障害が発生した	動作環境を確認後、再度印刷してください
-3	送信データ長オーバー	受信バッファサイズをオーバーした	プリンタの設定を確認後、再度印刷してください
-4	受信に失敗した	何らかの障害が発生した	動作環境を確認後、再度印刷してください
-5	受信タイムアウト	プリンタ側にて障害が発生した	動作環境を確認後、再度印刷してください
-6	オープンエラー	オープン時のエラー	動作環境を確認後、再度印刷してください
-7	関数エラー	何らかの障害が発生した	動作環境を確認後、再度印刷してください
-23	紙なし	プリンタ内のロール紙がない	新しいロール紙をセットした後、再度印刷してください
-24	カバーエラー	プリンタのカバーが完全に閉まっていない	カバーを閉めた後、再度印刷してください
-25	電圧エラー	プリンタの電圧が低い	バッテリーを充電した後、再度印刷してください
-26	温度エラー	プリンタの温度が高い	しばらく待ってから、再度印刷してください
-27	機能設定エラー	プリンタの設定がおかしい	プリンタの設定を確認後、再度印刷してください
-28	低電圧エラー	プリンタの電圧が低い	バッテリーを充電した後、再度印刷してください

上記の「対処方法」で 動作環境を確認 とある箇所は、以下の内容を確認して下さい。

(1) 一度も動かない場合

- ・ハンディのシステム設定において、正しいプリンタ機種が設定されてるか
- ・プリンタ本体の設定が正しく出来ているか(赤外線orBluetoothの接続方法や通信速度等)

(2) Bluetooth インタフェースについて

- ・プリンタ本体の設定(機能設定)にて、「Bluetooth Link Key選択」という部分を

A-1. 通信エラーコード一覧（ALF手順／AlfcomPLUS）

通信時のエラーについては、以下のコードで表します。

No	エラー表示内容	原因	対処方法
-1	強制終了	F4キーを押して強制終了を行った	再度送信してください
-2	タイムアウト	規定時間以内にデータの送受信が出来なかった	動作環境、通信設定を確認後、再度送信してください
-3	通信エラー	回線上のノイズ等何らかの障害が発生した	通信設定を確認後、再度送信してください
-4	モデムエラー（※）	NO CARRIER（回線切断）を検出した	しばらく待った後、再度送信してください
-5	BCCエラー	BCCチェックでエラーが発生した	AlfcomPLUSの設定を確認後、再度送信してください
-6	プログラムエラー	関数の使い方が違う	管理者へ連絡してください
-7	レスポンス受信エラー	ATコマンドの使い方が違う	管理者へ連絡してください
-8	ダイヤルトーン未検出（※）	回線が繋がっていない	電話線が抜けていないか確認し、再度送信してください
-9	回線ビジー（※）	電話回線が混雑している	しばらく待った後、再度送信してください
-10	回線エラー（※）	プロトコルのエラーが発生した	動作環境、通信設定を確認後、再度送信してください
-13	連番エラー	プロトコルのエラーが発生した	再度送信してください
-33	接続エラー（Bluetoothのみ）	接続失敗	しばらく待った後、再度送信してください
その他	エラー[99]	その他のエラーが発生した	エラー番号を控えた上で、管理者へ連絡してください

※印のエラーは、モデム使用時に発生するエラーのため、Maxでは発生しません。

上記の対処方法で「動作環境を確認」とある箇所は以下の内容を確認して下さい。

1. USBケーブルにて送信する場合
 - ・ケーブルは正しくハンディとPCに接続されているか
 - ・PC側にドライバがインストールされているか
2. Bluetoothにて送信する場合
 - ・PC側とのペアリングは正しく行われているか
 - ・AlfcomPLUS側の設定で正しいポート番号を指定しているか
3. 一度も動かない場合
 - ・ハンディの「メンテナンス—システム設定—通信方法」に正しい接続手段が設定されてるか（USBシリアル／Bluetooth、AlfcomPLUS など）

上記の対処を行っても改善されない場合は、管理者に連絡をして下さい。



ワイヤレススキャナ操作マニュアル

第 1.00 版 2013 年 3 月 25 日

株式会社アルフ

はじめに

本ドキュメントは、ワイヤレススキャナ機能の操作について記述した説明書です。

■機種

Max (ALFARK-7000X)

変更履歴

版数	区分	変更箇所	変更内容	更新日	備考
1.00 版	—	—	新規作成	13/03/25	BIOSv1.02 以降

【区分 A : 追加 / C : 更新 / D : 削除】


目次

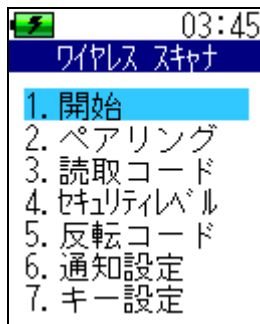
ワイヤレススキャナ操作マニュアル	i
はじめに	ii
変更履歴	iii
目次	iv
1. 起動方法	1
1.1. ワイヤレススキャナの起動方法	1
2. 操作方法	2
2.1. 開始	2
2.2. ペアリング	3
2.3. 読取コード設定	4
2.3.1. UPC/EAN設定	4
2.3.2. Code39 設定	5
2.3.3. ITF (Interleaved 2 of 5) 設定	6
2.3.4. NW7 設定	7
2.3.5. Code128 (GS1-128) 設定	8
2.3.6. GS1Databar設定	9
2.4. セキュリティレベル	10
2.5. 反転コード	10
2.6. 通知設定	11
2.7. キー設定	11
3. 注意事項	12

1. 起動方法

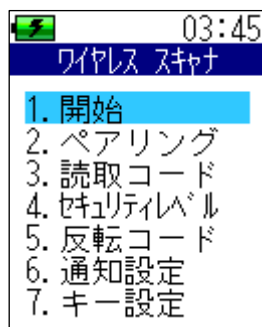
Max (ALFARK-7000X) は、ワイヤレススキャナ機能を内蔵しています。
電源オン時に決められた操作を行なうことで起動することができます。

1.1. ワイヤレススキャナの起動方法

スキャンキー(○)を押しながらを押して電源を投入します。



2. 操作方法



上下キー (▲, ▼) にてメニューを選択します。

1～7 または ENT にて各機能に遷移します。

2.1. 開始



スキャンキー、左右のサイドトリガキーによりスキャンを開始します。

0～9 は、テンキーとして動作します。

C は、BackSpace キーとして動作します。

ENT は、Enter キーとして動作します。

./、または、F1～F4 はキー設定にて設定したキーとして動作します。

▲, ▼ は、上下カーソルキーとして動作します。

F4 を長押しすることで、終了確認メッセージを表示します。

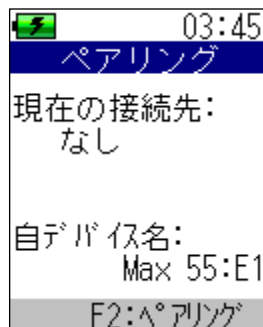
上の枠内に読み取ったコードまたはキー入力した内容を表示します。

下の枠内に 1 つ前の内容を表示します。

開始するとペアリングメニューにてペアリングしたデバイスと接続し、ワイヤレススキャナとして使用できます。

必ずペアリングメニューで接続先デバイスを設定する必要があります。ペアリングデバイスが設定されていない場合は、使用できません。

2.2. ペアリング

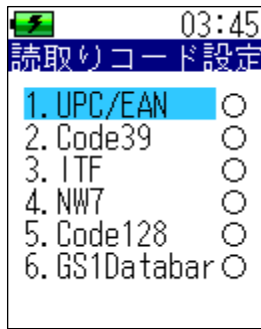


現在の接続先デバイスアドレスが表示されます。
何も設定していない場合は、「なし」と表示されます

F2にてペアリングを開始します。接続先デバイスから自デバイス名に表示されているデバイスを検索し、ペアリングを行ってください。

ペアリングを開始すると 60 秒間接続待機状態となります。

2.3. 読取コード設定



上下キー(▲, ▼)にてメニューを選択します。

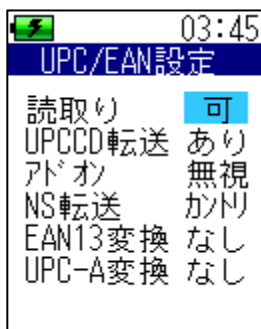
1~6またはENTにて各設定に遷移します。

○：読取可

×：読取不可

※各設定にて読取許可した状態を表示します。

2.3.1. UPC/EAN設定



上下キー(▲, ▼)にて項目を切り替えます。

ENTにて確定し、次の項目に遷移します。

最後の項目を確定すると設定を更新します。

F1にて1つ前の項目に戻ります。

F4にて変更をキャンセルします。

読取り：読取を許可する／禁止する

UPCCD 転送：UPC コードのチェックデジット転送あり／なし

アドオン：アドオンを無視する／付のみ読取り／自動判別／EAN13 のみ自動判別

NS 転送 (ナンバーシステムキャラクタの転送)

：カントリー+システム／システム／なし

EAN13 変換：EAN8 を EAN13 に変換する／しない

UPC-A 変換：UPC-E/UPC-E1 を UPC-A に変換する／しない

2.3.2. Code39 設定

上下キー(▲, ▼)にて項目を切り替えます。

ENTにて確定し、次の項目に遷移します。

最後の項目を確定すると設定を更新します。

F1にて1つ前の項目に戻ります。

F4にて変更をキャンセルします。

桁数指定時、0～9にて数字入力、Cにて0クリアします。

読取り : 読取を許可する／禁止する

桁指定 : 0～55 までの桁数を入力します。

桁指定 1 = 0 の時、制限なし (桁指定 2 は入力不要)

桁指定 2 = 0 の時、桁指定 1 の桁数のみ読取り許可

桁指定 1 > 桁指定 2 の時、桁指定 1 と桁指定 2 の桁数のみ読取り許可

桁指定 1 < 桁指定 2 の時、桁指定 1 ～桁指定 2 の桁数のみ読取り許可

CD 照合 : チェックデジットを照合する／しない

CD 転送 : チェックデジットを転送する／しない

チェックデジットを照合するときのみ設定可能

スタート/ストップ : スタート・ストップを転送する／しない

桁数指定は、スタート・ストップの転送有無に関わらず、スタート・ストップを含めない転送する桁数を指定してください。

チェックデジット転送しない場合は、読取りコードの桁数－1 を指定となります。

2.3.3. ITF (Interleaved 2 of 5) 設定

ITF設定	
読取り	可
桁指定1	14
桁指定2	0
	14桁のみ
CD照合	なし
CD転送	なし
EAN13変換	なし

上下キー(△,▽)にて項目を切り替えます。

ENTにて確定し、次の項目に遷移します。

最後の項目を確定すると設定を更新します。

F1にて1つ前の項目に戻ります。

F4にて変更をキャンセルします。

桁数指定時、0～9にて数字入力、Cにて0クリアします。

読取り : 読取を許可する／禁止する

桁指定 : 0～46 までの桁数を入力します。(偶数のみ指定可能)

桁指定1＝0の時、制限なし(桁指定2は入力不要)

桁指定2＝0の時、桁指定1の桁数のみ読取り許可

桁指定1＞桁指定2の時、桁指定1と桁指定2の桁数のみ読取り許可

桁指定1＜桁指定2の時、桁指定1～桁指定2の桁数のみ読取り許可

CD照合 : チェックデジットをUSS照合／OPCC照合／照合しない

CD転送 : チェックデジットを転送する／しない

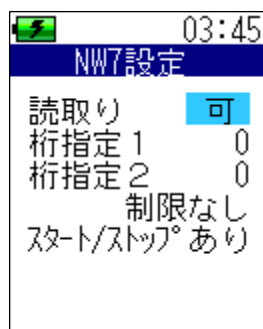
チェックデジットを照合するときのみ設定可能

EAN13変換 : EAN13に変換する／しない

桁数指定は、転送する桁数を指定してください。

チェックデジット転送しない場合は、読取りコードの桁数－1を指定となります。

2.3.4. NW7 設定



上下キー(▲, ▼)にて項目を切り替えます。

ENTにて確定し、次の項目に遷移します。

最後の項目を確定すると設定を更新します。

F1にて1つ前の項目に戻ります。

F4にて変更をキャンセルします。

桁数指定時、0～9にて数字入力、Cにて0クリアします。

読取り : 読取を許可する／禁止する

桁指定 : 0 または、3～55 までの桁数を入力します。

桁指定 1 = 0 の時、制限なし (桁指定 2 は入力不要)

桁指定 2 = 0 の時、桁指定 1 の桁数のみ読取り許可

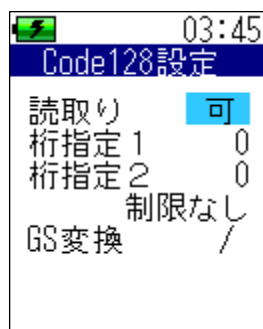
桁指定 1 > 桁指定 2 の時、桁指定 1 と桁指定 2 の桁数のみ読取り許可

桁指定 1 < 桁指定 2 の時、桁指定 1 ～桁指定 2 の桁数のみ読取り許可

スタート/ストップ° : スタート・ストップを転送する／しない

桁数指定は、スタート・ストップの転送有無に関わらず、スタート・ストップを含めた桁数を指定してください。

2.3.5. Code128 (GS1-128) 設定



上下キー(▲, ▼)にて項目を切り替えます。

ENTにて確定し、次の項目に遷移します。

最後の項目を確定すると設定を更新します。

F1にて1つ前の項目に戻ります。

F4にて変更をキャンセルします。

桁数指定時、0～9にて数字入力、Cにて0クリアします。

読取り : 読取を許可する／禁止する

桁指定 : 0～55 までの桁数を入力します。

桁指定 1 = 0 の時、制限なし (桁指定 2 は入力不要)

桁指定 2 = 0 の時、桁指定 1 の桁数のみ読取り許可

桁指定 1 > 桁指定 2 の時、桁指定 1 と桁指定 2 の桁数のみ読取り許可

桁指定 1 < 桁指定 2 の時、桁指定 1 ～桁指定 2 の桁数のみ読取り許可

GS 変換 : GS1-128 の可変長セパレータ (FUNC1) を任意の 1 文字に変換／削除する

桁数指定は、転送する桁数を指定してください。

チェックデジット転送しない場合は、読取りコードの桁数－1 を指定となります。

※GS 変換にて、¥を指定した場合、Android, iPad などでは、\と表示されます。

2.3.6. GS1Databar設定



上下キー(△, ▽)にて項目を切り替えます。

ENTにて確定し、次の項目に遷移します。

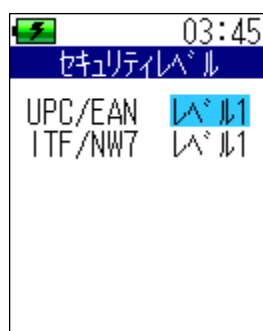
最後の項目を確定すると設定を更新します。

F1にて1つ前の項目に戻ります。

F4にて変更をキャンセルします。

読取り : 読取を許可する／禁止する

2.4. セキュリティレベル



上下キー(▲, ▼)にて項目を切り替えます。

ENTにて確定し、次の項目に遷移します。

最後の項目を確定すると設定を更新します。

F1にて1つ前の項目に戻ります。

F4にて変更をキャンセルします。

UPC/EAN セキュリティレベル

レベルが高いほど低クオリティのコードの誤読を低減することができます。

ただし、読取り時間が長くなります。

ITF/NW7 セキュリティレベル

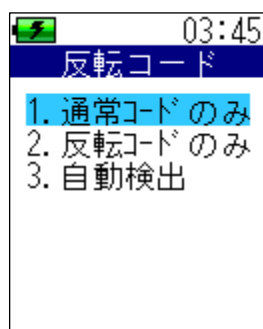
レベル0のとき、8桁以下のコードを2回照合する。

レベル1のとき、全ての桁数のコードを2回照合する。

レベル2のとき、8桁以下のコードを3回照合し、8桁より長いコードは2回照合する。

レベル3のとき、全ての桁数のコードを3回照合する。

2.5. 反転コード

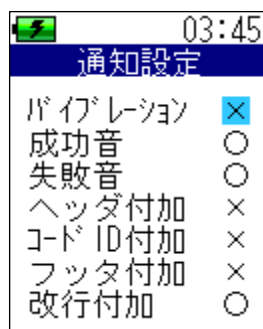


上下キー(▲, ▼)または、1～3にて選択します。

ENTにて確定します。

F4にて変更をキャンセルします。

2.6. 通知設定



上下キー(↑, ↓)にて項目を切り替えます。

ENTにて確定し、次の項目に遷移します。

最後の項目を確定すると設定を更新します。

F1にて1つ前の項目に戻ります。

F4にて変更をキャンセルします。

バイブレーション：読取り成功時のバイブレーションを有効／無効

成功音：読取り成功時のブザー鳴動を有効／無効

失敗音：読取り失敗時のブザー鳴動を有効／無効

ヘッダ付加：読取りコードの前に任意の1文字を付加する(SPは半角スペース)／しない

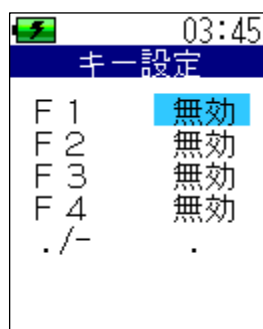
コードID付加：コード種別を付加する／しない

フッタ付加：読取りコードの後ろに任意の1文字を付加する(SPは半角スペース)／しない

改行付加：スキャンデータ通知時に改行を付加する／しない

※ヘッダ／フッタにて、¥を指定した場合、Android, iPad などでは、\と表示されます。

2.7. キー設定



上下キー(↑, ↓)にて項目を切り替えます。

ENTにて確定し、次の項目に遷移します。

最後の項目を確定すると設定を更新します。

F1にて1つ前の項目に戻ります。

F4にて変更をキャンセルします。

F1～F4：右カーソル／左カーソル／ESC／タブ／Eject／無効

./-：./ / - / 無効

Eject キーは、iPad/iPhoneにてソフトウェアキーボードの表示／非表示の切替が可能です。

3. 注意事項

Windows PC と接続して使用する場合、日本語キーボード設定では、英数字以外の一部の文字が正しく表示されません。US キーボード設定で使用するか PC 側の入力言語を英語設定に変更してください。